

(様式第 10)

京大病サ企第 91 号
平成 27 年 10 月 8 日

厚生労働大臣 殿

京都大学医学部附属病院
病院長 稲垣 暢也 (印)

京都大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 26 年度の業務
に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
氏 名	国立大学法人 京都大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には
法人の名称を記入すること。

2 名 称

京都大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54	電話(075)751-3111
--------------------------	-----------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度か つ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等	
1循環器内科 2神経内科 3 4 5 6 7	
8 9 10 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に
ついて記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記
入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で
医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科				(有) ・ 無		
外科と組み合わせた診療科名						
1形成外科	2心臓血管外科	3呼吸器外科	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
診療実績						

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

1精神科	2小児科	3整形外科	4脳神経外科	5皮膚科	6泌尿器科	7産婦人科
8産科	9婦人科	10眼科	11耳鼻咽喉科	12放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科	15麻酔科	16救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無					
歯科と組み合わせた診療科名						
1矯正歯科	2歯科口腔外科	3	4	5	6	7
歯科の診療体制						
当院では関連各科と連携して集学的治療を行い、特定機能病院の歯科口腔外科として、重度の障害を呈する疾患、すなわち口腔腫瘍、顎変形症、顎関節症、歯槽堤萎縮症、睡眠時無呼吸症候群、舌痛症などに対して高次で高度な医療を提供している。						

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1リハビリテーション科	2病理診断科	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
60床	0床	15床	0床	1046床	1121床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成 27 年 10 月 1 日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	585人	469人	734.5人	看 護 補 助 者	109人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	27人	2人	27.4人	理 学 療 法 士	24人	臨床検査技師	757人
薬 剤 師	97人	5人	100.3人	作 業 療 法 士	8人	衛生検査技師	1人
保 健 師	0人	0人	0人	視 能 訓 練 士	10人	そ の 他	0人
助 産 師	35人	0人	35人	義 肢 装 具 士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	968人	60人	1014.7人	臨 床 工 学 士	25人	医療社会事業従事者	9人
准 看 護 師	0人	1人	0.9人	栄 養 士	0人	その他の技術員	131人
歯科衛生士	5人	4人	8.1人	歯 科 技 工 士	3人	事 務 職 員	326人
管理栄養士	15人	1人	15.8人	診療放射線技師	66人	その他の職員	167人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成 27 年 10 月 1 日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	54人	眼 科 専 門 医	20人
外 科 専 門 医	67人	耳鼻咽喉科専門医	15人
精 神 科 専 門 医	15人	放射線科専門医	33人
小 児 科 専 門 医	24人	脳神経外科専門医	12人
皮 膚 科 専 門 医	9人	整形外科専門医	15人
泌尿器科専門医	11人	麻 酔 科 専 門 医	13人
産婦人科専門医	18人	救 急 科 専 門 医	9人
		合 計	315人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 1 位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1 日当たり平均入院患者数	876.6人	15.1人	891.8人
1 日当たり平均外来患者数	1816.6人	80.5人	1897.2人
1 日当たり平均調剤数	1371.9剤		
必要医師数	201人		
必要歯科医師数	7人		
必要薬剤師数	30人		
必要(准)看護師数	510人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	571.61m ²	鉄筋コンクリート	病床数	37床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 770.90m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数 49床			
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 73.12m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	591m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動生化学分析装置、全自動血球計数装置			
細菌検査室	196m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動血液培養検査装置、全自動細菌検査装置			
病理検査室	369m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 自動包埋装置、自動染色装置			
病理解剖室	57m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 解剖台、写真撮影装置			
研究室	22553.86m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 電子顕微鏡、遠心分離機			
講義室	496m ²	鉄筋コンクリート	室数	2室	収容定員	389人
図書室	572m ²	鉄筋コンクリート	室数	6室	蔵書数	260,000冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	70.0%	逆紹介率	52.5%
算出根拠	A：紹介患者の数	15,252人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,988人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	722人	
	D：初診の患者の数	22,796人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	9 人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	0 人
短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する脳死ドナーからの小腸移植	0 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
重症低血糖発作に伴うインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作に伴うインスリン依存性糖尿病	1 人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	2 人
神経症状を呈する脳放射線に対する核医学診断及びベバシズマブ静脈内投与療法	0 人
ペトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	13 人
術前のホルモン療法及びゾレドロン酸投与の併用療法 閉経後のホルモン感受性の乳がん(長径が五センチメートル以下であって、リンパ節転移及び遠隔転移しておらず、かつ、エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)	4 人
食道がんの根治的治療がなされた後の難治性の良性食道狭窄に対する生分解性ステント留置術 食道がんの根治的治療がなされた後の難治性の良性食道狭窄(内視鏡による検査の所見で悪性ではないと判断され、かつ、病理学的見地から悪性ではないことが確認されたものであって、従来の治療法ではその治療に係る効果が認められないものに限る。)	0 人
ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術 原発性若しくは転移性肝がん又は肝良性腫瘍	3 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	経皮的動脈弁置換術(TAVR)	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要 経皮的動脈弁置換術(TAVR)はカテーテルを用いて狭窄した動脈弁を置換する手術である。対象となる患者は従来の開胸動脈弁置換術がハイリスクな患者であり、施行においてはハートチーム結成、ハイブリッド手術室が必要である。			
医療技術名	エキシマレーザー使用によるデバイスリード抜去術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 感染などの理由で、植え込み術後数年が経過したペースメーカーや除細動器を抜去する必要がある場合には、癒着したリードを剥離するエキシマレーザーが必要になることが多い。手術は心臓血管外科のバックアップのもとに、ハイブリッド手術室で行う必要がある。			
医療技術名	HBV陽性肝移植レシピエントならびにHBc抗体陽性ドナーからの肝移植後患者に対するHBVワクチン治療	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 HBV陽性患者に移植をする、あるいはHBc抗体陽性ドナーから移植を受けると、高率に術後HBV肝炎が生じるために、これを予防する目的で移植後患者にHBVワクチンを投与する。			
医療技術名	難治性消化管狭窄に対する切開法(Radial incision and cutting)	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 早期食道癌患者に対するESD、あるいは進行食道癌に対する放射線治療後に食道狭窄をしばしば来すが、これに対して、狭窄部を内視鏡的に切除する治療法。			
医療技術名	頭頸部表在癌に対する経口的内視鏡切除術	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 頭頸部癌は早期ガンであっても今まで手術が行われていたが、これを全身麻酔下に内視鏡的に切除する治療法。			
医療技術名	慢性B型肝炎に対するHBVワクチン療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 慢性B型肝炎については、高ウイルス療法はあるものの、ウイルス除去は不可能である。また抗ウイルス療法は一生継続する必要がある。このため、ワクチンを使用することによって、抗ウイルス療法の終焉を期待する治療法。			
医療技術名	食道癌CRT後局所遺残再発に対する光線力学療法(PDT)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 食道癌化学放射線治療後の局所遺残再発に対して今まで外科手術が行われていたが、侵襲の少ないタラポルフィリンナトリウム(レザフィリン)及び半導体レーザー(PDレーザー)を用いた光線力学療法で局所の根治を期待する治療法。			
医療技術名	局所進行膵癌に対する超音波内視鏡下金マーカー留置術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 局所進行膵癌と診断され放射性治療を予定されている症例に対して、超音波内視鏡下に体内植込金属マーカーを留置することにより、放射線治療時に正確な腫瘍位置の確認を可能とする治療法。			
医療技術名	家族性パーキンソン病の遺伝子診断	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 パーキンソン病では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	家族性てんかんの遺伝子診断	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 てんかんでは遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			

医療技術名	家族性脊髄小脳変性症の遺伝子診断	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要 脊髄小脳変性症では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	家族性運動ニューロン疾患の遺伝子診断	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 運動ニューロン疾患では遺伝子異常に基づく診断が必要となる場合があり、患者および家族に説明・同意の上で検査、診断を行っている。			
医療技術名	脳波・機能的MRI同時計測によるてんかん病態の診断	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 薬剤抵抗性てんかんにおいて、てんかん外科の術前評価として、長時間ビデオ脳波モニタリング、各種非侵襲的脳機能マッピング(脳磁図、機能的MRI)による診断を行っている。			
医療技術名	食道がん化学放射線療法後遺残再発に対する救済光線力学療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 食道がん化学放射線療法後の食道内遺残再発病変に対する新規光線力学療法を用いた根治的救済治療。			
医療技術名	難治性消化管狭窄に対するRadial Incision and Cutting (RIC)法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 バルーン拡張術に抵抗な難治性消化管狭窄に対し、切開法を用いて狭窄を解除する方法。			
医療技術名	咽喉頭表在がんに対する全身麻酔下経口的内視鏡切除術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 これまで発見が困難だった咽喉頭がんを早期発見し、臓器・機能温存で根治的切除をする方法。			
医療技術名	HER2陽性乳癌におけるペルツズマブとトラスツズマブエムタンシンを用いた術前療法の検討(ランダム化第Ⅱ相試験)	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 HER2陽性の原発性乳癌患者を対象に、抗HER2抗体併用療法(トラスツズマブ、ペルツズマブ、トラスツズマブエムタンシン(T-DM1))を用いた術前薬物療法としての最善の治療法の探索を、有効性及び安全性の観点から行うことを目的とする。 ドセタキセル+カルボプラチン+トラスツズマブ+ペルツズマブ併用療法群と、ドセタキセル+カルボプラチン+トラスツズマブ+ペルツズマブ併用療法施行後にT-DM1+ペルツズマブ併用療法を施行する群の有効性及び安全性を比較検討する。さらに、T-DM1+ペルツズマブ併用療法の有効性及び安全性を検討し、治療反応性に応じた術前薬物療法(response guided neo-adjuvant therapy)を検討する。 本試験の付随研究として、同意の得られた被験者より、腫瘍組織ならびに血液サンプルを用いて、ペルツズマブとT-DM1を用いた抗HER2療法の有効性に関連するバイオマーカーの探索を行う。			
医療技術名	早期肺癌および肝癌に対する動体追尾定位放射線治療	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 肺癌や肝癌の呼吸性移動に合わせて放射線治療ビームの方向を変えることで、常に照射野を癌に局限した状態で行う放射線治療。従来の治療法と比較して、癌病巣への線量を損なうことなく、正常肺または肝臓の線量を約20%低減することが可能となった。			
医療技術名	局所進行膵癌に対する動体追尾強度変調放射線治療	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 動体追尾機能と強度変調放射線治療(IMRT)とを組み合わせた革新的な治療法であり、治療の難しかった局所進行膵癌に対して実施している。従来法と比較して治療強度を大きく高めつつ、周囲臓器への線量は低く抑えることが可能となった。			
医療技術名	乳癌に対する加速乳房部分照射	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 早期乳癌の乳房温存手術後の放射線治療を、寡分割部分照射を適用することにより治療範囲、治療期間を短縮することにより患者負担を軽減する治療である。			

医療技術名	前立腺癌に対する寡分割定位的強度変調放射線治療	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要 低～中リスク前立腺癌に対して寡分割定位的強度変調放射線治療を適用することにより治療期間を約3週間と従来の半分以下に短縮することにより患者負担を軽減する治療である。			
医療技術名	傍大動脈リンパ節郭清を含む子宮内膜癌に対する腹腔鏡下手術	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 傍大動脈リンパ節郭清術を含む子宮内膜癌に対する手術は従来開腹で行われてきたが、開腹手術より低侵襲である腹腔鏡下手術の安全性を検証する。本年度は病院負担で手術を行い、平成27年度からの自費手術承認につなげた。1例で開腹した。			
医療技術名	ロボット支援広汎子宮全摘術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 内視鏡手術支援ロボット(daVinci Surgical System)を用いて広汎子宮全摘術を行う。全例で予定通りの手術を合併症なく施行可能であった。			
医療技術名	3-flap法による子宮腺筋症核出術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 びまん性の子宮腺筋症に対して、同手術を行い安全に施行でき、妊娠出産例も認めている。			
医療技術名	レボサイロキシン羊水内投与による胎児甲状腺腫の治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 胎児治療により甲状腺は速やかに縮小した。			
医療技術名	内視鏡下手術用ロボットを用いた腎部分切除術	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 内視鏡手術支援ロボット(daVinci Surgical System)を用いて腎腫瘍に対する腎部分切除術を行う。従来の腹腔鏡手術と比較して操作性に優れていると考えられる。			
医療技術名	内視鏡下手術用ロボットを用いた根治的膀胱全摘術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 内視鏡手術支援ロボット(daVinci Surgical System)を用いて膀胱腫瘍に対する根治的膀胱全摘術を行う。従来の腹腔鏡手術と比較して操作性に優れていると考えられる。			
医療技術名	内視鏡下手術用ロボットを用いた腎盂形成術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 内視鏡手術支援ロボット(daVinci Surgical System)を用いて腎盂尿管移行部狭窄症の修復術を行う。従来の腹腔鏡手術と比較して操作性に優れていると考えられる。			
医療技術名	人工神経を用いた勃起神経再生手術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 ロボット支援前立腺全摘術時の勃起神経再建のために人工神経の移植をおこなう。従来の自己神経移植と比較して、神経採取による合併症の可能性がない点が長所であり、前立腺全摘時に起こり得る男性機能障害の克服のための有効な手段となりえる可能性がある。			
医療技術名	リアルタイム画像ナビゲーションシステムを用いたロボット支援腎部分切除	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 術前CTより腎血管像を3D再構築し、実際の手術時の画面に投影することでリアルタイムにロボット手術ナビゲーションを行い、安全で的確な腎部分切除術を施行する。			
医療技術名	進行性尿路上皮癌に対する癌ペプチドワクチンS-588410治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 化学療法不応性となった進行性尿路上皮癌に対する新規治療としての癌ペプチドワクチン治療。HLA-A*24:02 拘束性のがんペプチドワクチンを用い、12 週間投与した時のCTL 誘導能評価と3 年後までの追跡調査を行う多施設共同のオープンラベル試験。			

医療技術名	ホルモン不応性前立腺癌に対する夜間ドセタキセル治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 ホルモン不応性の進行性前立腺癌に対するドセタキセル化学療法を夜間に施行することによって、有害事象の軽減と治療効果の向上を目指す。			
医療技術名	Endoscopic laryngo-pharyngeal surgery	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 咽喉頭表在癌を経口的に切除する超低侵襲手術である。			
医療技術名	内視鏡下経鼻頭蓋底腫瘍摘出術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 前頭蓋底に生じた腫瘍性病変を内視鏡下経鼻アプローチにて摘出する低侵襲手術である。			
医療技術名	顎骨髄炎顎壊死に対する外科治療を併用した高圧酸素治療	取扱患者数	50人
当該医療技術の概要 ビスフォスフォネート等の薬剤関連顎骨壊死、骨髄炎症例に対し、外科治療と併用した高圧酸素治療を施行し、良好な治療成績を上げており、全国から患者を受入れている。			
医療技術名	正常機能を温存した機能的咽頭弁形成術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 唇顎口蓋裂術後の鼻咽腔閉鎖機能不全に対する治療法として咽頭弁形成術がある。しかし、軟口蓋挙上を行う口蓋帆挙筋の機能が残っている患者にとっては挙筋機能を妨げる術式であるため、われわれは挙筋の正常機能を温存したまま咽頭弁形成術を行う術式を行っている。			
医療技術名	3D画像を用いて最適な機能的再建を選択する手先天異常手術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 多指症の治療の基本は低形成成分の切除、筋腱の再建、そして関節の安定化とアライメントの正常化である。しかしながら潜在的な筋骨格の低形成は機能的再建を困難にする。われわれはX線で探知し得ない筋骨格異常に対して超音波による三次元イメージングを行い、その所見に基づいて治療戦略を決定している。			
医療技術名	エコーを用いた再建乳房体積の術前予測	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 当院ではDIEP-flap(下腹部穿通枝皮弁)による乳房再建術を行っている。術前に腹部超音波を用いて、乳房再建時のDIEP-flapの重量を、非常に簡便に非侵襲的に予測する方法を開発し、術中に判断を迫られる要素を減らして、より低侵襲の手術を行っている。			
医療技術名	軟骨再生を促す肋軟骨採取法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 小耳症手術の標準的な手技は肋軟骨を採取し、これを細工して耳介の形成を行うことであるが、ただ単に肋軟骨を採取すると、手術時期が成長期であることもあって、胸郭の形成不全を招くことになる。そのため、軟骨膜を残して採取し、余った肋軟骨は小片として、軟骨膜のポケット内に戻すことで、肋軟骨の再生が起こり、胸郭形成不全を起こさないようにしている。			
医療技術名	エコー機器を用いたケロイド治療成績の客観的診断法	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要 ケロイド病変部の重症度評価、薬物療法の効果判定、再発の有無、等の診断を、エコー機器を用いて客観的かつ定量的に実施している。これにより、従来は熟練した専門医の勘と経験に頼っていた部分を客観的数値化し、適切な薬物投与期間・量の決定、手術療法適応の判断、再発の早期発見が可能となった。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	131人	・膿疱性乾癬	11人
・多発性硬化症	98人	・広範脊柱管狭窄症	9人
・重症筋無力症	101人	・原発性胆汁性肝硬変	94人
・全身性エリテマトーデス	527人	・重症急性膵炎	10人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	89人
・再生不良性貧血	58人	・混合性結合組織病	69人
・サルコイドーシス	162人	・原発性免疫不全症候群	20人
・筋萎縮性側索硬化症	34人	・特発性間質性肺炎	151人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	421人	・網膜色素変性症	200人
・特発性血小板減少性紫斑病	47人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	75人	・肺動脈性肺高血圧症	36人
・潰瘍性大腸炎	281人	・神経線維腫症	33人
・大動脈炎症候群	104人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	23人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	13人
・天疱瘡	31人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	13人
・脊髄小脳変性症	47人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病	167人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	19人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	55人	・脊髄性筋委縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	146人	・球脊髄性筋委縮症	3人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	14人
・後縦靱帯骨化症	56人	・肥大型心筋症	10人
・ハンチントン病	3人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	190人	・ミトコンドリア病	13人
・ウェゲナー肉芽腫症	15人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	21人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	86人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	28人	・黄色靱帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	7人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	143人

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料(一般病棟)7対1入院基本料	・退院調整加算
・特定機能病院入院基本料(結核病棟)7対1入院基本料	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・救急搬送患者地域連携受入加算
・歯科外来診療環境体制加算	・精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
・臨床研修病院入院診療加算	・総合評価加算
・救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算	・病棟薬剤業務実施加算
・超急性期脳卒中加算	・データ提出加算2 イ(200床以上の病院)
・妊産婦緊急搬送入院加算	・特定集中治療室管理料4
・診療録管理体制加算1	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・急性期看護補助体制加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・看護職員夜間配置加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・看護補助加算(精神)	・小児入院医療管理料2
・療養環境加算	・精神科急性期治療病棟入院料1
・重症者等療養環境特別加算	・精神科急性期医師配置加算
・無菌治療室管理加算1	・短期滞在手術等基本料1
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科応急入院施設管理加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウィルス疾患指導料	・検体検査管理加算(Ⅳ)
・植込型除細動器移行期加算	・遺伝カウンセリング加算
・高度難聴指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・糖尿病合併症管理料	・植込型心電図検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・時間内歩行試験
・がん患者指導管理料1	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料2	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料3	・皮下連続式グルコース測定
・外来緩和ケア管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・移植後患者指導管理料	・脳磁図
・糖尿病透析予防指導管理料	・神経学的検査
・夜間休日救急搬送医学管理料	・ロービジョン検査判断料
・外来放射線照射診療料	・コンタクトレンズ検査料1
・ニコチン依存症管理料	・小児食物アレルギー負荷検査
・地域連携診療計画管理料	・内服・点滴誘発試験
・がん治療連携計画策定料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・がん治療連携管理料	・画像診断管理加算2
・肝炎インターフェロン治療計画料	・遠隔画像診断(受信側)
・薬剤管理指導料	・ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・医療機器安全管理料1	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料2	・冠動脈CT撮影加算
・歯科治療総合医療管理料	・心臓MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・外来化学療法加算1
・HPV核酸検出	・無菌製剤処理料
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及び2
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・同種死体肺移植術
・がん患者リハビリテーション料	・生体部分肺移植術
・集団コミュニケーション療法料	・経皮的冠動脈形成術
・歯科口腔リハビリテーション料2	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・認知療法・認知行動療法1	・経皮的冠動脈ステント留置術
・精神科作業療法	・経皮的大動脈弁置換術
・精神科ショート・ケア「大規模なもの」	・磁気ナビゲーション加算
・精神科デイ・ケア「大規模なもの」	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・医療保護入院等診療料	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・透析液水質確保加算2	・植込型徐細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極拔去術(レーザーシースを用いるもの)
・一酸化窒素吸入療法	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・歯科技工加算	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・補助人工心臓
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・経皮的大動脈遮断術
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・ダメージコントロール手術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)&及び脳刺激装置交換術	・腹腔鏡下肝切除術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・生体部分肝移植術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・同種死体肝移植術
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・植込型骨導補聴器	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・同種死体腎移植術	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・生体腎移植術	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診
・膀胱水圧拡張術	・病理診断管理加算2
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・人工尿道括約筋植込・置換術	・歯科矯正診断料
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術	・
・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	・
・輸血管理料Ⅰ	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・内視鏡手術用支援機器加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・
・麻酔管理料(Ⅰ)	・
・麻酔管理料(Ⅱ)	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・
・体外照射呼吸性移動対策加算	・
・定位放射線治療	・
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・
・保険医療機関間の連携による病理診断	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・インプラント義歯	・
・顎顔面補綴	・
・先天性難聴の遺伝子診断(他の保険医療機関に対して検体の採取以外の業務を委託して実施する保険医療機関)	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・腹腔鏡下根治的膀胱全摘除術	・
・腹腔鏡下子宮体がん根治手術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	臨床検査部門:毎日、病理診断部門:毎日
剖 検 の 状 況	剖検症例数 30例 / 剖部検率 10.8%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
上皮内 $\gamma\delta$ T細胞を起源とする悪性リンパ腫のモデルマウスの樹立と新規治療戦略の開発	青木 一成	血液・腫瘍内科	1,200,000	補委	文部科学省
B細胞性腫瘍の発生および病型決定に関わるサイクリンD1の役割の解明	有馬 浩史	血液・腫瘍内科	900,000	補委	文部科学省
マントル細胞リンパ腫モデルマウスを用いた腫瘍クローンの階層性と微小免疫環境の解明	錦織 桃子	血液・腫瘍内科	1,690,000	補委	文部科学省
次世代シーケンサーを用いた成人T細胞白血病の網羅的な遺伝子解析	菱澤 方勝	血液・腫瘍内科	1,560,000	補委	文部科学省
スフィンゴ脂質代謝異常による流産のメカニズムの解明と治療薬の開発	水岸 貴代美	血液・腫瘍内科	1,820,000	補委	文部科学省
樹状細胞の小胞輸送を標的とした抗炎症薬の開発	門脇 則光	血液・腫瘍内科	1,950,000	補委	文部科学省
赤血球造血系と鉄代謝制御系のクロストークの解析	川端 浩	血液・腫瘍内科	1,950,000	補委	文部科学省
免疫修飾作用を持つ分子標的薬と免疫療法の併用療法における新機軸の開発	北脇 年雄	血液・腫瘍内科	1,690,000	補委	文部科学省
ストレス応答に関与するヒストンメチル化の異常が造血幹細胞に与える影響	河原 真大	血液・腫瘍内科	1,430,000	補委	文部科学省
ヒストン脱メチル化酵素(KDM)による造血分化制御機構の解明	河原 真大	血液・腫瘍内科	5,590,000	補委	文部科学省
心筋形質維持におけるNRSF転写抑制複合体によるエピゲノム制御の意義の研究	桑原 佳宏	内分泌・代謝内科	2,080,000	補委	文部科学省
心筋リモデリングでのリンパ管新生・炎症制御を介したアドレノメデュリンの意義の解明	南 丈也	内分泌・代謝内科	2,080,000	補委	文部科学省
心不全発症・進展における新規治療標的としてのTRPC6/3の意義の解明	木下 秀之	内分泌・代謝内科	1,690,000	補委	文部科学省
BNPプロセッシング機序における糖鎖修飾の病態生理学的意義の解明	中川 靖章	内分泌・代謝内科	1,560,000	補委	文部科学省
自然炎症とレニン・アンジオテンシン系の相互作用が糖尿病腎症悪化に果たす意義の解明	桑原 孝成	内分泌・代謝内科	1,690,000	補委	文部科学省
低身長症を呈するSEDCに対するC型ナトリウム利尿ペプチドの効果の検討	藤井 寿人	内分泌・代謝内科	2,080,000	補委	文部科学省
ノックイン細胞を用いたヒト脂肪細胞分化系の構築	藤倉 純二	内分泌・代謝内科	3,640,000	補委	文部科学省
脂肪細胞特異的K0マウスを用いたアドレノメデュリンの病態生理学的意義の解明	錦見 俊雄	内分泌・代謝内科	3,640,000	補委	文部科学省
全身性脂肪萎縮症原因遺伝子産物セイピンの多彩な生理作用の解明	海老原 健	内分泌・代謝内科	3,640,000	補委	文部科学省
心筋の機能維持・代謝制御とその破綻に関わる転写・エピジェネティック制御機構の解明	桑原 宏一郎	内分泌・代謝内科	5,980,000	補委	文部科学省
Exocyst Complexによる遊離脂肪酸取り込み制御	井上 真由美	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,300,000	補委	文部科学省
単離小腸K細胞を用いたGIP合成・分泌機構の解明	稲垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	4,420,000	補委	文部科学省
高齢者の多様性を規定する老化恒常性維持に必須な代謝特性解明の基盤的研究	近藤 祥司	糖尿病・内分泌・栄養内科	6,110,000	補委	文部科学省
「寝たきり予防の新規長寿マーカー探索と筋肉増強低分子のメタボローム解析」	近藤 祥司	糖尿病・内分泌・栄養内科	910,000	補委	文部科学省
患者由来iPS細胞を用いた糖尿病病態生理の解明と治療法の開発	藤倉 純二	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,820,000	補委	文部科学省
蛍光イメージング法を用いた量的診断法の開発	藤本 裕之	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,430,000	補委	文部科学省
ヒトiPS細胞を用いた化合物スクリーニングによる副腎皮質分化・再生の分子機構解明	曾根 正勝	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,950,000	補委	文部科学省
骨伸長障害に対するCNP/GC-B系賦活化治療の基盤構築	八十田 明宏	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,950,000	補委	文部科学省
ヒトES/iPS細胞由来血管細胞分化誘導技術開発および血管病態機構解明への応用	田浦 大輔	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,950,000	補委	文部科学省
全エクソンシーケンスを用いた新規糖尿病発症原因遺伝子の同定	田中 大祐	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,690,000	補委	文部科学省
転写因子Rfx6のGIP産生K細胞における機能の解析	山根 俊介	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,950,000	補委	文部科学省
Regulation of GLP-1 secretion by Insulin and Leptin	ポウドヤル ヘマント	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,430,000	補委	文部科学省
大規模コホートを用いた急性心筋梗塞における早期再灌流療法に向けた医療連携システム構築と効果的な患者のためのエビデンス構築に関する研究	木村 剛	循環器内科	10,000,000	補委	厚生労働省
新規創薬を目指した生活習慣病・難治性疾患モデル遺伝子変異ラットの開発と解析	中尾 一和	循環器内科	11,700,000	補委	厚生労働省
血中自己抗体検出と新規炎症マーカーを用いた急性冠症候群予知因子および治療標的の探索	西 英一郎	循環器内科	57,100,000	補委	厚生労働省
インスリン・シグナルを標的とした心不全エネルギー代謝異常治療法の開発	塩井 哲雄	循環器内科	1,040,000	補委	文部科学省
HDL機能が冠動脈病変に及ぼす影響の解析	今井 逸雄	循環器内科	1,300,000	補委	文部科学省

小計 37

新規の線維化・強皮症モデルマウスを用いた炎症-自己免疫-線維化相互関連の解明	芦田 昇	循環器内科	1,560,000	補委	文部科学省
マイクロRNAの局所徐放システムの構築と生体応用	尾野 亘	循環器内科	1,820,000	補委	文部科学省
イントロン性マイクロRNA-33a、-33bの脂質代謝制御機構の解明	堀江 貴裕	循環器内科	1,690,000	補委	文部科学省
シェディング調節因子による血管収縮と透過性制御機構の解明	大野 美紀子	循環器内科	5,330,000	補委	文部科学省
循環動態調節における交感神経分布様式の意義	大野 美紀子	循環器内科	5,850,000	補委	文部科学省
心臓エネルギー代謝の頑健性とその破綻のメカニズムの統合的解明	塩井 哲雄	循環器内科	5,200,000	補委	文部科学省
出生前後における心筋細胞成熟化のメカニズム解明	中島 康弘	循環器内科	1,430,000	補委	文部科学省
Neoatherosclerosisの本態解明と新規治療法の開発	木村 剛	循環器内科	4,810,000	補委	文部科学省
マイクロRNA-33の恒常性維持における機能解明と疾患治療への応用	尾野 亘	循環器内科	7,930,000	補委	文部科学省
F Cレセプター修飾による心不全と動脈硬化の治療	岸本 千晴	循環器内科	650,000	補委	文部科学省
不整脈疾患における遺伝的背景の病態解明	牧山 武	循環器内科	1,560,000	補委	文部科学省
ヒストン結合ペプチダーゼによる炎症制御機構の解明	西 英一郎	循環器内科	1,820,000	補委	文部科学省
血管CNP-GC-Bシステムの血管機能制御と血管病態における意義の解明	桑原 宏一郎	循環器内科	1,820,000	補委	文部科学省
心疾患におけるnon-coding RNAの機能解析	桑原 康秀	循環器内科	1,950,000	補委	文部科学省
エネルギー代謝と転写制御をつなぐ新規ヒストンコードリーダーに関する研究	西 英一郎	循環器内科	4,550,000	補委	文部科学省
脂質代謝を起点としたマイクロRNA、転写因子、エピゲノムの相互作用の解明	尾野 亘	循環器内科	4,550,000	補委	文部科学省
i P S細胞由来の心筋細胞による心筋再生治療における細胞の至適生着条件の検討	舟越 俊介	循環器内科	900,000	補委	文部科学省
マイクロRNA-33の心不全/臓器線維化における役割の解明	西賀 雅隆	循環器内科	1,200,000	補委	文部科学省
マイクロRNA-33a/bとそのパッセンジャー鎖による代謝調節機構の解明	西野 共達	循環器内科	1,200,000	補委	文部科学省
多機能タンパク質ナルディライジンによる恒常性維持機構の解明	西 英一郎	循環器内科	5,330,000	補委	文部科学省
マイクロRNAと心血管疾患に関する基礎的・臨床的研究 (8%)	尾野 亘	循環器内科	1,028,000	補委	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 院長
活性型ナルディライジンを標的とする新規抗体製剤の開発	西 英一郎	循環器内科	10,290,000	補委	官署支出官文部科学省 大臣官房会計課長
心不全発症経過における成人マウス心筋からの転写コアクチベータp300複合体精製 (8%)	木村 剛	循環器内科	770,000	補委	独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 院長
IgG4関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究	千葉 勉	消化器内科	30,900,000	補委	厚生労働省
iPS細胞を用いた炎症性腸疾患の病態解明	吉野 琢哉	消化器内科	1,820,000	補委	文部科学省
NRDcを標的とした新規大腸癌治療の開発	神田 啓太郎	消化器内科	1,820,000	補委	文部科学省
マウスPerfusion CTによる脾腫瘍線維化の定量的測定系の確立	辻 喜久	消化器内科	1,300,000	補委	文部科学省
クローン病腸管線維化におけるHSP47の役割とその制御に基づいた新規治療法の開発	本澤 有介	消化器内科	1,430,000	補委	文部科学省
IgG4関連疾患におけるIgG4抗体の病原性と標的抗原の同定	塩川 雅広	消化器内科	1,430,000	補委	文部科学省
新規幹細胞マーカーSox9を指標とした消化器系幹細胞からの発癌機構の解析	金 秀基	消化器内科	900,000	補委	文部科学省
肝発癌機構の解明を目指したエピゲノム異常蓄積とその生成機序の探索	松本 知訓	消化器内科	1,200,000	補委	文部科学省
食道癌に対するハイブリッド型分子標的ペプチドを用いた新規抗癌治療薬の研究	菊池 理	消化器内科	1,000,000	補委	文部科学省
胃癌はどこから発生するのか ～胃癌幹細胞の同定と治療への応用～	吉岡 拓人	消化器内科	1,000,000	補委	文部科学省
肝発癌過程におけるゲノム/エピゲノム異常の相関の統合的解析	丸澤 宏之	消化器内科	5,720,000	補委	文部科学省
ADAMプロテアーゼ活性化分子ナルディライジンを標的とした消化管癌治療法の探索	米門 秀行	消化器内科	1,690,000	補委	文部科学省
ヘリコバクター・ピロリ関連胃発癌過程におけるゲノム異常生成機構の解明	松本 裕子	消化器内科	1,560,000	補委	文部科学省
胃炎からの炎症性発癌過程における幹細胞の役割	上尾 太郎	消化器内科	1,690,000	補委	文部科学省
炎症性腸疾患大腸発癌における低分子量GTP蛋白Ralの機能解析	仲瀬 裕志	消化器内科	910,000	補委	文部科学省
新規B型肝炎自然発症モデルマウスを用いた宿主免疫応答の網羅的解析	高橋 健	消化器内科	1,300,000	補委	文部科学省
脾臓癌におけるクロマチンリモデリングの役割	福田 晃久	消化器内科	1,690,000	補委	文部科学省
成体脾の恒常性の維持および脾癌形成におけるNotch/Hes1シグナルの機能解析	児玉 裕三	消化器内科	1,560,000	補委	文部科学省

鉄代謝関連分子Ngalの炎症性腸疾患における役割とその鉄利用阻害に基づく治療開発	松浦 稔	消化器内科	1,820,000	補委	文部科学省
がんの発生・進展におけるバイオマーカーとしてのインスリン様増殖因子の活性化	宮本 心一	消化器内科	1,950,000	補委	文部科学省
ケモカインCXCL12/CXCR4シグナル解析に基づく膵癌進展の病態解明	宇座 徳光	消化器内科	1,820,000	補委	文部科学省
炎症からの消化器発癌におけるゲノム・エピゲノム異常の統合的解析と生成機構の解明	千葉 勉	消化器内科	53,040,000	補委	文部科学省
がん微小環境における細胞外シェディングと核内転写の一元制御	妹尾 浩	消化器内科	4,550,000	補委	文部科学省
「癌幹細胞」と「正常幹細胞」を区別する特異的マーカー同定とそれを育むニッチの解析	千葉 勉	消化器内科	7,800,000	補委	文部科学省
B型肝炎の病態解明を目指した新規モデルマウスの作成と免疫／腫瘍学的解析	犬塚 義	消化器内科	1,000,000	補委	文部科学省
消化管における癌幹細胞特異的マーカーの包括的検討	山賀 雄一	消化器内科	900,000	補委	文部科学省
新たな癌幹細胞特異的因子をターゲットにした消化器癌治療戦略	妹尾 浩	消化器内科	4,420,000	補委	文部科学省
Hes1、Dcamk11を標的としたがん幹細胞特異的治療法の開発	千葉 勉	消化器内科	12,100,000	補委	官署支出官 文部科学省 大臣官房会計課長
喫煙による肺傷害からの上皮細胞修復メカニズムと転写因子C/EBPαの役割	佐藤 篤靖	呼吸器内科	1,300,000	補委	文部科学省
全ゲノムシーケンスによるMAC菌因子疫学の確立と環境感染に関する病原遺伝子の探索	伊藤 穰	呼吸器内科	520,000	補委	文部科学省
慢性炎症性気道疾患における過去喫煙の影響；エピゲノム変化を介した機序の解明	松本 久子	呼吸器内科	2,470,000	補委	文部科学省
肺気腫進展様式から類推する肺泡破壊の原因	室 繁郎	呼吸器内科	1,300,000	補委	文部科学省
肺高血圧症合併間質性肺炎における、肺細動脈のトランスクリプトーム解析	半田 知宏	呼吸器内科	1,560,000	補委	文部科学省
iPS細胞を用いた難治性呼吸器疾患の病態解明と新規治療法の開発	三嶋 理晃	呼吸器内科	9,100,000	補委	文部科学省
iPS細胞から誘導した肺上皮細胞利用への応用展開：表裏一体型培養システムの開発	伊藤 功朗	呼吸器内科	7,150,000	補委	文部科学省
分岐鎖アミノ酸代謝（BCAA）第Ⅱ／Ⅲ相臨床試験－BCAAの多発性筋炎・皮膚筋炎患者を対象とした有効性、安全性を検討するプラセボ対照二重盲検並行群間比較試験及び後観察試験－	三森 経世	免疫・膠原病内科	1,025,000	補委	東京医科歯科大学
腎炎発症モデル抗DNA抗体遺伝子ノックイン・マウスへの特異的治療アプローチ	吉藤 元	免疫・膠原病内科	2,470,000	補委	文部科学省
抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎の病因・病態解明	中嶋 蘭	免疫・膠原病内科	2,340,000	補委	文部科学省
抗CCP抗体陰性関節リウマチの特異抗体の検索～抗カルパミル化蛋白抗体を中心に～	大村 浩一郎	免疫・膠原病内科	1,950,000	補委	文部科学省
急性型間質性肺炎合併筋炎における自己抗体の病因的意義解明と治療法確立に関する研究	三森 経世	免疫・膠原病内科	4,420,000	補委	文部科学省
エピジェネティック制御による選択的サイトカイン発現調節機構の解明とその治療応用	臼井 崇	免疫・膠原病内科	1,820,000	補委	文部科学省
老化細胞分泌因子の老年病との関係解明とその臨床応用への検討	近藤 祥司	老年内科	12,025,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者執行役 (戦略的創造研究推進事業担当)
GIP分泌抑制による抗肥満効果の検討	原田 範雄	糖尿病・栄養内科	1,560,000	補委	文部科学省
グルカゴン分泌修飾におけるインクレチンGIPの役割の直接的解明	濱崎 暁洋	糖尿病・栄養内科	1,690,000	補委	文部科学省
蛍光ATPプローブ遺伝子導入マウスを用いた糖代謝異常病態解析	長嶋 一昭	糖尿病・栄養内科	1,950,000	補委	文部科学省
GLP-1受容体を標的とする抗体イメージングによる膵β細胞療法の開発	豊田 健太郎	糖尿病・栄養内科	1,950,000	補委	文部科学省
核磁気共鳴(NMR)技術を利用した非侵襲的膵β細胞定量法の開発	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	1,560,000	補委	文部科学省
グルコース応答性およびインクレチン促進性インスリン分泌機構における分子機序の解明	原島 伸一	糖尿病・栄養内科	1,430,000	補委	文部科学省
Exendin骨格を用いた非侵襲的膵島定量のためのPET用診断プローブの開発	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	86,000,000	補委	出納命令役 独立行政法人 医薬基盤研究所 研究所長
機能性を持つ農林水産物・食品開発プロジェクト	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	5,000,000	補委	独立行政法人農業・食品産業 技術総合研究機構 果樹研究所長
世界の健康に貢献する日本食の科学的・多面的検証推進コンソーシアム（稲垣 暢也）	稲垣 暢也	糖尿病・栄養内科	142,350,000	補委	独立行政法人農業・食品産業 技術総合研究機構生物系特定産業 技術研究支援センター 所長
再生医療を用いた拡張型心筋症・虚血性心筋症に対する新たな治療戦略の開発	西尾 亮介	救急部	1,690,000	補委	文部科学省
テラヘルツ計測、代謝物計測を用いた腸管虚血壊死の新たな早期診断法の確立	佐藤 格夫	救急部	3,640,000	補委	文部科学省
核磁気共鳴データのパターン認識による解析を応用した敗血症重症化早期診断法の開発	鈴木 崇生	救急部	3,640,000	補委	文部科学省
rS02モニタリングを用いたプレホスピタル心肺蘇生プロトコルの再構築	西山 慶	初期診療・救急科	1,950,000	補委	文部科学省
敗血症ラット検体を用いた近赤外とラマン分光法の新規解析技術の開発	小池 薫	初期診療・救急科	3,640,000	補委	文部科学省
孤発性のパーキンソン病を反映する新たなモデルマウスの作製及び機能解析	浅野 剛史	神経内科	1,560,000	補委	文部科学省
肥満細胞の制御を介した血管性認知症に対する新規治療法の開発	北村 彰浩	神経内科	1,690,000	補委	文部科学省
嚥下機能評価アルゴリズムの検討	八木 直美	神経内科	1,430,000	補委	文部科学省

アルツハイマー病の脳幹の神経原線維変化におけるタウアイソフォームの解析	植松 未帆	神経内科	1,000,000	補委	文部科学省
TDP43の分子内病原配列に対する特異抗体を用いた新規分子標的治療・診断法の開発	漆谷 真	神経内科	4,680,000	補委	文部科学省
ヒトてんかん焦点の発動原理のダイナミズム (wideband EEGのミクロ視野)	池田 昭夫	神経内科	6,240,000	補委	文部科学省
筋萎縮性側索硬化症の細胞群別の分子病態の網羅的解明	山下 博史	神経内科	1,430,000	補委	文部科学省
アルツハイマー病におけるアストロサイトを介した神経変性メカニズムの解明	植村 健吾	神経内科	1,560,000	補委	文部科学省
運動異常症における内因性機能ネットワーク依存性の神経障害仮説についての検討	澤本 伸克	神経内科	2,210,000	補委	文部科学省
多重遺伝子改変メダカによる神経変性疾患の病態解明	高橋 良輔	神経内科	2,600,000	補委	文部科学省
iPS細胞を用いた孤発性パーキンソン病の病態解明と標的分子の同定	山門 穂高	神経内科	1,820,000	補委	文部科学省
脳内環境：恒常性維持機構とその破綻	高橋 良輔	神経内科	6,370,000	補委	文部科学省
タンパク分解系障害による脳内環境変調と神経変性メカニズム	高橋 良輔	神経内科	37,050,000	補委	文部科学省
侵襲的脳活動計測・刺激介入による腹側言語経路の包括的解明	松本 理器	神経内科	8,320,000	補委	文部科学省
パーキンソン病の代謝産物バイオマーカー創出および、その分子標的機構に基づく創薬シーズ同定	高橋 良輔	神経内科	5,850,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者執行役 (戦略的創造研究推進事業担当)
難治性ニューロバチーの診断技術と治療法の開発に関する研究 (8%)	漆谷 真	神経内科	500,000	補委	独立行政法人国立精神・ 神経医療研究センター 総長
脳血管障害とパーキンソン病における脳神経回路障害とその機能回復に関わるトランスレータブル脳・行動指標の開発	高橋 良輔	神経内科	198,900,000	補委	官署支出官 文部科学省大臣官房会計課長
消化管内視鏡を用いた治療における標準治療確立のための多施設共同研究 (26-A-4)	武藤 学	がん薬物治療科	3,400,000	補委	独立行政法人 国立がん研究センター 理事長
糸球体発生シグナルに着目した糖尿病性腎症進展機序の解明と新規治療薬の開発	松原 雄	腎臓内科	1,430,000	補委	文部科学省
腎臓の線維化とネフロン修復の分子基盤の包括的解明	柳田 素子	腎臓内科	6,370,000	補委	文部科学省
腎障害およびエネルギー代謝におけるNgalの役割	今牧 博貴	腎臓内科	2,730,000	補委	文部科学省
抗糸球体基底膜抗体腎炎におけるCTGFの役割の検討	横井 秀基	腎臓内科	1,950,000	補委	文部科学省
腎臓の発生・障害・再生におけるエネルギー代謝時空間ダイナミクスの解析	柳田 素子	腎臓内科	3,640,000	補委	文部科学省
マウスHDOCIによる骨・腎臓調節機構の解明と病態での機能の解明	横井 秀基	腎臓内科	8,970,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者執行役 (戦略的創造研究推進事業担当)
細胞間相互作用と臓器代謝ネットワークの破綻による組織線維化の制御機構の解明と医学応用	柳田 素子	腎臓内科	1,300,000	補委	独立行政法人科学技術振興 機構分任研究契約担当者執行役 (戦略的創造研究推進事業担当)
HER受容体と下流シグナル伝達系異常に基づく胃癌の治療効果予測マーカー探索	岡部 寛	消化管外科	1,950,000	補委	文部科学省
胃癌腹膜播種性転移に対するドラッグデリバリーシステムの開発	小濱 和貴	消化管外科	1,560,000	補委	文部科学省
大腸癌におけるKRAS遺伝子変異を介した糖代謝およびFDG集積機構の解析	長谷川 傑	消化管外科	1,690,000	補委	文部科学省
大腸癌転移制御におけるケモカイン・シグナル阻害の臨床応用へ向けた展開	河田 健二	消化管外科	1,690,000	補委	文部科学省
胃癌患者における末梢血中腫瘍細胞の治療効果予測因子としての意義	角田 茂	消化管外科	2,080,000	補委	文部科学省
0159-0084 腹腔鏡手術における感覚融合技術を利用したトレーニング及びサポートシステムの研究開発 (131207003)	坂井 義治	消化管外科	1,296,571	補委	官署支出官 総務省大臣官房会計課長
新規basal-like乳癌サブタイプの分類と分子・細胞生物学的特性	伊東 潤二	乳腺外科	2,210,000	補委	文部科学省
乳癌に対するトラスツズマブ効果予測因子としてのニューロピリン1陽性免疫細胞の意義	鈴木 栄治	乳腺外科	1,560,000	補委	文部科学省
血清を用いた新たな乳がん検出法の開発	竹内 恵	乳腺外科	3,640,000	補委	文部科学省
乳癌の血管内皮増殖因子関連マイクロRNAの同定と抗VEGF療法感受性予測への応用	佐藤 史顕	乳腺外科	2,730,000	補委	文部科学省
遺伝子型検査を用いた薬物療法の個別適正化	石黒 洋	乳腺外科	400,000	補委	独立行政法人理化学研究所 外部資金室長
革新的研究開発推進プログラム (IMPACT) 「イノベティブな可視化技術による新成長産業の創出」 (価値実証：医療と美容健康) イノベティブな可視化技術による新成長産業の創出	戸井 雅和	乳腺外科	45,930,000	補委	独立行政法人 科学技術振興機構 理事長
血中循環乳がん細胞に対するエビジェネティクス・マルチマーカーの実用化開発	戸井 雅和	乳腺外科	15,000,000	補委	官署支出官 文部科学省大臣官房会計課長
乳癌の診療ビッグデータを活用した個別化診療支援ソフトの開発	高田 正泰	乳腺外科	390,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 執行役 (産学連携事業担当)
境界グラフトに対する一酸化窒素を用いた臓器保存戦略	八木 真太郎	肝胆膵・移植外科	650,000	補委	文部科学省
ヒト多能性幹細胞由来肝細胞の分化誘導法確立と細胞移植における有用性の検討	安近 健太郎	肝胆膵・移植外科	1,560,000	補委	文部科学省
肝細胞癌肝移植後のエペロリムス (Everolimus) の再発予防効果の研究	伊藤 孝司	肝胆膵・移植外科	1,430,000	補委	文部科学省
肝硬変治療への挑戦：再生医療の導入による非移植治療の提案	藤本 康弘	肝胆膵・移植外科	780,000	補委	文部科学省
異種移植における拒絶反応克服の治療戦略－異種細胞の同種細胞への置換の試み－	上本 伸二	肝胆膵・移植外科	1,560,000	補委	文部科学省

常温灌流保存による脂肪肝グラフト再生への挑戦：肝摘出後の脂肪肝改善は可能か？	秦 浩一郎	肝胆膵・移植外科	1,300,000	補委	文部科学省
膵線維化における線維産生細胞の起源探求	田浦 康二郎	肝胆膵・移植外科	1,820,000	補委	文部科学省
小児肝移植術後急性期における抗ドナーHLA抗体検出の意義の検討	小川 絵里	肝胆膵・移植外科	1,690,000	補委	文部科学省
肝臓移植医療推進に向けたチーム移植医療教育指針および患者支援プログラムの開発	山敷 宣代	肝胆膵・移植外科	1,690,000	補委	文部科学省
臓器保存液中のPerfluorocarbonは心停止ドナー肝移植を改善させるか？	植村 忠廣	肝胆膵・移植外科	1,950,000	補委	文部科学省
移植肝線維化に対してアンギオテンシンIIアンタゴニストは治療的効果があるか？	大江 秀典	肝胆膵・移植外科	780,000	補委	文部科学省
膵発生マスタージーンPdx1に着目した膵癌モデルマウスの解析とその治療的応用	増井 俊彦	肝胆膵・移植外科	4,940,000	補委	文部科学省
肝非実質細胞機能の評価法確立に向けて～ADAMTS13とその先にあるもの～	秦 浩一郎	肝胆膵・移植外科	7,540,000	補委	文部科学省
グラフト肝虚血再灌流障害の飛躍的改善：間葉系幹細胞導入による臓器保存液の開発	岡本 晋弥	小児外科	1,170,000	補委	文部科学省
成人生体肝移植の革新：幹細胞導入下の過少グラフトを用いた肝移植	小川 晃平	小児外科	1,170,000	補委	文部科学省
補償光学適応走査型レーザー検眼鏡を用いた糖尿病網膜症の病態解析と早期発見、早期治療に関する研究	宇治 彰人	眼科	1,652,000	補委	厚生労働省
VCP阻害剤を用いた眼難治疾患に対する新規治療法開発	池田 華子	眼科	90,300,000	補委	厚生労働省
【追加交付】VCP阻害剤を用いた眼難治疾患に対する新規治療法開発	池田 華子	眼科	72,110,000	補委	厚生労働省
強度近視における脈絡膜新生血管の発生機序の解明	山城 健児	眼科	1,560,000	補委	文部科学省
網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫の細胞レベルでの病態・構造・機能解析システムの確立	辻川 明孝	眼科	1,560,000	補委	文部科学省
緑内障の篩状板構造解析と遺伝子解析による治療評価法の開発	赤木 忠道	眼科	1,820,000	補委	文部科学省
高侵達光干渉断層計を用いた眼底深部構造解析による難治性視神経疾患の病態解明	宮本 和明	眼科	1,690,000	補委	文部科学省
補償光学適応走査型レーザー検眼鏡を用いた糖尿病網膜症における赤血球列の動態解析	宇治 彰人	眼科	2,080,000	補委	文部科学省
低侵襲生体イメージングを用いた糖尿病網膜症の統合的評価方法の開発	村上 智昭	眼科	1,820,000	補委	文部科学省
核磁気共鳴を用いた滲出型加齢黄斑変性に対する抗VEGF治療の反応性予測法の開発	吉村 長久	眼科	2,210,000	補委	文部科学省
遺伝性網膜変性疾患のtarget exon sequencing	荻野 顕	眼科	1,950,000	補委	文部科学省
中心性漿液性脈絡網膜症に関連する遺伝因子の解明	中西 秀雄	眼科	1,950,000	補委	文部科学省
VCP阻害剤による眼疾患に対する新たな神経保護治療法の研究開発	吉村 長久	眼科	13,910,000	補委	文部科学省
補償光学適用走査型レーザー検眼鏡による早期加齢黄斑変性の病態メカニズム解明	大音 壮太郎	眼科	1,430,000	補委	文部科学省
胎児ファイブロンネクチンの早産発症における病態解析および早産の新規治療法開発	最上 晴太	産科婦人科	1,690,000	補委	文部科学省
妊娠高血圧腎症に対する新規治療法の開発	藤田 浩平	産科婦人科	1,300,000	補委	文部科学省
妊娠高血圧症候群における胎盤の脂質代謝バランスとその意義の解明	巽 啓司	産科婦人科	1,560,000	補委	文部科学省
絨毛細胞による母体らせん動脈の浸潤機構の解明ー母体血小板に着目してー	佐藤 幸保	産科婦人科	1,950,000	補委	文部科学省
MELF型子宮体癌に対するバイオインフォマティクスを用いた診断・治療法の確立	馬場 長	産科婦人科	1,170,000	補委	文部科学省
卵巣癌における“hot spot”変異解析に基づく新規薬剤の探索	松村 謙臣	産科婦人科	1,560,000	補委	文部科学省
ヒト絨毛外栄養膜細胞に特異的に発現する新規蛋白laeverinの機能解析	堀江 昭史	産科婦人科	1,950,000	補委	文部科学省
卵巣癌における免疫抑制分子PD-L1の発現制御機構と機能的意義の解明	安彦 郁	産科婦人科	1,300,000	補委	文部科学省
卵巣癌の発生・進展に関わる宿主免疫のゲノミクス解析と治療開発への基礎的検討	濱西 潤三	産科婦人科	5,850,000	補委	文部科学省
「効果的な複合免疫療法の開発」（抗PD-1抗体免疫療法における有効性・非有効性の原因解明とその克服に向けた手法の開発）	濱西 潤三	産科婦人科	20,000,000	補委	官署支出官 文部科学省大臣官房会計課長
子宮内環境の変化に対するチオレドキシン結合蛋白によるストレス応答システムの解析	由良 茂夫	産科婦人科	1,820,000	補委	文部科学省
ケモゲノミクスを用いた子宮頸癌に対する個別化治療の開発	吉岡 弓子	産科婦人科	1,040,000	補委	文部科学省
卵巣癌における「癌幹細胞化」機構の解明	越山 雅文	産科婦人科	1,950,000	補委	文部科学省
ヒトiPS細胞由来の血管構成細胞を用いたらせん動脈リモデリング機序の解明	近藤 英治	産科婦人科	1,820,000	補委	文部科学省
難治性疾患“子宮びまん性平滑筋腫瘍”に対する新規治療法の開発	小西 郁生	産科婦人科	1,950,000	補委	文部科学省
卵巣癌細胞の足場非依存性増殖能獲得に伴う化学療法耐性機序の解明	三瀬 裕子	産科婦人科	1,820,000	補委	文部科学省
cDNAライブラリーを用いた卵巣癌における新規免疫抑制因子の探索と治療応用	濱西 潤三	産科婦人科	1,820,000	補委	文部科学省

卵巣がん関連遺伝子の網羅的メタボローム解析	山口 建	産科婦人科	1,300,000	補委	文部科学省
真に実用可能な、卵巣癌の薬剤感受性予測バイオマーカーの確立	小西 郁生	産科婦人科	17,810,000	補委	文部科学省
自己炎症性疾患とその類縁疾患の診断基準、重症度分類、診療ガイドライン確立に関する研究	平家 俊男	小児科	34,600,000	補委	厚生労働省
iPS細胞からの軟骨分化システムを用いた先天性骨・関節疾患の網羅的解析法の開発	梅田 雄嗣	小児科	1,560,000	補委	文部科学省
iPS細胞、及び疾患特異的iPS細胞からの骨格筋細胞分化誘導に関する基盤研究開発	加藤 竹雄	小児科	1,690,000	補委	文部科学省
先天性好中球減少症の疾患特異的iPS細胞を用いた新規病態解析・治療開発基盤の確立	渡邊 健一郎	小児科	1,560,000	補委	文部科学省
マイクロRNAセンサーベクターを用いた新規ヒト造血幹細胞分画の同定と機能解析	平松 英文	小児科	1,690,000	補委	文部科学省
病院倫理委員会教育研修の現状に基づいた教育研修方法の確立	道和 百合	小児科	390,000	補委	文部科学省
寒冷誘発炎症を主症状とするメンデル遺伝疾患を利用した寒冷誘発遺伝子発現の機序解明	西小森 隆太	小児科	1,170,000	補委	文部科学省
ゲノム・細胞工学的手法を用いた家族性血球貪食症候群の包括的診療基盤の確立	平家 俊男	小児科	1,300,000	補委	文部科学省
患者由来iPS細胞を用いた遺伝性筋疾患の病態再現・治療開発の基盤技術の確立	栗屋 智就	小児科	1,690,000	補委	文部科学省
分子病態に基づく血球貪食性リンパ組織球症の新規診療基盤開発	八角 高裕	小児科	1,950,000	補委	文部科学省
未知の遺伝子変異を有するQT延長症候群患者への安全な治療方針決定プロトコルの開発	馬場 志郎	小児科	1,950,000	補委	文部科学省
異種移植モデルを用いたダウン症候群関連白血病の病態解析および特異的治療の基盤開発	才田 聡	小児科	1,950,000	補委	文部科学省
FLNA異常症の病態解析、診療基盤の確立、および特異的治療法の開発	河合 朋樹	小児科	1,950,000	補委	文部科学省
学童の食習慣、生活習慣とアレルギー疾患の進展に関する前向き研究	楠 隆	小児科	1,040,000	補委	文部科学省
自己炎症性疾患の分子病態解明に基づく最適医療基盤技術の創出	平家 俊男	小児科	15,080,000	補委	文部科学省
早産児を対象とした運動発達障害／遅滞の予測：皮質脊髄路の成熟に着目して	金沢 星慶	小児科	1,200,000	補委	文部科学省
網羅的遺伝子解析及び細胞工学的手法を用いた不明発熱症候群の原因解明	西小森 隆太	小児科	3,640,000	補委	文部科学省
NOGマウスを用いたTAM/AMKLのエピゲノム解析	平家 俊男	小児科	3,770,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 執行役 (戦略的創造研究推進事業担当)
患者検体および患者由来iPS細胞を用いた広汎性発達障害のエピゲノム解析	平家 俊男	小児科	4,966,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者執行役 (戦略的創造研究推進事業担当)
患者検体および患者由来iPS細胞を用いた広汎性発達障害のエピゲノム解析	平家 俊男	小児科	4,966,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者執行役 (戦略的創造研究推進事業担当)
筋ジストロフィーに対するトランスレーショナル・リサーチ	平家 俊男	小児科	1,800,000	補委	独立行政法人国立精神・ 神経医療研究センター 総長
第一再発小児急性リンパ性白血病標準リスク群に対する第III相国際共同臨床研究(IntReALL SR 2010)	平松 英文	小児科	108,000	補委	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター一院長堀田知光
制御性T細胞サブセットによる皮膚免疫制御	野村 尚史	皮膚科	1,560,000	補委	文部科学省
ライブイメージングを用いたアトピー性皮膚炎病態解析と新規病態制御因子の同定	本田 哲也	皮膚科	1,560,000	補委	文部科学省
免疫・アレルギー性皮膚疾患と脂質メディエーター	宮地 良樹	皮膚科	17,420,000	補委	文部科学省
末梢神経と免疫細胞のクロストーク～皮膚掻痒のメカニズム解析を目指して～	中嶋 千紗	皮膚科	1,430,000	補委	文部科学省
皮膚免疫と全身免疫のクロストークの可能性の検証とその役割	中溝 聡	皮膚科	900,000	補委	文部科学省
皮膚免疫担当細胞のアトピー性皮膚炎発症に果たす役割の解明	中島 沙恵子	皮膚科	1,560,000	補委	文部科学省
自己免疫性水疱症における抗体の皮膚移行と血管壁バリアの関連性の検証	小野 さち子	皮膚科	1,200,000	補委	文部科学省
多光子励起顕微鏡によるヒト皮膚ライブイメージング法、低侵襲診断法の開発	村田 光麻	皮膚科	1,200,000	補委	文部科学省
皮膚免疫応答におけるCOX阻害薬の薬理作用の検討およびプロスタノイドの役割の解明	野々村 優美	皮膚科	1,200,000	補委	文部科学省
アトピー性皮膚炎の病態および経皮IgE誘導におけるSLAMの役割の解明	鬼頭 昭彦	皮膚科	2,080,000	補委	文部科学省
表皮の非対称細胞分裂と重層化を制御する上位シグナルの解明	大日 輝記	皮膚科	3,640,000	補委	文部科学省
偏光感受型光コヒーレンストモグラフィーを用いた非侵襲的皮膚疾患診断機器の開発	柊島 健治	皮膚科	3,640,000	補委	文部科学省
S100A8およびS100A9のアトピー性皮膚炎における役割の解明	中島 沙恵子	皮膚科	1,950,000	補委	文部科学省
原発および転移性悪性黒色腫のゲノム解析	藤澤 章弘	皮膚科	260,000	補委	文部科学省
ラマン分光装置用いたバリア機能障害を伴う皮膚疾患における角層天然保湿因子の解析	谷崎 英昭	皮膚科	1,950,000	補委	文部科学省
皮膚の恒常性維持機構からアレルギークロストークへの展開	柊島 健治	皮膚科	15,600,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者執行役 (戦略的創造研究推進事業担当)
RaI関連分子ネットワークに着目した膀胱癌進展機序の解明	松井 喜之	泌尿器科	650,000	補委	文部科学省

のう胞形成前立腺癌異種移植モデルを用いた前立腺癌分泌蛋白質の発現・機能解析	井上 貴博	泌尿器科	650,000	補委	文部科学省
質量顕微鏡を用いた低分子メタボローム解析の、前立腺癌画像診断への応用	神波 大己	泌尿器科	1,820,000	補委	文部科学省
コネクシンのヘミチャネルに着目した尿路上皮機能の日内変動の検討	根来 宏光	泌尿器科	1,170,000	補委	文部科学省
スニチニブ耐性獲得に関わる新規分子メカニズムの探索	柴崎 昇	泌尿器科	1,430,000	補委	文部科学省
前立腺癌の新規癌抑制遺伝子AESの機能解析	岡田 能幸	泌尿器科	1,430,000	補委	文部科学省
患者癌組織移植モデルの網羅的シークエンシング解析による泌尿器癌薬剤耐性機構の探索	神波 大己	泌尿器科	2,990,000	補委	文部科学省
種間新世代OMICSに基づく浸潤性膀胱癌新規動物モデルの開発	小林 恭	泌尿器科	4,550,000	補委	文部科学省
次世代質量分析を用いたリポミクスによる泌尿器癌進展に関わる生理活性脂質の探索	山崎 俊成	泌尿器科	7,930,000	補委	文部科学省
代謝関連オミックス解析を用いた膀胱癌の新規発癌・進展経路の解明	寺田 直樹	泌尿器科	2,470,000	補委	文部科学省
新規疾患モデルを用いた次世代OMICS解析に立脚した革新的診断治療シーズの探索	小川 修	泌尿器科	14,950,000	補委	文部科学省
ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療実現のための開発研究（遺伝子情報を用いた前立腺癌罹患リスク予測モデルの臨床応用と個別化治療法の開発）	小川 修	泌尿器科	5,000,000	補委	国立大学法人 東京医科歯科大学 学長
遺伝子多型を用いた前立腺癌リスク診断方法の開発	小川 修	泌尿器科	5,400,000	補委	独立行政法人理化学研究所 社会知創成事業 連携推進部長
声帯癌患者に対するKP-100（ヒト組み換えHGF：肝細胞増殖因子）の声帯内投与に関する第Ⅰ/Ⅱ相試験-医師主導試験-	平野 滋	耳鼻咽喉科	39,000,000	補委	厚生労働省
咽喉頭癌に対する経口的ロボット支援手術の安全性・有効性に関する多施設臨床試験	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	50,960,000	補委	厚生労働省
人工内耳成績改善と適応拡大のためのトランスレーショナルリサーチ	山本 典生	耳鼻咽喉科	1,690,000	補委	文部科学省
広汎性発達障害児の人工内耳両耳聴における中枢機構	平海 晴一	耳鼻咽喉科	1,430,000	補委	文部科学省
感覚毛成熟化におけるFGFシグナルの役割～内耳再生に向けて	喜多 知子（嶋知子）	耳鼻咽喉科	1,560,000	補委	文部科学省
声帯癌に対する細胞移植による再生医療に関する研究	平野 滋	耳鼻咽喉科	1,560,000	補委	文部科学省
バーチャルリアリティを用いたOCT深部情報表示による内視鏡手術検査支援システム	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	1,300,000	補委	文部科学省
内耳感覚上皮発生におけるGSK3情報伝達系の役割と細胞配列パターン形成	岡野 高之	耳鼻咽喉科	1,040,000	補委	文部科学省
New strategies for cochlear afferent dendrite and synaptic regeneration.	浅香 ナカリン	耳鼻咽喉科	1,820,000	補委	文部科学省
新規DDS技術を基盤とした内耳治療法の創製と臨床応用	堀江 理恵	耳鼻咽喉科	1,170,000	補委	文部科学省
高度内耳・内耳道奇形は中枢聴覚神経回路も障害しうるか：機能検査を用いた多角的評価	山崎 博司	耳鼻咽喉科	1,820,000	補委	文部科学省
高度内耳・内耳道奇形は中枢聴覚神経回路も障害しうるか：機能検査を用いた多角的評価	山崎 博司	耳鼻咽喉科	780,000	補委	文部科学省
加齢性難聴におけるIGF1情報伝達系の役割	中川 隆之	耳鼻咽喉科	1,820,000	補委	文部科学省
中・下咽頭表在癌における上皮下浸潤機構の解明	楯谷 一郎	耳鼻咽喉科	1,820,000	補委	文部科学省
光コヒーレンストモグラフィーを用いた頭頸部領域における光学的組織診断法の確立	坂本 達則	耳鼻咽喉科	1,820,000	補委	文部科学省
宇宙環境での前庭有毛細胞の発生と維持機構の解明	田浦 晶子	耳鼻咽喉科	1,950,000	補委	文部科学省
ミトコンドリア1555変異と薬剤性難聴の新展開：iPSとMITO-Porter	北尻 真一郎	耳鼻咽喉科	1,040,000	補委	文部科学省
Tympanic border cellにおける内耳幹細胞の性質の解明	谷口 美玲	耳鼻咽喉科	1,430,000	補委	文部科学省
声帯におけるスローサイクリング細胞の機能の解明	岸本 曜	耳鼻咽喉科	1,300,000	補委	文部科学省
内耳発生メカニズムの解明と再生医療への応用	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	36,530,000	補委	文部科学省
内耳におけるアクチン構造様式とその制御の包括的解析	北尻 真一郎	耳鼻咽喉科	5,070,000	補委	文部科学省
間葉系細胞を分化誘導した再生骨格筋の機能的有効性と安全性の研究	平野 滋	耳鼻咽喉科	6,000,000	補委	出納命令役 独立行政法人 医薬基盤研究所 研究所長
腕神経叢引き抜き損傷に対する前処理自家神経を用いた神経根再埋め込み法の研究	太田 壮一	整形外科	1,170,000	補委	文部科学省
軟骨変性と軟骨再生課程における低分子量蛋白と細胞骨格の関与についての研究	松田 秀一	整形外科	1,560,000	補委	文部科学省
iPS細胞技術を応用した軟骨形成腫瘍における変異IDHの機能解明	岡本 健	整形外科	1,560,000	補委	文部科学省
健全な膝関節と同等の機能を持つ人工膝関節システムの開発	松田 秀一	整形外科	3,710,200	補委	独立行政法人 科学技術振興機構 分任研究契約担当者 執行役 （産学連携事業担当）
高機能、長期耐用を兼ね備えた人工膝関節の開発	松田 秀一	整形外科	1,313,000	補委	独立行政法人 科学技術振興機構 分任研究契約担当者 執行役 （産学連携事業担当）
発達障害に基づく学習困難を規定する認知要因と環境要因の解明、および支援方法の構築	小川 詩乃	精神科神経科	1,820,000	補委	文部科学省
多モダリティ脳画像を用いたコネクティビティ解析による緊張病症候群の神経基盤の解明	諏訪 太郎	精神科神経科	2,080,000	補委	文部科学省

脳損傷後に生じる社会的行動障害の多面的・縦断的研究ー構造・機能画像を用いてー	上田 敬太	精神科神経科	2,730,000	補委	文部科学省
認知的バイアス課題、行動薬理学的手法、脳領域間結合解析による妄想の形成基盤の解明	宮田 淳	精神科神経科	1,950,000	補委	文部科学省
自己組織化マップを応用した新規脳画像解析により統合失調症異種性の神経基盤に挑む	杉原 玄一	精神科神経科	1,430,000	補委	文部科学省
過食を伴う摂食障害における衝動性の神経基盤についての研究	野間 俊一	精神科神経科	1,170,000	補委	文部科学省
病的賭博の神経学および遺伝学的基盤の研究	挾間 雅章	精神科神経科	1,560,000	補委	文部科学省
精神・神経疾患における熟慮的および直感的意思決定障害の脳内基盤の解明	高橋 英彦	精神科神経科	16,640,000	補委	文部科学省
統合失調症の社会性障害に関するマルチモーダル神経画像研究	村井 俊哉	精神科神経科	4,030,000	補委	文部科学省
疾患特異的iPS細胞を用いた顎顔面領域における病態解明	小山 典昭	歯科口腔外科	1,820,000	補委	文部科学省
口腔組織欠損に対する修復促進作用を有する創保護材の開発に関する基礎的研究	藤村 和磨	歯科口腔外科	1,170,000	補委	文部科学省
分子標的治療による歯牙再生に関するトランスレーショナルリサーチ	高橋 克	歯科口腔外科	650,000	補委	文部科学省
予防、治療を目指したヒト疾患特異的iPS細胞を用いた骨系統疾患解析に関する研究	別所 和久	歯科口腔外科	2,470,000	補委	文部科学省
臨床展開へ向けた動物体追尾回転照射の確立、シンバル機構を用いた新照射法の開発	小野 智博	放射線治療科	1,100,000	補委	文部科学省
腫瘍透過ペプチド修飾ホウ素リボソームを用いたがん細胞選択の新規中性子捕捉剤の開発	渡邊 翼	放射線治療科	1,200,000	補委	文部科学省
「医療情報の高度利用による医療システムの研究開発」「がん診断・治療ナビゲーションシステムの研究開発」	平岡 真寛	放射線治療科	25,716,000	補委	独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事長
がんの超早期局在診断に対応した高精度X線治療システム研究開発	平岡 真寛	放射線治療科	21,501,000	補委	独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 理事長
放射線治療を含む標準治療確立のための多施設共同研究（26-A-4）	平岡 真寛	放射線治療科	3,300,000	補委	独立行政法人 国立がん研究センター 理事長
粒子線治療における腫瘍の線量応答性観測システムの開発	平岡 真寛	放射線治療科	520,000	補委	独立行政法人 国立がん研究センター 理事長
前立腺癌に対する革新的放射線外部照射技術の開発	溝脇 尚志	放射線治療科	1,040,000	補委	文部科学省
光イメージング技術を用いた分子標的薬の放射線増感作用機構の解明	吉村 通央	放射線治療科	910,000	補委	文部科学省
4次元放射線治療計画の臨床応用に向けた基礎検討	宮部 結城	放射線治療科	1,170,000	補委	文部科学省
定位放射線治療の最適化における基礎研究	板坂 聡	放射線治療科	1,170,000	補委	文部科学省
金属粉含有機能紙による新しい放射線防護材の研究・開発	門前 一	放射線治療科	1,170,000	補委	文部科学省
低酸素・概日周期・代謝制御の相互作用による腫瘍の悪性化と放射線抵抗性機構の解明	小林 稔	放射線治療科	2,340,000	補委	文部科学省
腫瘍内微小環境と概日リズムの相互作用による放射線抵抗性機構の解明とその克服	森嶋 章代	放射線治療科	1,560,000	補委	文部科学省
新たなモデルマウスの創出によるがん幹細胞ニッチとしての低酸素領域の評価	平岡 真寛	放射線治療科	1,690,000	補委	文部科学省
腫瘍内低酸素がん細胞の動的平衡の時空間解析と放射線分割療法最適化への展開	原田 浩	放射線治療科	1,690,000	補委	文部科学省
孤立性肺腫瘍のマーカーレス検出および追跡アルゴリズムに関する研究	中村 晶	放射線治療科	1,300,000	補委	文部科学省
生物画像情報と4次元放射線治療を統合した個別化放射線治療法の開発	平岡 真寛	放射線治療科	9,230,000	補委	文部科学省
動物体追尾強度変調照射に対応した高精度4次元線量計算システムの開発	石原 佳知	放射線治療科	1,170,000	補委	文部科学省
悪性がん特異的な酸素ホメオスタシス制御機構の解明と放射線治療効果増強への展開	原田 浩	放射線治療科	5,720,000	補委	文部科学省
pH恒常性制御による動物個体の形態維持とその破綻	原田 浩	放射線治療科	5,200,000	補委	独立行政法人 科学技術振興機構 分任研究契約担当者 執行役（戦略的創造研究推進事業担当）
悪性がんの酸素恒常性維持と放射線治療抵抗性のクロストーク	原田 浩	放射線治療科	2,500,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会 理事長
強度変調放射線治療における投与線量の品質保証法	中村 光宏	放射線治療科	200,000	補委	独立行政法人 国立がん研究センター 理事長
放射線治療の医学物理的な品質管理／品質保証に関する研究（26-A-4）	中村 光宏	放射線治療科	300,000	補委	独立行政法人 国立がん研究センター 理事長
血中滞留性がABC現象に及ぼす効果およびABC現象回避型がん診断治療薬の開発	上田 一樹	放射線診断科	2,210,000	補委	文部科学省
スパースモデリングを用いた新しい医用MRI画像の創生	富樫 かおり	放射線診断科	13,910,000	補委	文部科学省
肝移植後合併症における非造影MR血流画像、肝線維化画像の確立と臨床的有用性の検討	磯田 裕義	放射線診断科	1,170,000	補委	文部科学省
拡散強調画像の自動カラーコーディングによる乳腺病変の質的診断・リスク層別化	片岡 正子	放射線診断科	910,000	補委	文部科学省
酸素吸入による脳血管・脳脊髄液の動的MRイメージング	伏見 育崇	放射線診断科	1,170,000	補委	文部科学省
68Ga標識オクトレオタイドを用いたPET/CT検査に関する研究	中本 裕士	放射線診断科	1,300,000	補委	文部科学省
深部灰白質穿通動脈とその障害に伴う脳萎縮・変性や血流・代謝障害の可視化技術開発	岡田 知久	放射線診断科	1,560,000	補委	文部科学省

躯幹部CT画像の非線形レジストレーションによる経時変化検出技術の開発	富樫 かおり	放射線診断科	1,560,000	補委	文部科学省
多次元医用MRI画像解析のための実用的なツール群の開発	藤本 晃司	放射線診断科	1,300,000	補委	文部科学省
正常及び異常胎盤の娩出前後のMR画像と病理評価の比較検討による胎盤形態・機能評価	木戸 晶	放射線診断科	2,990,000	補委	文部科学省
超高磁場MRIによる脳神経-血管相互作用アトラスマップの作成	山本 憲	放射線診断科	2,600,000	補委	文部科学省
白質線維束描出と皮質間機能的結合の融合による器質的脳疾患の描出	岡田 務	放射線診断科	2,860,000	補委	文部科学省
光イメージング・低酸素PET・灌流CTの融合画像による腫瘍内低酸素状態の動態解析	子安 翔	放射線診断科	1,200,000	補委	文部科学省
拡散強調MRIを用いた新たな半自動化乳癌診断法の確立	飯間 麻美	放射線診断科	1,820,000	補委	文部科学省
妊孕性の保持を含めた婦人科機能温存・低侵襲治療を支援する最新MR機能画像診断	富樫 かおり	放射線診断科	2,600,000	補委	文部科学省
直鎖状ポリユビキチン鎖生成異常による炎症発症機構の解析	清水 寛司	麻酔科	1,000,000	補委	文部科学省
敗血症時の脳内サイトカイン誘導に麻酔薬が及ぼす影響についての分子生物学的検討	田中 具治	麻酔科	1,820,000	補委	文部科学省
麻酔薬の鎮痛作用におけるダイノルフィンとノシセプチンの役割の解明	福田 和彦	麻酔科	1,820,000	補委	文部科学省
静脈麻酔薬がプロオピオメランコルチン由来蛋白の産生に及ぼす影響とその意義の解明	溝田 敏幸	麻酔科	1,300,000	補委	文部科学省
肝移植再灌流血漿中の血管拡張物質の探索	正田 丈裕	麻酔科	1,170,000	補委	文部科学省
術中皮質皮質間誘発電位記録による脳ネットワーク可塑性の解明	菊池 隆幸	脳神経外科	1,430,000	補委	文部科学省
下垂体幹細胞からホルモン分泌細胞への分化誘導法の開発と下垂体再生医療への応用	北条 雅人	脳神経外科	1,170,000	補委	文部科学省
近赤外線を用いた頸動脈不安定プラークの画像化に関する研究	石井 暁	脳神経外科	1,820,000	補委	文部科学省
動脈硬化性巣における新規血管新生調節因子パソヒビンの発現様式と病的意義の解明	吉田 和道	脳神経外科	1,690,000	補委	文部科学省
脳磁図と機能的MRIを用いた脳内ネットワーク変容の解析：難治性てんかんの病態解明	國枝 武治	脳神経外科	1,040,000	補委	文部科学省
ワクシニアウイルスを用いた腫瘍免疫誘導の開発と生体イメージング	荒川 芳輝	脳神経外科	1,430,000	補委	文部科学省
MSイメージングを用いたグリオーマ悪性転化マーカー同定の挑戦	宮本 享	脳神経外科	1,430,000	補委	文部科学省
長寿遺伝子サーチチェーン制御による脳腫瘍治療の新展開	杉野 寿哉	脳神経外科	1,430,000	補委	文部科学省
小児もやもや病の多施設コホート研究：成人後のQOLの解明と関連要因の探索	舟木 健史	脳神経外科	1,170,000	補委	文部科学省
頭蓋内主幹動脈閉塞性疾患における分子メカニズムの解明	宮本 享	脳神経外科	4,030,000	補委	文部科学省
多能性幹細胞（iPS細胞）を利用した脳梗塞に対する再生医療の開発	高木 康志	脳神経外科	3,120,000	補委	文部科学省
「24-4-3」「脳血管内治療の実態把握のためのシステム開発に関する研究」「国内の脳血管内治療の登録システムの構築に関する研究」	宮本 享	脳神経外科	500,000	補委	独立行政法人国立循環器病研究センター 総長
ハイドロゲル粒子混合細胞シート集合体を用いた三次元培養による軟骨再生	中村 陽子	形成外科	1,950,000	補委	文部科学省
ヒト真皮由来多能性細胞の創傷治療への応用	吉川 勝宇	形成外科	1,820,000	補委	文部科学省
平面培養の時間的三次元化と機能性高分子複合化技術による弾性線維再生医療の実用化	鈴木 茂彦	形成外科	5,590,000	補委	文部科学省
機能性人工真皮の開発及び難治性皮膚疾患への応用	河合 勝也	形成外科	3,250,000	補委	文部科学省
機能性タンパク質シルクエラスチンを用いた新規医療材料の開発	河合 勝也	形成外科	2,143,700	補委	独立行政法人 科学技術振興機構 分任研究契約担当者 執行役（産学連携事業担当）
生体内吸収性高分子担体と細胞増殖因子を用いた難治性虚血性疾患に対する新しい再生医療の開発：オーダーメイド医療の実現に向けた検討	坂田 隆造	心臓血管外科	65,000,000	補委	厚生労働省
肺動脈弁閉鎖不全による右心室機能低下の可逆性に関する研究	中田 朋宏	心臓血管外科	1,560,000	補委	文部科学省
マイクロRNA徐放を用いた細胞フェノタイプ制御による新規心不全治療の開発	山崎 和裕	心臓血管外科	1,560,000	補委	文部科学省
多能性幹細胞由来心筋シートによる心機能改善機序の解明および心不全治療創薬への応用	坂田 隆造	心臓血管外科	3,900,000	補委	文部科学省
心筋症患者iPS細胞由来心臓組織シートを用いた重症心不全治療創薬研究	恒吉 裕史	心臓血管外科	4,810,000	補委	文部科学省
生体・脳死肺移植におけるメモリー細胞と制御性T細胞／Th17バランスの解析	青山 晃博	呼吸器外科	1,690,000	補委	文部科学省
CDDP+VNRによる肺癌術後補助化学療法の治療効果に関する分子マーカーの検討	園部 誠	呼吸器外科	910,000	補委	文部科学省
抗体陽性・血液型不適合肺移植を目指すための、抗体関連拒絶に対する研究	陳 豊史	呼吸器外科	1,950,000	補委	文部科学省
肺癌におけるErbBfamily受容体からのEMT活性化シグナル標的分子の同定	毛受 暁史	呼吸器外科	2,600,000	補委	文部科学省
臨床と基礎をつなぐ視点からの肺癌悪性化進展における繊維芽細胞、繊維化の役割解明	大政 貢	呼吸器外科	2,470,000	補委	文部科学省
癌吸入療法：肺内リンパ組織新生を利用した抗腫瘍ワクチンの新たなプラットフォーム	佐藤 雅昭	呼吸器外科	2,080,000	補委	文部科学省

Kinomeを用いた肺癌転移能の包括的解析	伊達 洋至	呼吸器外科	1,820,000	補委	文部科学省
肺移植後肺内リンパ組織新生に伴う局所抗体産生が重症型慢性拒絶RASに及ぼす影響	佐藤 雅昭	呼吸器外科	6,760,000	補委	文部科学省
心停止ドナーからの肺移植実現をめざした体外循環装置中吸入療法による肺傷害修復実験	伊達 洋至	呼吸器外科	6,630,000	補委	文部科学省
複合組織同種移植におけるレシピエント間葉系幹細胞による免疫制御に関する研究	池口 良輔	リハビリテーション科	1,690,000	補委	文部科学省
HS-dPCR法を用いた肺腺癌遺伝子異常の迅速解析	吉澤 明彦	病理診断科	1,690,000	補委	文部科学省
肝移植後免疫寛容と慢性拒絶のプロテオーム解析によるバイオマーカー検索	宮川 文	病理診断科	1,560,000	補委	文部科学省
特発性肺線維症急性増悪におけるマイクロRNA	谷澤 公伸	呼吸管理睡眠制御学	2,080,000	補委	文部科学省
気道疾患の肺機能経年変化と全身病態に対する睡眠障害の影響と新治療体系の構築	陳 和夫	呼吸管理睡眠制御学	7,540,000	補委	文部科学省
睡眠時無呼吸における全身性・気道炎症と併存病態の関連	小賀 徹	呼吸管理睡眠制御学	2,470,000	補委	文部科学省
睡眠が病態脳の興奮・抑制状態に与える影響：てんかんとミオクロウスムスの生理学的解析	人見 健文	検査部	1,560,000	補委	文部科学省
医療機関と連携した自殺未遂者・ハイリスク者支援の充実	松村 由美	検査部	1,000,000	補委	京都市長
全身麻酔薬が微小管を介した転写因子の核移行に及ぼす影響の分子生物学的解析	大条 紘樹	手術部	2,340,000	補委	文部科学省
構造色から光源方向と分光分布を実時間推定する二次元ARマーカ	浦西 友樹	医療情報企画部	780,000	補委	文部科学省
医療機関連携の適切な評価に向けた医療機関ネットワークの可視化およびその分析	加藤 源太	診療報酬センター	1,430,000	補委	文部科学省
血液型不適合肝移植術後患者の免疫寛容状態の解析	吉澤 淳	臓器移植医療部	520,000	補委	文部科学省
次世代膵島移植を目指した幹細胞ニッチのカプセル化による膵島再生の研究	岩永 康裕	臓器移植医療部	1,950,000	補委	文部科学省
肝移植後再発を手がかりとした非アルコール性脂肪性肝疾患の病態解明	上田 佳秀	臓器移植医療部	1,430,000	補委	文部科学省
自発および電気刺激誘発の脳律動計測によるヒト脳機能結合地図の作成	松本 理器	てんかん・運動異常生理学講座	2,210,000	補委	文部科学省
食道がん化学放射線療法後局所再発例に対するタボルフィンナトリウム（レザフィリン）及び半導体レーザー（PDRレーザー）を用いた光線力学療法の医師主導試験	武藤 学	標的治療腫瘍学講座	46,800,000	補委	厚生労働省
アセトアルデヒドによる扁平上皮がん機序の解明と予防医学への応用	武藤 学	標的治療腫瘍学講座	1,690,000	補委	文部科学省
組織イメージングを利用した新しい内視鏡観察システムの開発	堀松 高博	標的治療腫瘍学講座	1,560,000	補委	文部科学省
有効性と安全性の最大化を目的とした抗悪性腫瘍薬の生物学的至適投与法に関する研究	石黒 洋	標的治療腫瘍学講座	1,560,000	補委	文部科学省
肺癌診療におけるX線CT検査利用の最適化	久保 武	放射線部	1,820,000	補委	文部科学省
食道静脈瘤発現の予測に対する非造影MR perfusion画像の有用性の検討	古田 昭寛	放射線部	1,170,000	補委	文部科学省
パーキンソン病におけるL-Dopaの個別化処方設計への研究	松原 和夫	薬剤部	1,820,000	補委	文部科学省
治療薬開発を目指したリポフラビントランスポート機能欠損の病態生理に関する研究	米澤 淳	薬剤部	1,690,000	補委	文部科学省
しびれ動物モデルの確立とその発症機序の解明	中川 貴之	薬剤部	1,950,000	補委	文部科学省
ユビキチンリガーゼの発現量を指標とした脳機能評価法の確立と薬物治療への応用	大村 友博	薬剤部	1,300,000	補委	文部科学省
腎MATEトランスporterによるドパミン輸送と体液量調節との関連解明	梶原 望渡	薬剤部	2,080,000	補委	文部科学省
多階層解析による薬剤性心筋・骨格筋障害の支配因子特定と予防法の開発	松原 和夫	薬剤部	5,200,000	補委	文部科学省
超臨界流体クロマトグラフィー質量分析を用いた大腸がん早期診断法の開発	松原 惇起	薬剤部	1,300,000	補委	文部科学省
抗がん剤誘発末梢神経障害の発生・難治化における神経-シュワン細胞相互作用の関与	今井 哲司	薬剤部	1,430,000	補委	文部科学省
移植肝生着に寄与する分子の探索と新規治療戦略の開発に関する研究	新家 遥	薬剤部	1,000,000	補委	文部科学省
活性酸素感受性TRPチャネルによる痛み・しびれの発生および慢性化機構の解明	中川 貴之	薬剤部	7,020,000	補委	文部科学省
中枢神経系に対する抗U1RNP抗体の病原性に関する研究	藤井 隆夫	リウマチセンター	1,560,000	補委	文部科学省
関節リウマチにおける傍関節性骨粗鬆寄与因子の探索-ケモカインの役割-	伊藤 宣	リウマチセンター	1,950,000	補委	文部科学省
EP4受容体結合分子EPRAPに着目したアルツハイマー病治療の探索	藤川 理沙子	臨床研究総合センター	1,200,000	補委	文部科学省
新規誘導型制御性CD8T細胞の免疫反応・免疫寛容制御機構の解析	菅井 学	臨床研究総合センター（開発企画部）	2,730,000	補委	文部科学省
抗原特異的免疫反応制御機構の分子基盤	清水 章	臨床研究総合センター（開発企画部）	3,380,000	補委	文部科学省
ヒトiPS細胞由来間葉系細胞による心臓外科領域の全身炎症反応制御法の開発	丸井 晃	臨床研究総合センター（開発企画部）	4,550,000	補委	文部科学省
医学研究に関する各種倫理指針の統合を目指す包括的研究〈被験者保護と公益性〉	村山 敏典	臨床研究総合センター（早期臨床試験部）	1,690,000	補委	文部科学省

精神・神経疾患の画像リファレンスの構築に関する研究（８％）	川口 淳	臨床研究総合センター（データサイエンス部）	2,300,000	補委	独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター 総長
縦断的脳研究における統計解析法の開発	川口 淳	臨床研究総合センター（データサイエンス部）	1,430,000	補委	文部科学省
バイズ流アプローチによる探索的がん臨床試験デザインの開発	森田 智視	臨床研究総合センター（データサイエンス部）	2,600,000	補委	文部科学省
Webサービス技術を活用した診療情報の活用に関する研究	岡本 和也	医療情報企画部	1,430,000	補委	文部科学省
実世界指向ユビキタス病院情報システムの開発	黒田 知宏	医療情報企画部	1,950,000	補委	文部科学省
ゲノム情報や視細胞の形態・生理に基づく加齢黄斑変性の傍眼発症予測モデルの確立	田村 寛	医療情報企画部	1,560,000	補委	文部科学省
医療サービスの継続性を担保する電子カルテ秘密分散バックアップ技術の研究開発（８％）	黒田 知宏	医療情報企画部	77,220	補委	官署支出官 総務省大臣官房会計課長
革新的研究開発推進プログラム（IMPACT）「イノベティブな可視化技術による新成長産業の創出」（価値実証）画像データ管理環境の構築	黒田 知宏	医療情報企画部	6,000,000	補委	独立行政法人 科学技術振興機構 理事長
麻酔薬とオピオイドの作用におけるマイクロRNAの関与	谷本 圭司	集中治療部	1,690,000	補委	文部科学省
肝臓の治療標的探索を目的とした線維化関連間質細胞の基礎研究	祝迫 恵子	標的治療腫瘍学講座	2,210,000	補委	文部科学省
Double IR法による中枢神経病変検出の最適化と臨床的有用性の検討	金柿 光憲	放射線部	1,300,000	補委	文部科学省
熱応答凝集性ポリマーを基盤とする新規内用放射線治療法の開発	佐野 紘平	放射線部	2,470,000	補委	文部科学省
薬剤性腎障害の重篤化阻止に向けた腎臓内在性炎症抑制システムの役割解明	中川 俊作	薬剤部	1,950,000	補委	文部科学省
ヒト血液中における抗体医薬品の糖鎖修飾の解明と薬効との相関解析	津田 真弘	薬剤部	1,950,000	補委	文部科学省
STAT-C/EBPβ経路を介した慢性骨髄性白血病幹細胞枯渇療法の開発	横田 明日美	輸血細胞治療部	1,690,000	補委	文部科学省
C/EBPβの制御による慢性骨髄性白血病幹細胞の維持機構の解明と治療への応用	平位 秀世	輸血細胞治療部	1,560,000	補委	文部科学省
骨髄低酸素環境における骨髄腫幹細胞維持分子を標的とした新規治療開発	前川 平	輸血細胞治療部	3,770,000	補委	文部科学省
CML幹細胞の特異的代謝経路と転写因子制御を標的とした新規治療法の開発	前川 平	輸血細胞治療部	2,860,000	補委	文部科学省
文字列解析のための統計理論とその計算生化学への応用	小谷野 仁	臨床研究総合センター	1,430,000	補委	文部科学省
ラクトソームを用いた新しいアレルギー疾患治療法の探索	菅井 学	臨床研究総合センター	1,820,000	補委	文部科学省
時間・空間依存性を考慮した超多変量関数データ解析法の開発と生命科学への応用	山本 倫生	臨床研究総合センター	1,300,000	補委	文部科学省
慢性炎症性疾患の病態制御におけるマクロファージEPRAPの役割と診断・治療応用	南 学	臨床研究総合センター	1,950,000	補委	文部科学省
合併症を有するハイリスクの日本人高血圧患者の至適降圧目標値の検討	上嶋 健治	臨床研究総合センター（EBM推進部）	1,300,000	補委	文部科学省
健診データを用いた肥満指標と生活習慣病との関係についての検討	保野 慎治	臨床研究総合センター（EBM推進部）	1,820,000	補委	文部科学省
腹膜透析におけるPTN、CTGFを標的とするmicroRNAの意義の検討	笠原 正登	臨床研究総合センター（EBM推進部）	1,560,000	補委	文部科学省

小計 25
計 431

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Momoko Nishikori	血液・腫瘍内科	Ratio of peripheral blood absolute lymphocyte count to absolute monocyte count at diagnosis is associated with progression-free survival in follicular lymphoma.	International Journal of Hematology,99,6,737-742
2	Momoko Nishikori	血液・腫瘍内科	Plasmacytic ALK-positive large B-cell lymphoma: a potential mimic of extramedullary plasmacytoma	Pathology International,64,6,292-294
3	Momoko Nishikori	血液・腫瘍内科	Ki-67 is a strong predictor of central nervous system relapse in patients with mantle cell lymphoma (MCL)	Annals of Oncology,26,5,966-973
4	Masahiro Kawahara	血液・腫瘍内科	T memory stem cells are the hierarchical apex of adult T-cell leukemia.	Blood,125,23,3527-3535
5	Kotaro Sirakawa	血液・腫瘍内科	Successful treatment with recombinant thrombomodulin for disseminated intravascular coagulation complicated with hemophagocytic syndrome.	[Rinsho ketsueki] The Japanese journal of clinical hematology,56,3,312-316
6	Shinichi Harashima	糖尿病・内分泌・栄養内科	Self-monitoring of blood glucose (SMBG) improves glycemic control in oral hypoglycemic agent (OHA)-treated type 2 diabetes	Diabetes Technology and Therapeutics,16,SUPPL. 1,S8
7	Akihiro Yasoda	糖尿病・内分泌・栄養内科	A recurrent de novo FAM111A mutation causes Kenny-Caffey syndrome type 2	Journal of Bone and Mineral Research,29,4,992-998
8	Kazuaki Nagashima	糖尿病・内分泌・栄養内科	Color record in self-monitoring of blood glucose improves glycemic control by better self-management.	Diabetes Technol Ther.,16,7,447-453
9	Mayumi Inoue	糖尿病・内分泌・栄養内科	Fat depot-specific gene signature and ECM remodeling of Sca1(high) adipose-derived stem cells.	Matrix biology : journal of the International Society for Matrix Biology,36,28-38
10	Kazuaki Nagashima	糖尿病・内分泌・栄養内科	BARP suppresses voltage-gated calcium channel activity and Ca ²⁺ -evoked exocytosis.	J Cell Biol.,205,2,233-249
11	Nobuya Inagaki	糖尿病・内分泌・栄養内科	Long-term effect of dipeptidyl peptidase-4 inhibition on beta-cell mass in an advanced-aged diet-induced obesity mouse model	Journal of Diabetes Investigation,5,2,142-143
12	Masakatsu Sone	糖尿病・内分泌・栄養内科	Role of endogenous ACTH on circadian aldosterone rhythm in patients with primary aldosteronism	Endocrine Connections,3,173-179

小計 12

13	Akihiro Yasoda	糖尿病・内分泌・栄養内科	A comparison between 11C-methionine PET/CT and MIBI SPECT/CT for localization of parathyroid adenomas/hyperplasia.	Nuclear medicine communications,36,1,53-59
14	Kaori Ikeda	糖尿病・内分泌・栄養内科	Social orientation and diabetes-related distress in Japanese and American patients with type 2 diabetes	PLoS ONE,9
15	Masahito Ogura	糖尿病・内分泌・栄養内科	Glutamate acts as a key signal linking glucose metabolism to incretin/cAMP action to amplify insulin secretion.	Cell reports,9,2,661-673
16	Akihiro Yasoda	糖尿病・内分泌・栄養内科	Meclozine promotes longitudinal skeletal growth in transgenic mice with achondroplasia carrying a gain-of-function mutation in the FGFR3 gene.	Endocrinology,156,2,548-554
17	Shunsuke Yamane	糖尿病・内分泌・栄養内科	Free fatty acid receptor GPR120 is highly expressed in enteroendocrine K cells of the upper small intestine and has a critical role in GIP secretion after fat ingestion.	Endocrinology,156,3,837-846
18	Kaori Ikeda	糖尿病・内分泌・栄養内科	Glycemic variability is associated with quality of life and treatment satisfaction in patients with type 1 diabetes	Diabetes Care,38
19	Hiroshi Kondo	糖尿病・内分泌・栄養内科	Dysregulated glycolysis as an oncogenic event	Cell. Mol. Life Sci. ,72,1881-1892
20	Norio Harada	糖尿病・内分泌・栄養内科	Early phase glucagon and insulin secretory abnormalities, but not incretin secretion, are similarly responsible for hyperglycemia after ingestion of nutrients.	Journal of Diabetes and Its Complications. ,29,3,413-421
21	Masakatsu Sone	糖尿病・内分泌・栄養内科	Importance of contralateral aldosterone suppression during adrenal vein sampling in the subtype evaluation of primary aldosteronism.	Clinical endocrinology
22	Mayumi Inoue	糖尿病・内分泌・栄養内科	The exocyst complex regulates free fatty acid uptake by adipocytes.	PLoS one,10,3,e0120289
23	Yoshihito Fujita	糖尿病・内分泌・栄養内科	DEPTOR-related mTOR suppression is involved in metformin's anti-cancer action in human liver cancer cells.	Biochem Biophys Res Commun.,460,4,1047-1052
24	Hiroshi Kondo	糖尿病・内分泌・栄養内科	Assessing the Carcinogenic Potential of Low Dose Exposures to Chemical Mixtures in the Environment: Replicative immortality.	Carcinogenesis,in press
25	Kaori Ikeda	糖尿病・内分泌・栄養内科	Carbohydrate intake is associated with time spent in the euglycemic range in patients with type 1 diabetes	J Diabetes Invest

26	Kazuaki Nagashima	糖尿病・内分泌・栄養内科	Src regulates insulin secretion and glucose metabolism by influencing subcellular localization of glucokinase in pancreatic beta-cells.	J Diabetes Invest.
27	Mayumi Inoue	糖尿病・内分泌・栄養内科	Thrombospondin 1 as a novel biological marker of obesity and metabolic syndrome	Metabolism,in press
28	Yasuhide Kuwabara	循環器内科	MicroRNAs and Lipoprotein Metabolism.	Journal of atherosclerosis and thrombosis,21,1,17-22
29	Junichi Tazaki	循環器内科	Late adverse events after implantation of sirolimus-eluting stent and bare-metal stent: long-term (5-7 years) follow-up of the Coronary Revascularization Demonstrating Outcome study-Kyoto registry Cohort-2.	Circulation. Cardiovascular interventions,7,2,168-179
30	Junichi Tazaki	循環器内科	Frequency of deep vein thrombosis among hospitalized non-surgical Japanese patients with congestive heart failure.	Journal of cardiology,64,6,430-434
31	Junichi Tazaki	循環器内科	Impact of statin therapy on patients with coronary heart disease and aortic aneurysm or dissection.	Journal of vascular surgery,60,3,604-12.e2
32	Noboru Ashida	循環器内科	AMAP1 as a negative-feedback regulator of nuclear factor- κ B under inflammatory conditions	Scientific Reports,4,5094
33	Yasuhide Kuwabara	循環器内科	MicroRNA-33b knock-in mice for an intron of sterol regulatory element-binding factor 1 (Srebf1) exhibit reduced HDL-C in vivo.	Scientific reports,4,5312
34	Junichi Tazaki	循環器内科	Incidence and outcome of surgical procedures after coronary artery bypass grafting compared with those after percutaneous coronary intervention: a report from the Coronary Revascularization Demonstrating Outcome Study in Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-2.	Circulation. Cardiovascular interventions,7,4,482-491
35	Junichi Tazaki	循環器内科	Long-term clinical outcomes after sirolimus-eluting stent implantation for unprotected left main coronary artery disease.	Cardiovascular intervention and therapeutics
36	Yasuhide Kuwabara	循環器内科	Cardiac-specific inhibition of kinase activity in calcium/calmodulin-dependent protein kinase kinase-beta leads to accelerated left ventricular remodeling and heart failure after transverse aortic constriction in mice.	PloS one,9,9,e108201
37	Junichi Tazaki	循環器内科	Impact of angiosome-oriented revascularization on clinical outcomes in critical limb ischemia patients without concurrent wound infection and diabetes.	Journal of endovascular therapy : an official journal of the International Society of Endovascular Specialists,21,5,607-615
38	Junichi Tazaki	循環器内科	Prognostic Factors in Hemodialysis Patients Undergoing Endovascular Treatment for Critical Limb Ischemia due to Isolated Below-the-Knee Disease.	Journal of atherosclerosis and thrombosis,22,4,404-414

39	Yasuhide Kuwabara	循環器内科	MicroRNA-451 exacerbates lipotoxicity in cardiac myocytes and high-fat diet-induced cardiac hypertrophy in mice through suppression of the LKB1/AMPK pathway.	Circulation research,116,2,279-288
40	Takao Kato	循環器内科	Measurement of technetium-99m sestamibi signals in rats administered a mitochondrial uncoupler and in a rat model of heart failure	PLOS One,10,1,e0117091
41	Junichi Tazaki	循環器内科	Noninvasive Detection of Functional Myocardial Ischemia: Multifunction Cardiogram Evaluation in Diagnosis of Functional Coronary Ischemia Study (MED-FIT).	Annals of noninvasive electrocardiology : the official journal of the International Society for Holter and Noninvasive Electrocardiology, Inc
42	Junichi Tazaki	循環器内科	Intravascular ultrasound observation of an obstruction of the left main coronary artery caused by displaced leaflet calcification and hematoma after transcatheter aortic valve implantation.	Circulation,131,7,e345-6
43	Junichi Tazaki	循環器内科	Clinical impact of left ventricular outflow tract obstruction in takotsubo cardiomyopathy.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society,79,4,839-846
44	Yasuhide Kuwabara	循環器内科	MicroRNA-33a/b in lipid metabolism – novel “thrifty” models.	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society,79,2,278-284
45	Junichi Tazaki	循環器内科	Antiplatelet therapy discontinuation and the risk of serious cardiovascular events after coronary stenting: observations from the CREDO-Kyoto Registry Cohort-2.	PloS one,10,4,e0124314
46	Takao Kato	循環器内科	A propensity score matching analysis of transthoracic echocardiography and abdominal ultrasound for the detection of abdominal aortic aneurysms.	Clinical Medicine Insights: Cardiology,9,11-15
47	Koh Ono	循環器内科	MicroRNAs and lipoprotein metabolism	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis,21,1,17-22
48	Koh Ono	循環器内科	Seeing is believing – Imaging of a plaque in the renal artery	Journal of Cardiology Cases,9,2,84-85
49	Hiroshi Nakase	内視鏡部	Unique endoscopic findings of colitis-associated colorectal cancer in a patient with ulcerative colitis and Lynch syndrome.	Journal of Crohn's & colitis,8,4,336-337
50	Hiroshi Nakase	内視鏡部	A randomized clinical trial of mesalazine suppository: the usefulness and problems of central review of evaluations of colonic mucosal findings.	Journal of Crohn's & colitis,8,11,1444-1453
51	Hiroshi Nakase	内視鏡部	Education and Imaging. Gastroenterology: mesenteric lymphoma with chylous ascites.	Journal of gastroenterology and hepatology,29,8,1570

52	Shin-ichi Miyamoto	内視鏡部	Prevention of gastric volvulus-induced recurrent acute pancreatitis by percutaneous endoscopic gastropexy.	Clinical gastroenterology and hepatology : the official clinical practice journal of the American Gastroenterological Association,13,2,e11-2
53	Shin-ichi Miyamoto	内視鏡部	Systemic ulcerative lesions in a patient with ischemic heart disease.	Gastroenterology,147,6,e7-8
54	Hiroshi Nakase	内視鏡部	Autocrine pathways involving S100A8 and/or S100A9 that are postulated to regulate the immunological functions of macrophages in rats.	Biochemical and biophysical research communications,456,1,415-420
55	Hiroyuki Marusawa	消化器内科	Enhanced expression of activation-induced cytidine deaminase in human gastric mucosa infected by Helicobacter pylori and its decrease following eradication	Journal of Gastroenterology,49,3,427-435
56	Hiroyuki Marusawa	消化器内科	A model of liver carcinogenesis originating from hepatic progenitor cells with accumulation of genetic alterations	International Journal of Cancer,134,5,1067-1076
57	Hiroyuki Marusawa	消化器内科	Inflammation and gastrointestinal cancer: An overview	Cancer Letters,345,2,153-156
58	Hiroyuki Marusawa	消化器内科	Leptin receptor somatic mutations are frequent in HCV-infected cirrhotic liver and associated with hepatocellular carcinoma	Gastroenterology,146,1,222-232.e35
59	Hiroshi Senoo	消化器内科	Molecular changes leading to gastric cancer: a suggestion from rare-type gastric tumors with GNAS mutations.	Gastroenterology,146,5,1417-1418
60	Minoru Matsuura	消化器内科	Long-term efficacy of infliximab for refractory ulcerative colitis: results from a single center experience.	BMC gastroenterology,14,80
61	Hiroyuki Marusawa	消化器内科	Accumulation of somatic mutations in TP53 in gastric epithelium with Helicobacter pylori infection.	Gastroenterology,147,2,407-17.e3
62	Hiroyuki Marusawa	消化器内科	Reactivation from occult HBV carrier status is characterized by low genetic heterogeneity with the wild-type or G1896A variant prevalence.	Journal of hepatology,61,3,492-501
63	Hiroshi Senoo	消化器内科	A case of acute necrotizing esophagitis.	Gastrointestinal endoscopy,80,3,525-526
64	Hiroshi Senoo	消化器内科	Deletion of nardilysin prevents the development of steatohepatitis and liver fibrotic changes.	PloS one,9,5,e98017

65	Minoru Matsuura	消化器内科	Pulmonary Mycobacterium avium Infection in a Patient with Crohn's Disease under Azathioprine Treatment.	Case reports in gastroenterology,8,2,182-185
66	Minoru Matsuura	消化器内科	Therapeutic effect of intensive granulocyte and monocyte adsorption apheresis combined with thiopurines for steroid- and biologics-naïve Japanese patients with early-diagnosed Crohn's disease.	BMC gastroenterology,13,124
67	Minoru Matsuura	消化器内科	Role in calcineurin inhibitors for inflammatory bowel disease in the biologics era: when and how to use.	Inflammatory bowel diseases,20,11,2151-2156
68	Ken Takahashi	消化器内科	Late-onset acetaminophen-induced allergic hepatitis with progression to chronicity	Hepatology Research,45,7,814-817
69	Hiroshi Senoo	消化器内科	Primary splenic angiosarcoma.	Internal medicine (Tokyo, Japan),53,15,1717-1719
70	Hiroyuki Marusawa	消化器内科	The RNA-editing enzyme APOBEC1 requires heterogeneous nuclear ribonucleoprotein Q isoform 6 for efficient interaction with interleukin-8 mRNA.	The Journal of biological chemistry,289,38,26226-26238
71	Hiroshi Senoo	消化器内科	Esophageal ulcer due to lymphoma.	Internal medicine (Tokyo, Japan),53,22,2649-2650
72	Yuuzou Kodama	消化器内科	Non-functioning pancreatic neuroendocrine tumor accompanied with multiple liver metastases: remorseful case and literature review.	JOP : Journal of the pancreas,15,6,622-625
73	Hiroyuki Marusawa	消化器内科	Mouse models of hepatitis B virus infection comprising host-virus immunologic interactions.	Pathogens (Basel, Switzerland),3,2,377-389
74	Hiroyuki Marusawa	消化器内科	Education and imaging. Gastrointestinal: Recurrent pancreatitis due to pancreatic arteriovenous malformation.	Journal of gastroenterology and hepatology,30,1,2
75	Atsushi Takai	消化器内科	Integrative genomics identifies YY1AP1 as an oncogene driver in EpCAM+ AFP+ hepatocellular carcinoma.	Oncogene
76	Hiroshi Senoo	消化器内科	Breast cancer metastasis to the esophagus diagnosed using endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration.	,30,2,233-233
77	Hiroyuki Marusawa	消化器内科	Comprehensive characterization of hepatitis B virus-associated multifocal hepatocellular carcinoma using a multi-omics strategy.	Annals of translational medicine,3,1,3

78	Atsushi Takai	消化器内科	Hepatic stellate cell and monocyte interaction contributes to poor prognosis in hepatocellular carcinoma.	Hepatology
79	Hiroshi Senoo	消化器内科	Endoscopic intraluminal cutting technique for indwelling devices using a lithotripter handle and guidewire.	Endoscopy,47,S01,E251-E252
80	Shigeo Muro	呼吸器内科	CT emphysema predicts mortality in COPD.	Chest,Epub ahead of print
81	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Prevalence and clinical relevance of allergic rhinitis in patients with classic asthma and cough variant asthma.	Respiration; international review of thoracic diseases,87,3,211-218
82	Shigeo Muro	呼吸器内科	Neutrophil gelatinase-associated lipocalin in idiopathic pulmonary fibrosis.	The European respiratory journal,43,6,1807-1809
83	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Integrating longitudinal information on pulmonary function and inflammation using asthma phenotypes.	The Journal of allergy and clinical immunology,133,5,1474-7, 1477.e1
84	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Videothoracoscopy-assisted surgical lung biopsy for interstitial lung diseases.	General thoracic and cardiovascular surgery,62,6,376-382
85	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Druggable oncogene fusions in invasive mucinous lung adenocarcinoma.	Clinical cancer research : an official journal of the American Association for Cancer Research,20,12,3087-3093
86	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Factors contributing to an accelerated decline in pulmonary function in asthma.	Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology,63,2,181-188
87	Hisako Matsumoto	呼吸器内科	Serum periostin: a novel biomarker for asthma management.	Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology,63,2,153-160
88	Hiroaki Ozasa	呼吸器内科	Significance of c-MET overexpression in cytotoxic anticancer drug-resistant small-cell lung cancer cells.	Cancer science,105,8,1032-1039
89	Michiaki Mishima	呼吸器内科	BMPR2 gene mutation in pulmonary arteriovenous malformation and pulmonary hypertension: a case report.	Respiratory investigation,52,3,195-198
90	Shigeo Muro	呼吸器内科	p38 mitogen-activated protein kinase determines the susceptibility to cigarette smoke-induced emphysema in mice.	BMC pulmonary medicine,14,79

91	Shigeo Muro	呼吸器内科	Association of COPD exacerbation frequency with gene expression of pattern recognition receptors in inflammatory cells in induced sputum.	The clinical respiratory journal
92	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Comprehensive efficacy of omalizumab for severe refractory asthma: a time-series observational study.	Annals of allergy, asthma & immunology : official publication of the American College of Allergy, Asthma, & Immunology,113,4,470-5.e2
93	Shigeo Muro	呼吸器内科	Comparison of two devices for respiratory impedance measurement using a forced oscillation technique: basic study using phantom models.	The journal of physiological sciences : JPS,64,5,377-382
94	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Impact of obstructive sleep apnea on abdominal aortic diameters.	The American journal of cardiology,114,4,618-623
95	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Osteopontin and periostin are associated with a 20-year decline of pulmonary function in patients with asthma.	American journal of respiratory and critical care medicine,190,4,472-474
96	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Associations among chronic obstructive pulmonary disease and sleep-disordered breathing in an urban male working population in Japan.	Respiration; international review of thoracic diseases,88,3,234-243
97	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Obesity hypoventilation syndrome in Japan and independent determinants of arterial carbon dioxide levels.	Respirology (Carlton, Vic.),19,8,1233-1240
98	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Pathophysiological characteristics of asthma in the elderly: a comprehensive study.	Annals of allergy, asthma & immunology : official publication of the American College of Allergy, Asthma, & Immunology,113,5,527-533
99	Shimpei Gotoh	呼吸器内科	Generation of alveolar epithelial spheroids via isolated progenitor cells from human pluripotent stem cells	Stem Cell Reports,3,394-403
100	Michiaki Mishima	呼吸器内科	The influence of environmental exposure on the response to antimicrobial treatment in pulmonary Mycobacterial avium complex disease.	BMC infectious diseases,14,522
101	Shigeo Muro	呼吸器内科	Gastroesophageal reflux disease symptoms and dietary behaviors are significant correlates of short sleep duration in the general population: the Nagahama Study.	Sleep,37,11,1809-1815
102	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Impact of pretreatment interstitial lung disease on radiation pneumonitis and survival after stereotactic body radiation therapy for lung cancer.	Journal of thoracic oncology : official publication of the International Association for the Study of Lung Cancer,10,1,116-125
103	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Total lesion glycolysis as an IgG4-related disease activity marker.	Modern rheumatology / the Japan Rheumatism Association,1-6

104	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Prevalence and risk factors for chronic co-infection in pulmonary Mycobacterium avium complex disease.	BMJ open respiratory research,1,1,e000050
105	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Using exhaled nitric oxide and serum periostin as a composite marker to identify severe/steroid-insensitive asthma.	American journal of respiratory and critical care medicine,190,12,1449-1452
106	Hisako Matsumoto	呼吸器内科	Swyer-James syndrome associated with asthma and a giant bulla.	Respirology case reports,2,4,150-153
107	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Rapid response of brain metastases to alectinib in a patient with non-small-cell lung cancer resistant to crizotinib.	Medical oncology (Northwood, London, England),32,2,477
108	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Effect of liver toxicity on clinical outcome of patients with non-small-cell lung cancer treated with pemetrexed.	Molecular and clinical oncology,3,2,334-340
109	Shigeo Muro	呼吸器内科	[The role of pulmonary function and computer-assisted tomography imaging in COPD clinics].	Rinsho byori. The Japanese journal of clinical pathology,62,12,1212-1217
110	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Emphysema and airway disease affect within-breath changes in respiratory resistance in COPD patients.	Respirology (Carlton, Vic.)
111	Michiaki Mishima	呼吸器内科	Among Metabolic Factors, Significance of Fasting and Postprandial Increases in Acyl and Desacyl Ghrelin and the Acyl/Desacyl Ratio in Obstructive Sleep Apnea before and after Treatment.	Journal of clinical sleep medicine : JCSM : official publication of the American Academy of Sleep Medicine
112	Ran Sasai	免疫・膠原病内科	Two patients in the same family with anti-ARS antibody-associated myositis.	Modern rheumatology / the Japan Rheumatism Association,24,4,699-700
113	Tsuneyo Mimori	免疫・膠原病内科	Significant association between CYP3A5 polymorphism and blood concentration of tacrolimus in patients with connective tissue diseases	Journal of Human Genetics,59,2,107-109
114	Tsuneyo Mimori	免疫・膠原病内科	Deficient leptin signaling ameliorates systemic lupus erythematosus lesions in MRL/Mp-faslpr mice	Journal of Immunology,192,3,979-984
115	Tsuneyo Mimori	免疫・膠原病内科	Prescription patterns and trends in anti-rheumatic drug use based on a large-scale claims database in Japan	Clinical Rheumatology,1-8
116	Tsuneyo Mimori	免疫・膠原病内科	The multicenter study of a new assay for simultaneous detection of multiple anti-aminoacyl-tRNA synthetases in myositis and interstitial pneumonia	PLoS ONE,9,1

117	Tsuneo Mimori	免疫・膠原病内科	Recent advances in Takayasu arteritis	International Journal of Rheumatic Diseases,17,3,238-247
118	Yoshitaka Imura	免疫・膠原病内科	Visceral disseminated varicella zoster virus infection after rituximab treatment for granulomatosis with polyangiitis.	Modern rheumatology / the Japan Rheumatism Association,1-7
119	Yoshitaka Imura	免疫・膠原病内科	Proteomic identification of heterogeneous nuclear ribonucleoprotein K as a novel cold-associated autoantigen in patients with secondary Raynaud's phenomenon.	Rheumatology (Oxford, England),54,2,349-358
120	Ran Sasai	免疫・膠原病内科	Autoantibodies to DNA mismatch repair enzymes in polymyositis/dermatomyositis and other autoimmune diseases: a possible marker of favorable prognosis.	Arthritis & rheumatology (Hoboken, N.J.),66,12,3457-3462
121	Yoshitaka Imura	免疫・膠原病内科	Prognostic significance of anti-aminoacyl-tRNA synthetase antibodies in polymyositis/dermatomyositis-associated interstitial lung disease: a retrospective case control study.	PloS one,10,3,e0120313
122	Norio Satou	救急部	Saturated salt solution method: a useful cadaver embalming for surgical skills training.	Medicine,93,27,e196
123	Norio Satou	救急部	Retrospective study of the effectiveness of Intra-Aortic Balloon Occlusion (IABO) for traumatic haemorrhagic shock.	World journal of emergency surgery : WJES,10,1,1
124	Norio Satou	救急部	A proposal for a CT driven classification of left colon acute diverticulitis.	World journal of emergency surgery : WJES,10,3
125	Kei Nishiyama	初期診療・救急科	Noninvasive regional cerebral oxygen saturation for neurological prognostication of patients with out-of-hospital cardiac arrest: a prospective multicenter observational study.	Resuscitation,85,778-784
126	Kei Nishiyama	初期診療・救急科	Reply to Letter: Possibility of predicting neurological outcome using regional cerebral oxygen saturation (rSO2) after cardiac arrest.	Resuscitation,85,e135
127	Kei Nishiyama	初期診療・救急科	Relation of contrast-induced nephropathy to long-term mortality after percutaneous coronary intervention.	The American journal of cardiology,114,362-368
128	Kei Nishiyama	初期診療・救急科	Estimated cerebral oxyhemoglobin as a useful indicator of neuroprotection in patients with post-cardiac arrest syndrome: a prospective, multicenter observational study.	Critical care (London, England),18,500
129	Kei Nishiyama	初期診療・救急科	Execution of diagnostic testing has a stronger effect on emergency department crowding than other common factors: a cross-sectional study.	PloS one,9,e108447

130	Kei Nishiyama	初期診療・救急科	Adding more junior residents may worsen emergency department crowding.	PloS one,9,e110801
131	Kei Nishiyama	初期診療・救急科	Anisakiasis presenting to the ED: clinical manifestations, time course, hematologic tests, computed tomographic findings, and treatment.	The American journal of emergency medicine
132	Ryosuke Takahashi	神経内科	Chemical library screening identifies a small molecule that 1 downregulates SOD1 transcription ¥nfor drugs to treat ALS.	J. Biomolecular Screening(2010 in press)
133	Ryosuke Takahashi	神経内科	Increased cortical hyperexcitability and exaggerated myoclonus with aging in benign adult familial myoclonus epilepsy	Movement Disorders
134	Ryosuke Takahashi	神経内科	Temporal Lobe Epilepsy with Amygdala Enlargement: A Morphologic and Functional Study	Journal of Neuroimaging,24,1,54–62
135	Ryosuke Takahashi	神経内科	XIAP immunoreactivity in glial and neuronal cytoplasmic inclusions in multiple system atrophy	Clinical Neuropathology,33,1,76–83
136	Ryosuke Takahashi	神経内科	Protein disulfide isomerase P5–immunopositive inclusions in patients with Alzheimer¥¥’s disease	Journal of Alzheimer¥¥’s Disease,38,3,601–609
137	Ryosuke Takahashi	神経内科	Design, evaluation, and screening methods for efficient targeted mutagenesis with transcription activator–like effector nucleases in medaka	Development Growth and Differentiation,56,1,98–107
138	Ryosuke Takahashi	神経内科	Argyrophilic grains are reliable disease–specific features of corticobasal degeneration	Journal of Neuropathology and Experimental Neurology,73,1,30–38
139	Ryosuke Takahashi	神経内科	Evaluation of seizure foci and genes in the Lgi1^{L385R/+} mutant rat	Neuroscience Research
140	Takakuni Maki	神経内科	A radical scavenger edaravone inhibits matrix metalloproteinase–9 upregulation and blood–brain barrier breakdown in a mouse model of prolonged cerebral hypoperfusion.	Neuroscience letters,573,40–45
141	Takashi Ayaki	神経内科	Immunohistochemical localization of apoptosome–related proteins in Lewy bodies in Parkinson’s disease and dementia with Lewy bodies.	Brain research,1571,39–48
142	Hodaka Yamakado	神経内科	Advance in PD research explored a new field on ubiquitin biology.	Movement disorders : official journal of the Movement Disorder Society,29,1243

143	Takakuni Maki	神経内科	Silent information regulator 2 homolog 1 counters cerebral hypoperfusion injury by deacetylating endothelial nitric oxide synthase.	Stroke; a journal of cerebral circulation,45,11,3403-3411
144	Takakuni Maki	神経内科	Phosphodiesterase III inhibitor promotes drainage of cerebrovascular beta-amyloid.	Annals of clinical and translational neurology,1,8,519-533
145	Makoto Urushitani	神経内科	Proteasome dysfunction induces muscle growth defects and protein aggregation.	Journal of cell science
146	Takakuni Maki	神経内科	p38 MAP kinase mediates transforming-growth factor-beta1-induced upregulation of matrix metalloproteinase-9 but not -2 in human brain pericytes.	Brain research,1593,1-8
147	Makoto Urushitani	神経内科	Immunoreactivity of valosin-containing protein in sporadic amyotrophic lateral sclerosis and in a case of its novel mutant.	Acta neuropathologica communications,2,172
148	Makoto Urushitani	神経内科	A cysteine residue affects the conformational state and neuronal toxicity of mutant SOD1 in mice - Relevance to the pathogenesis of ALS.	Human molecular genetics
149	Ryosuke Takahashi	神経内科	Novel radioiodinated 1,3,4-oxadiazole derivatives with improved in vivo properties for SPECT imaging of beta-amyloid plaques	MedChemComm,5,1,82-85
150	Manabu Mutou	がん薬物治療科	Multimodal endoscopic treatment for delayed severe esophageal stricture caused by incomplete stent removal	Diseases of the Esophagus,27,2,112-115
151	Manabu Mutou	がん薬物治療科	An efficient diagnostic strategy for small, depressed early gastric cancer with magnifying narrow-band imaging: A post-hoc analysis of a prospective randomized controlled trial	Gastrointestinal Endoscopy,79,1,55-63
152	Shigemi Matsumoto	がん薬物治療科	Neutrophil-to-lymphocyte ratio for predicting palliative chemotherapy outcomes in advanced pancreatic cancer patients.	Cancer medicine,3,2,406-415
153	Masashi Kanai	がん薬物治療科	Phase I study of adjuvant chemotherapy with gemcitabine plus cisplatin in patients with biliary tract cancer undergoing curative resection without major hepatectomy (KHBO1004)	Cancer Chemotherapy and Pharmacology,73,6,1295-1301
154	Shigemi Matsumoto	がん薬物治療科	Comparative outcomes between initially unresectable and recurrent cases of advanced pancreatic cancer following palliative chemotherapy.	Pancreas,43,3,411-416
155	Shigemi Matsumoto	がん薬物治療科	Overcoming the challenges of primary tumor management in patients with metastatic colorectal cancer unresectable for cure and an asymptomatic primary tumor.	Diseases of the colon and rectum,57,6,679-686

156	Masashi Kanai	がん薬物治療科	Therapeutic applications of curcumin for patients with pancreatic cancer.	World journal of gastroenterology : WJG,20,28,9384-9391
157	Masashi Kanai	がん薬物治療科	[Clinical study of new chemotherapy regimen for biliary tract cancer].	Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine,73 Suppl 3,805-808
158	Motoko Yanagita	腎臓内科	Adrenomedullin-RAMP2 system suppresses ER stress-induced tubule cell death and is involved in kidney protection.	PloS one,9,2,e87667
159	Motoko Yanagita	腎臓内科	Twisted gastrulation, a bmp antagonist, exacerbates podocyte injury	PLoS ONE,9,2,e89135
160	Hirofumi Imamaki	腎臓内科	An AKI biomarker lipocalin 2 in the blood derives from the kidney in renal injury but from neutrophils in normal and infected conditions.	Clinical and experimental nephrology,19,1,99-106
161	Motoko Yanagita	腎臓内科	Decrease of muscle volume in chronic kidney disease: the role of mitochondria in skeletal muscle.	Kidney international,85,6,1258-1260
162	Motoko Yanagita	腎臓内科	Origin of myofibroblasts and cellular events triggering fibrosis.	Kidney international,87,2,297-307
163	Motoko Yanagita	腎臓内科	Urinary neutrophil gelatinase-associated lipocalin: a useful biomarker for tacrolimus-induced acute kidney injury in liver transplant patients.	PloS one,9,10,e110527
164	Motoko Yanagita	腎臓内科	Fatty acid binding protein 3 as a potential mediator for diabetic nephropathy in eNOS deficient mouse.	Biochemical and biophysical research communications,454,4,531-536
165	Motoko Yanagita	腎臓内科	Onco-nephrology: current concepts and future perspectives.	Japanese journal of clinical oncology
166	Motoko Yanagita	腎臓内科	Reappraisal of PLA2R1 in membranous nephropathy: immunostaining method influence and association with IgG4-dominant phenotype.	Virchows Archiv : an international journal of pathology
167	Motoko Yanagita	腎臓内科	5-8 Recent trends in acute kidney injury biomarkers	Japanese Journal of Clinical Chemistry,43,1,5-8
168	Yoshiharu Sakai	消化管外科	Laparoscopic gastrectomy for patients with a history of upper abdominal surgery: Results of a matched-pair analysis	Surgery Today,44,2,271-276

169	Yoshiharu Sakai	消化管外科	Advantage of completely laparoscopic gastrectomy with linear stapled reconstruction: A long-term follow-up study	Annals of Surgery,259,1,109-116
170	Koya Hida	消化管外科	Reply to letter: "Open versus laparoscopic resection of primary tumor for incurable stage IV colorectal cancer: a large multicenter consecutive patients cohort study".	Annals of surgery,261,3,e71
171	Yoshiharu Sakai	消化管外科	Aortoenteric fistula at the site of esophagojejunostomy after laparoscopic total gastrectomy: report of a case	Surgery Today,1-5
172	Yoshiharu Sakai	消化管外科	Involvement of interleukin-17A-induced expression of heat shock protein 47 in intestinal fibrosis in Crohn's disease	Gut
173	Shigeo Hisamori	消化管外科	Short-term outcomes of totally laparoscopic total gastrectomy: experience with the first consecutive 112 cases.	World journal of surgery,38,10,2662-2667
174	Kenji Kawada	消化管外科	Risk factors for anastomotic leakage after laparoscopic low anterior resection with DST anastomosis	Surgical Endoscopy,28,10,2988-2995
175	Koya Hida	消化管外科	Obtaining secure stapling of a double stapling anastomosis.	The Journal of surgical research,193,2,652-657
176	Koya Hida	消化管外科	Adenocarcinoma arising at a colostomy site with inguinal lymph node metastasis: report of a case.	Japanese journal of clinical oncology,45,2,217-220
177	Shigeo Hisamori	消化管外科	miR-142 regulates the tumorigenicity of human breast cancer stem cells through the canonical WNT signaling pathway.	eLife,3
178	Kenji Kawada	消化管外科	Regulation of 18F-fluorodeoxyglucose Accumulation in Colorectal Cancer Cells with Mutated KRAS	Journal of nuclear medicine,55,12,2038-2044
179	Shigeo Hisamori	消化管外科	Laparoscopic gastrectomy for remnant gastric cancer: a comprehensive review and case series.	Gastric cancer : official journal of the International Gastric Cancer Association and the Japanese Gastric Cancer Association
180	Shigeo Hisamori	消化管外科	[Advantages and pitfalls of minimally invasive surgery for esophagogastric junction tumors].	Nihon Geka Gakkai zasshi,116,1,45-49
181	Koya Hida	消化管外科	[Review of the health technology assessment on surgeries in Japan].	Nihon Geka Gakkai zasshi,116,1,64-69

182	Masakazu Toi	乳腺外科	A multicenter phase II study of TSU-68, an oral multiple tyrosine kinase inhibitor, in combination with docetaxel in metastatic breast cancer patients with anthracycline resistance	Breast Cancer,21,1,20-27
183	Masakazu Toi	乳腺外科	Photoacoustic mammography: Initial clinical results	Breast Cancer,21,2,146-153
184	Masakazu Toi	乳腺外科	The Global Cancer Genomics Consortium: Interfacing Genomics and Cancer Medicine	Cancer Res. 2012 May 24. [Epub ahead of print]
185	Masakazu Toi	乳腺外科	Temporal profiling of lapatinib-suppressed phosphorylation signals in EGFR/HER2 pathways.	Mol Cell Proteomics. 2012 Sep 10.
186	Masakazu Toi	乳腺外科	Lymphatic Mapping With Fluorescence Navigation Using Indocyanine Green and Axillary Surgery in Patients With Primary Breast Cancer	Breast J. 2012 Sep 26.
187	Masakazu Toi	乳腺外科	Impact of body mass index on breast cancer in accordance with the life-stage of women.	Front Oncol. 2012;2:123
188	Masakazu Toi	乳腺外科	Novel Insights into Breast Cancer Genetic Variance through RNA Sequencing	Sci Rep. 2013 Jul 25;3:2256. doi: 10.1038/srep02256.
189	Masakazu Toi	乳腺外科	Randomized trial of preoperative docetaxel with or without capecitabine after 4 cycles of 5-fluorouracil-epirubicin-cyclophosphamide (FEC) in early-stage breast cancer: exploratory analyses identify Ki67 as a predictive biomarker for response to neoadjuva	Breast Cancer Res Treat. 2013 Oct 12
190	Masakazu Toi	乳腺外科	Survival of HER2-positive primary breast cancer patients treated by neoadjuvant chemotherapy plus trastuzumab: a multicenter retrospective observational study (JBCRG-C03 study)	Breast Cancer Research and Treatment,145,1,143-153
191	Masakazu Toi	乳腺外科	Everolimus for women with trastuzumab-resistant, HER2-positive, advanced breast cancer (BOLERO-3): a randomised, double-blind, placebo-controlled phase 3 trial	The Lancet Oncology,15,6,580-591
192	Masakazu Toi	乳腺外科	A phase II study of metronomic paclitaxel/cyclophosphamide/capecitabine followed by 5-fluorouracil/epirubicin/cyclophosphamide as preoperative chemotherapy for triple-negative or low hormone receptor expressing/HER2-negative primary breast cancer	Cancer Chemother Pharmacol,74,2,229-238
193	Masakazu Toi	乳腺外科	Re: Denosumab for patients with persistent or relapsed hypercalcemia of malignancy despite recent bisphosphonate treatment	J Natl Cancer Inst,106,7
194	Masakazu Toi	乳腺外科	Tumor microvasculature characteristics studied by image analysis: Histologically-driven angiogenic profile.	Int J Biol Markers,29,3,204-207

195	Masakazu Toi	乳腺外科	Journal Club: Diagnostic value of (18)F-FDG PET/CT and MRI in predicting the clinicopathologic subtypes of invasive breast cancer	AJR Am J Roentgenol,203,2,272-279
196	Masakazu Toi	乳腺外科	2013 clinical practice guidelines (The Japanese Breast Cancer Society)	history, policy and mission. Breast Cancer
197	Masakazu Toi	乳腺外科	Development of Web tools to predict axillary lymph node metastasis and pathological response to neoadjuvant chemotherapy in breast cancer patients	Int J Biol Markers
198	Masakazu Toi	乳腺外科	An optical labeling-based proliferation assay system reveals the paracrine effect of interleukin-6 in breast cancer	Biochim Biophys Acta.,1853,1,27-40
199	Masakazu Toi	乳腺外科	Effects of zoledronic acid and the association between its efficacy and gammadeltaT cells in postmenopausal women with breast cancer treated with preoperative hormonal therapy	a study protocol. J Transl Med.,12,310
200	Masakazu Toi	乳腺外科	Degree of freezing does not affect efficacy of frozen gloves for prevention of docetaxel-induced nail toxicity in breast cancer patients	Support Care Cancer. 2011 Nov 1
201	Shinji Uemoto	肝胆膵・移植外科	Living donor liver transplantation for pediatric patients with metabolic disorders: The Japanese multicenter registry	Pediatric Transplantation,18,1,6-15
202	Shinji Uemoto	肝胆膵・移植外科	Optimal cut-off value for the number of colorectal liver metastases: A project study for hepatic surgery of the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences,21,3,169-175
203	Etsuro Hatano	肝胆膵・移植外科	Attenuation of steatohepatitis, fibrosis, and carcinogenesis in mice fed a methionine-choline deficient diet by CCAAT/enhancer-binding protein homologous protein deficiency.	Journal of gastroenterology and hepatology,29,1109-1118
204	Etsuro Hatano	肝胆膵・移植外科	Clinical utility and limitations of FDG PET in detecting recurrent hepatocellular carcinoma in postoperative patients.	International journal of clinical oncology,19,1020-1028
205	Koujirou Taura	肝胆膵・移植外科	Direct volume manipulation for visualizing intraoperative liver resection process	Computer Methods and Programs in Biomedicine,113,3,725-735
206	Shinji Uemoto	肝胆膵・移植外科	Risk factors for alcohol relapse after liver transplantation for alcoholic cirrhosis in Japan	Liver Transplantation,20,3,298-310
207	Shinji Uemoto	肝胆膵・移植外科	Impact of preoperative uncontrollable hepatic hydrothorax and massive ascites in adult liver transplantation	Surgery Today

208	Taku Iida	肝胆腫・移植外科	How to successfully resect 70 % of the liver in pigs to model an extended hepatectomy with an insufficient remnant or liver transplantation with a small-for-size graft.	Surgery today,44,11,2201-2207
209	Shinji Uemoto	肝胆腫・移植外科	Graft reconditioning with nitric oxide gas in rat liver transplantation from cardiac death donors	Transplantation,97,6,618-625
210	Etsuro Hatano	肝胆腫・移植外科	A case of xanthogranulomatous cholecystitis suspected to be adenocarcinoma based on the intraoperative peritoneal washing cytology.	International journal of surgery case reports,5,138-141
211	Etsuro Hatano	肝胆腫・移植外科	Effect of TU-100, a traditional Japanese medicine, administered after hepatic resection in patients with liver cancer: a multi-center, phase III trial (JFMC40-1001).	International journal of clinical oncology,20,95-104
212	Etsuro Hatano	肝胆腫・移植外科	Assessment of [(18)F]-fluoroacetate PET/CT as a tumor-imaging modality: preclinical study in healthy volunteers and clinical evaluation in patients with liver tumor.	Annals of nuclear medicine,28,371-380
213	Shinji Uemoto	肝胆腫・移植外科	Effect of graft size matching on pediatric living-donor liver transplantation in Japan	Experimental and Clinical Transplantation,12,SUPPL. 1,1-4
214	Etsuro Hatano	肝胆腫・移植外科	Hepatoprotective effect by pretreatment with olprinone in a swine partial hepatectomy model.	Liver transplantation : official publication of the American Association for the Study of Liver Diseases and the International Liver Transplantation Society,20,838-849
215	Shinji Uemoto	肝胆腫・移植外科	Nationwide survey of the outcomes of living donor liver transplantation for hepatoblastoma in Japan	Liver Transplantation,20,3,333-346
216	Shintarou Yagi	肝胆腫・移植外科	Hepatic arterial complications in adult living donor liver transplant recipients: a single-center experience of 673 cases.	Clinical transplantation,28,9,1025-1030
217	Etsuro Hatano	肝胆腫・移植外科	Phase I study of adjuvant gemcitabine or S-1 in patients with biliary tract cancers undergoing major hepatectomy: KHBO1003 study.	Cancer chemotherapy and pharmacology,74,699-709
218	Taku Iida	肝胆腫・移植外科	Donor morbidity in right and left hemiliver living donor liver transplantation: the impact of graft selection and surgical innovation on donor safety.	Transplant international : official journal of the European Society for Organ Transplantation,27,11,1205-1213
219	Shintarou Yagi	肝胆腫・移植外科	[Long-term survival following resection of a leiomyosarcoma originating from the inferior vena cava].	Nihon Shokakibyo Gakkai zasshi = The Japanese journal of gastro-enterology,111,8,1624-1631
220	Shintarou Yagi	肝胆腫・移植外科	Case of primary hepatic gastrinoma: Diagnostic usefulness of the selective arterial calcium injection test.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology

221	Etsuro Hatano	肝胆腫・移植外科	Indication for neoadjuvant chemotherapy in patients with colorectal liver metastases based on a nomogram that predicts disease-free survival.	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences,21,881-888
222	Etsuro Hatano	肝胆腫・移植外科	Regorafenib suppresses sinusoidal obstruction syndrome in rats.	The Journal of surgical research,193,693-703
223	Etsuro Hatano	肝胆腫・移植外科	Necrostatin-1 protects against reactive oxygen species (ROS)-induced hepatotoxicity in acetaminophen-induced acute liver failure.	FEBS open bio,4,777-787
224	Etsuro Hatano	肝胆腫・移植外科	Impact of Hepatic Steatosis on Disease-Free Survival in Patients with Non-B Non-C Hepatocellular Carcinoma Undergoing Hepatic Resection.	Annals of surgical oncology
225	Etsuro Hatano	肝胆腫・移植外科	A multi-institution phase II study of gemcitabine/cisplatin/S-1 (GCS) combination chemotherapy for patients with advanced biliary tract cancer (KHBO 1002).	Cancer chemotherapy and pharmacology,75,293-300
226	Etsuro Hatano	肝胆腫・移植外科	Laparoscopic Liver Resection in Obese Patients.	World journal of surgery
227	Shintarou Yagi	肝胆腫・移植外科	Long-term survival after resection of pancreatic cancer: a single-center retrospective analysis.	World journal of gastroenterology : WJG,21,1,262-268
228	Etsuro Hatano	肝胆腫・移植外科	Intraoperative fluorescent cholangiography using indocyanine green for laparoscopic fenestration of nonparasitic huge liver cysts.	Asian journal of endoscopic surgery,8,71-74
229	Etsuro Hatano	肝胆腫・移植外科	Impact of elderly donors for liver transplantation: A single-center experience.	Liver transplantation : official publication of the American Association for the Study of Liver Diseases and the International Liver Transplantation Society
230	Etsuro Hatano	肝胆腫・移植外科	Hepatocellular Carcinoma with Bile Duct Tumor Thrombus: Surgical Outcomes and the Prognostic Impact of Concomitant Major Vascular Invasion.	World journal of surgery
231	Satoru Seo	肝胆腫・移植外科	Migration of splenic lymphocytes promotes liver fibrosis through modification of T helper cytokine balance in mice.	Journal of gastroenterology
232	Taku Iida	肝胆腫・移植外科	[Hepatic resection for local recurrence after radiofrequency ablation therapy for colorectal liver metastases].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy,41,12,2062-2064
233	Shintarou Yagi	肝胆腫・移植外科	Significance of (99m)Tc-GSA liver scintigraphy in liver surgery and transplantation.	Annals of translational medicine,3,2,16

234	Shintarou Yagi	肝胆膵・移植外科	Ultraviolet-induced alloantigen-specific immunosuppression in transplant immunity.	World journal of transplantation,5,1,11-18
235	Shintarou Yagi	肝胆膵・移植外科	Comparison between anatomical subsegmentectomy and nonanatomical partial resection for hepatocellular carcinoma located within a single subsegment: a single-center retrospective analysis.	Hepato-gastroenterology,62,138,363-367
236	Shinji Uemoto	肝胆膵・移植外科	How to successfully resect 70 % of the liver in pigs to model an extended hepatectomy with an insufficient remnant or liver transplantation with a small-for-size graft	Surgery Today,1-7
237	Shinji Uemoto	肝胆膵・移植外科	Prolonged thrombocytopenia after living donor liver transplantation is a strong prognostic predictor irrespective of history of splenectomy: the significance of ADAMTS13 and graft function	International Journal of Hematology,1-11
238	Tomoaki Murakami	眼科	Retinal sensitivity after resolution of the Retinal sensitivity after resolution of the macular edema associated with retinal vein occlusion.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2012 May;250(5):635-44.
239	Nagahisa Yoshimura	眼科	Vascular endothelial growth factor gene and the response to anti-vascular endothelial growth factor treatment for choroidal neovascularization in high myopia	Ophthalmology,121,1,225-233
240	Nagahisa Yoshimura	眼科	Association between retinal venular dilation and serous retinal detachment in diabetic macular EDEMA	Retina,34,4,725-731
241	Nagahisa Yoshimura	眼科	Parallelism as a novel marker for structural integrity of retinal layers in optical coherence tomographic images in eyes with epiretinal membrane	American Journal of Ophthalmology,157,1,227-236.e4
242	Nagahisa Yoshimura	眼科	Hyperreflective foci in outer retina predictive of photoreceptor damage and poor vision after vitrectomy for diabetic macular edema	Retina,34,4,732-740
243	Nagahisa Yoshimura	眼科	Cone abnormalities in fundus albipunctatus associated with RDH5 mutations assessed using adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy	American Journal of Ophthalmology,157,3,558-570.e4
244	Nagahisa Yoshimura	眼科	Multimodal evaluation of macular function in age-related macular degeneration	Japanese Journal of Ophthalmology,58,2,155-165
245	Nagahisa Yoshimura	眼科	Measurement of retinal nerve fiber layer thickness in eyes with optic disc swelling by using scanning laser polarimetry and optical coherence tomography	Clinical Ophthalmology,8,1,105-111
246	Nagahisa Yoshimura	眼科	Calcification of the placenta in a woman with pseudoxanthoma elasticum with a mutation of the ABCC6 gene	Journal of Dermatology,41,2,189-191

247	Nagahisa Yoshimura	眼科	Alterations in the neural and connective tissue components of glaucomatous cupping after glaucoma surgery using swept-source optical coherence tomography	Investigative Ophthalmology and Visual Science,55,1,477-484
248	Nagahisa Yoshimura	眼科	Qualitative and Quantitative Characteristics of Near-Infrared Autofluorescence in Diabetic Macular Edema	Ophthalmology
249	Nagahisa Yoshimura	眼科	Tomographic comparison of cone-rod and rod-cone retinal dystrophies	Graefes Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology,1-5
250	Akihito Uji	眼科	Relationship between retinal lesions and inward choroidal bulging in Vogt-Koyanagi-Harada disease.	American journal of ophthalmology,157,5,1056-1063
251	Sotaro Ooto	眼科	Macular choroidal thickness and volume of eyes with reticular pseudodrusen using swept-source optical coherence tomography.	American journal of ophthalmology,157,5,994-1004
252	Nagahisa Yoshimura	眼科	Retinal Microstructural Changes in Eyes With Resolved Branch Retinal Vein Occlusion: An Adaptive Optics Scanning Laser Ophthalmoscopy Study	American Journal of Ophthalmology
253	Nagahisa Yoshimura	眼科	Three-dimensional optical coherence tomography evaluation of vascular changes at arteriovenous crossings	Investigative Ophthalmology and Visual Science,55,3,1867-1875
254	Nagahisa Yoshimura	眼科	Adaptive optics-assisted identification of preferential erythrocyte aggregate pathways in the human retinal microvasculature	PLoS ONE,9,2
255	Nagahisa Yoshimura	眼科	Integrative understanding of macular morphologic patterns in diabetic retinopathy based on self-organizing map	Investigative Ophthalmology and Visual Science,55,3,1994-2003
256	Nagahisa Yoshimura	眼科	Metastatic carcinoma to the vitreous: An optical coherence tomography and ultrawide field imaging study	Clinical and Experimental Ophthalmology
257	Sotaro Ooto	眼科	Choroidal neovascularization in eyes with choroidal vascular hyperpermeability.	Investigative ophthalmology & visual science,55,5,3223-3230
258	Sotaro Ooto	眼科	Outer retinal corrugations in age-related macular degeneration.	JAMA ophthalmology,132,7,806-813
259	Tomoaki Murakami	眼科	Parallelism for quantitative image analysis of photoreceptor-retinal pigment epithelium complex alterations in diabetic macular edema.	Investigative ophthalmology & visual science,55,5,3361-3367

260	Sotaro Ooto	眼科	Vitrectomy with inner retinal fenestration for optic disc pit maculopathy.	Ophthalmology,121,9,1727-1733
261	Sotaro Ooto	眼科	Two-year visual outcome of polypoidal choroidal vasculopathy treated with photodynamic therapy combined with intravitreal injections of ranibizumab.	Graefe's archive for clinical and experimental ophthalmology = Albrecht von Graefes Archiv fur klinische und experimentelle Ophthalmologie,253,2,189-197
262	Sotaro Ooto	眼科	The lack of concordance between subretinal drusenoid deposits and large choroidal blood vessels.	American journal of ophthalmology,158,4,710-715
263	Tomoaki Murakami	眼科	Optical coherence tomographic reflectivity of cystoid spaces is related to recurrent diabetic macular edema after triamcinolone.	Retina (Philadelphia, Pa.),35,2,264-271
264	Sotaro Ooto	眼科	Dome-shaped macular configuration: longitudinal changes in the sclera and choroid by swept-source optical coherence tomography over two years.	American journal of ophthalmology,158,5,1062-1070
265	Sotaro Ooto	眼科	High-resolution imaging of photoreceptors in macular microholes.	Investigative ophthalmology & visual science,55,9,5932-5943
266	Sotaro Ooto	眼科	Effects of sex and age on the normal retinal and choroidal structures on optical coherence tomography.	Current eye research,40,2,213-225
267	Sotaro Ooto	眼科	Association of focal choroidal excavation with age-related macular degeneration.	Investigative ophthalmology & visual science,55,9,6046-6054
268	Akihito Uji	眼科	Slit lamp- and noncontact lens-assisted photography: a novel technique for color fundus photograph-like fundus imaging.	International ophthalmology,34,6,1259-1261
269	Tomoaki Murakami	眼科	Retinal hemorheologic characterization of early-stage diabetic retinopathy using adaptive optics scanning laser ophthalmoscopy.	Investigative ophthalmology & visual science,55,12,8513-8522
270	Sotaro Ooto	眼科	Efficacy of intravitreal injection of aflibercept in neovascular age-related macular degeneration with or without choroidal vascular hyperpermeability.	Investigative ophthalmology & visual science,55,12,7874-7880
271	Sotaro Ooto	眼科	Retinal pigment epithelial tear after intravitreal aflibercept for neovascular age-related macular degeneration.	Ophthalmic surgery, lasers & imaging retina,46,1,87-90
272	Tomoaki Murakami	眼科	Disorganized retinal lamellar structures in nonperfused areas of diabetic retinopathy.	Investigative ophthalmology & visual science,56,3,2012-2020

273	Tomoaki Murakami	眼科	Potential measurement errors due to image enlargement in optical coherence tomography imaging.	PloS one,10,5,e0128512
274	Eiji Kondou	産科婦人科	Successful management of intraoperative hemorrhage from placenta previa accreta: Intrauterine tamponade balloons brought out through the abdominal wall	Journal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicine,27,3,309-311
275	Eiji Kondou	産科婦人科	Treatment decision-making for post-partum hemorrhage using dynamic contrast-enhanced computed tomography	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research,40,1,67-74
276	Miho Egawa	産科婦人科	Birth cohort study on the effects of desert dust exposure on children's health: protocol of an adjunct study of the Japan Environment & Children's Study.	BMJ open,23,4,e004863
277	Kaoru Abiko	産科婦人科	Clinical approaches to treating papillary squamous cell carcinoma of the uterine cervix.	BMC cancer,14,784
278	Kaoru Abiko	産科婦人科	Clear cell carcinoma arising from a uterus-like mass.	Pathology international,64,11,576-580
279	Kaoru Abiko	産科婦人科	Invasion of uterine cervical squamous cell carcinoma cells is facilitated by locoregional interaction with cancer-associated fibroblasts via activating transforming growth factor-beta.	Gynecologic oncology,136,1,104-111
280	Kaoru Abiko	産科婦人科	The BMP signaling pathway leads to enhanced proliferation in serous ovarian cancer—a potential therapeutic target.	Molecular carcinogenesis
281	Hidefumi Hiramatsu	小児科	Genetic correction of HAX1 in induced pluripotent stem cells from a patient with severe congenital neutropenia improves defective granulopoiesis	Haematologica,99,1,19-27
282	Toshio Heike	小児科	Plasma homocysteine, methionine and S-adenosylhomocysteine levels following high-dose methotrexate treatment in pediatric patients with acute lymphoblastic leukemia or Burkitt lymphoma: association with hepatotoxicity.	Leukemia & Lymphoma,55,7,1591-1595
283	Tomoki Kawai	小児科	Somatic NLRP3 mosaicism in Muckle-Wells syndrome. A genetic mechanism shared by different phenotypes of cryopyrin-associated periodic syndromes.	Ann Rheum Dis.,74,3,603-610
284	Toshio Heike	小児科	The clinical utility of genetic testing for t(8;16)(p11;p13) in congenital acute myeloid leukemia	Journal of Pediatric Hematology/Oncology,36,5,e325-327
285	Toshio Heike	小児科	High prevalence of severe circulatory complications with diazoxide in premature infants	Neonatology,105,3,166-171

286	Toshio Heike	小児科	Subcutaneous fat accumulation in early infancy is more strongly associated with motor development and delay than muscle growth	Acta Paediatrica, International Journal of Paediatrics
287	Toshio Heike	小児科	Good response to chemotherapy spares irradiation for extrarenal rhabdoid tumor conferring better activities of daily living	Journal of Pediatric Hematology/Oncology
288	Toshio Heike	小児科	BCG vaccination in patients with severe combined immunodeficiency: complications, risks, and vaccination policies.	Journal of Allergy and Clinical Immunology,133,4,1134–1141
289	Ryuta Nisikomori	小児科	Ultrasonographic assessment reveals detailed distribution of synovial inflammation in Blau syndrome	Acta Veterinaria Scandinavica,R89
290	Toshio Heike	小児科	Perforation of enteric duplication during chemotherapy for osteosarcoma.	Pediatrics International,56,2,279–282
291	Toshio Heike	小児科	Hypergonadotropic hypogonadism and hypersegmented neutrophils in a patient with ataxia–telangiectasia–like disorder: potential diagnostic clues?	American Journal of Medical Genetics,164A,7,1830–1834
292	Toshio Heike	小児科	Real-time single-cell imaging of protein secretion.	Scientific Reports,22,4
293	Toshio Heike	小児科	Cortical muscle control of spontaneous movements in human neonates.	European Journal of Neuroscience,40,3,2548–2553
294	Toshio Heike	小児科	Aicardi–Goutières syndrome is caused by IFIH1 mutations.	American Journal of Human Genetics,95,1,121–125
295	Toshio Heike	小児科	A boy with unilateral neck myoclonus of cortical origin independently on both sides.	Seizure,24,131–133
296	Fusako Niwa	小児科	Preterm birth is associated with an increased fundamental frequency of spontaneous crying in human infants at term-equivalent age.	Biology letters,10,8
297	Toshio Heike	小児科	The NOD/Shi–scid/IL–2R γ manull mice xenograft model recapitulates anaplastic large cell lymphoma dissemination to the bladder.	Leukemia & Lymphoma,24,1–2
298	Takahiro Yasumi	小児科	Munc13–4 deficiency with CD5 downregulation on activated CD8+ T cells.	Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society,56,4,605–608

299	Toshio Heike	小児科	Acute lymphoblastic leukemia in a girl with Wilson's disease.	Pdeiatrics International,56,4,626-629
300	Toshio Heike	小児科	Enhanced chondrogenesis of induced pluripotent stem cells from patients with neonatal-onset multisystem inflammatory disease occurs via the caspase 1-independent cAMP/protein kinase A/CREB pathway.	Arthritis & Rheumatology,67,1,302-312
301	Toshio Heike	小児科	Derivation of mesenchymal stromal cells from pluripotent stem cells through a neural crest lineage using small molecule compounds with defined media.	PLoS One,9,12,e112291
302	Toshio Heike	小児科	A granulocytosis associated with rufinamide: A case report.	Brain development,22
303	Satoshi Saida	小児科	Prognostic significance of Aminopeptidase-N (CD13) in hepatoblastoma	Pediatric International
304	Toshio Heike	小児科	Epileptic encephalopathy associated with human herpes virus 6 (HHV-6) encephalitis after the second cord blood transplantation in a patient with pediatric acute lymphoblastic leukemia.	Rinsho Ketsueki,55,12,2418-2422
305	Tomoki Kawai	小児科	Laboratory parameters identify familial haemophagocytic lymphohistiocytosis from other forms of paediatric haemophagocytosis.	Br J Haematol.
306	Tomoki Kawai	小児科	Reduced Numbers and Proapoptotic Features of Mucosal-associated Invariant T Cells as a Characteristic Finding in Patients with IBD.	Inflamm Bowel Dis.
307	Masahiko Kawai	小児科	Cortical-muscular causality in spontaneous movements of human neonates.	European Journal of Neuroscience,40,3,2548-2553
308	Akihiro Fujisawa	皮膚科	Improvement in telangiectatic rosacea as a side-effect of monthly docetaxel therapy	Clinical and Experimental Dermatology,39,2,262-263
309	Kenji Kabashima	皮膚科	Digital vasculitis with eosinophilia possibly associated with etanercept therapy	Acta Dermato-Venereologica,94,2,239-240
310	Kenji Kabashima	皮膚科	Serum granulysin as a possible key marker of the activity of alopecia areata	Journal of Dermatological Science,73,1,74-79
311	Kenji Kabashima	皮膚科	Increased frequencies of Th17 cells in drug eruptions	Journal of Dermatological Science,73,1,85-88

312	Kenji Kabashima	皮膚科	Complete maternal Isodisomy of chromosome 5 in a Japanese patient with Netherton syndrome	Journal of Investigative Dermatology,134,3,849-852
313	Kenji Kabashima	皮膚科	Possible new therapeutic strategy to regulate atopic dermatitis through upregulating filaggrin expression	Journal of Allergy and Clinical Immunology,133,1,139-146.e10
314	Atsushi Otsuka	皮膚科	Coexistent skin lesions of vitiligo and psoriasis vulgaris. Immunohistochemical analyses for IL-17A-producing cells and regulatory T cells.	Acta dermato-venereologica,94,3,329-330
315	Kenji Kabashima	皮膚科	Primary cutaneous lichen amyloidosis of the external auditory canal, possibly due to scratching with a metal nail head for severe pruritus	European Journal of Dermatology,24,1,95-96
316	Kenji Kabashima	皮膚科	Influence of Th2 cells on hair cycle/growth after repeated cutaneous application of hapten	Clinical and Experimental Dermatology,39,2,213-215
317	Kenji Kabashima	皮膚科	Prostaglandin E2-EP3 signaling induces inflammatory swelling by mast cell activation	Journal of Immunology,192,3,1130-1137
318	Kenji Kabashima	皮膚科	Leukotrienes as key mediators and amplifiers in allergic inflammation: Insights from the bench and clinic	Experimental Dermatology,23,2,95-96
319	Atsushi Otsuka	皮膚科	IL-17A as an inducer for Th2 immune responses in murine atopic dermatitis models.	The Journal of investigative dermatology,134,8,2122-2130
320	Kenji Kabashima	皮膚科	TNF-alpha as a useful predictor of human herpesvirus-6 reactivation and indicator of the disease process in drug-induced hypersensitivity syndrome (DIHS)/drug reaction with eosinophilia and systemic symptoms (DRESS)	Journal of Dermatological Science,74,2,177-179
321	Kenji Kabashima	皮膚科	IL-23 from Langerhans Cells Is Required for the Development of Imiquimod-Induced Psoriasis-Like Dermatitis by Induction of IL-17A-Producing gammadelta T Cells	Journal of Investigative Dermatology
322	Atsushi Otsuka	皮膚科	Metastatic melanoma cell lines do not secrete IL-1beta but promote IL-1beta production from macrophages.	Journal of dermatological science,74,2,167-169
323	Kenji Kabashima	皮膚科	Basophils regulate the recruitment of eosinophils in a murine model of irritant contact dermatitis	Journal of Allergy and Clinical Immunology
324	Atsushi Otsuka	皮膚科	The enzyme Cyp26b1 mediates inhibition of mast cell activation by fibroblasts to maintain skin-barrier homeostasis.	Immunity,40,4,530-541

325	Atsushi Otsuka	皮膚科	Natural killer T cells are essential for the development of contact hypersensitivity in BALB/c mice.	The Journal of investigative dermatology,134,11,2709-2718
326	Chisa Nakashima	皮膚科	Combination therapy with a newly developed excimer lamp and topical steroids successfully treated intractable prurigo nodularis.	Dermatol. Online J.,15,20,6
327	Atsushi Otsuka	皮膚科	Perivascular leukocyte clusters are essential for efficient activation of effector T cells in the skin.	Nature immunology,15,11,1064-1069
328	Atsushi Otsuka	皮膚科	Hedgehog pathway inhibitors promote adaptive immune responses in basal cell carcinoma.	Clinical cancer research : an official journal of the American Association for Cancer Research,21,6,1289-1297
329	Atsushi Otsuka	皮膚科	Calcinosis cutis long after rhinoplasty with silicone.	Case reports in dermatology,6,3,288-290
330	Atsushi Otsuka	皮膚科	A plaque-type solitary reticulohistiocytoma in a two-year-old boy.	Case reports in dermatology,7,1,7-9
331	Atsushi Otsuka	皮膚科	The inflammasome and IL-1beta: implications for the treatment of inflammatory diseases.	Immunotherapy,7,3,243-254
332	Yuichiro Endo	皮膚科	Basal cell carcinomas of the axillae: a metastasis or an independent development?	Case Rep Dermatol Med,2015
333	Kenji Kabashima	皮膚科	[Frontiers in Live Bone Imaging Researches. In vivo imaging of cutaneous immune responses].	Clinical calcium,25,6,837-844
334	Hiromitsu Negoro	泌尿器科	Chronobiology of micturition: putative role of the circadian clock.	J Urol. 2013 Feb 18 [E-pub ahead of print]
335	Takahiro Inoue	泌尿器科	Pathological outcomes of Japanese men eligible for active surveillance after radical prostatectomy.	International journal of clinical oncology,19,2,379-383
336	Osamu Ogawa	泌尿器科	Risk factors for loss to follow-up during active surveillance of patients with stage I seminoma	Japanese Journal of Clinical Oncology,44,4,355-359
337	Takahiro Inoue	泌尿器科	The expression profile of phosphatidylinositol in high spatial resolution imaging mass spectrometry as a potential biomarker for prostate cancer.	PloS one,9,2,e90242

338	Osamu Ogawa	泌尿器科	Antiemetic efficacy and safety of a combination of palonosetron, aprepitant, and dexamethasone in patients with testicular germ cell tumor receiving 5-day cisplatin-based combination chemotherapy	Supportive Care in Cancer
339	Osamu Ogawa	泌尿器科	Age at diagnosis on prostate cancer survival undergoing androgen deprivation therapy as primary treatment in daily practice: results from Japanese observational cohort	Journal of Cancer Research and Clinical Oncology
340	Takahiro Inoue	泌尿器科	[Perioperative agranulocytosis induced by immunosuppressants in a renal graft recipient : a case report].	Hinyokika kiyo. Acta urologica Japonica,60,6,275-278
341	Takahiro Inoue	泌尿器科	[A case of successful living related renal transplantation in a patient with end-stage renal disease resulting from sarcoidosis].	Hinyokika kiyo. Acta urologica Japonica,60,7,319-322
342	Takahiro Inoue	泌尿器科	Up-regulation of miR-582-5p regulates cellular proliferation of prostate cancer cells under androgen-deprived conditions.	The Prostate,74,16,1604-1612
343	Takahiro Inoue	泌尿器科	[Urinary diversion in patients treated with pelvic irradiation: transverse colon conduit revisited].	Hinyokika kiyo. Acta urologica Japonica,60,8,365-370
344	Takahiro Inoue	泌尿器科	The C-terminal fragment of prostate-specific antigen, a 2331 Da peptide, as a new urinary pathognomonic biomarker candidate for diagnosing prostate cancer.	PloS one,9,9,e107234
345	Toshinari Yamasaki	泌尿器科	[A case of late perirenal fat recurrence after partial nephrectomy for T1A renal cell carcinoma].	Hinyokika kiyo. Acta urologica Japonica,60,10,481-483
346	Takahiro Inoue	泌尿器科	[Development of a preoperative criterion to select candidates for nerve-sparing radical prostatectomy at Kyoto University Hospital].	Hinyokika kiyo. Acta urologica Japonica,60,11,543-547
347	Takahiro Inoue	泌尿器科	[Novel treatment for prostate cancer targeting prostaglandins].	Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine,72,12,2141-2146
348	Takahiro Inoue	泌尿器科	[Presurgical treatment of axitinib reduced operation risk by downsizing the vena cava tumor thrombus in advanced renal cell carcinomas: two case reports].	Hinyokika kiyo. Acta urologica Japonica,60,12,621-626
349	Hiromitsu Negoro	泌尿器科	[Pelvic lymph node dissection in robot-assisted laparoscopic radical prostatectomy : safety and adequacy in introductory series].	Hinyokika kiyo. Acta urologica Japonica,61,3,89-93
350	Takahiro Inoue	泌尿器科	Role of IL13RA2 in Sunitinib Resistance in Clear Cell Renal Cell Carcinoma.	PloS one,10,6,e0130980

351	Takahiro Inoue	泌尿器科	[Small cell carcinoma of the bladder].	Hinyokika kiyo. Acta urologica Japonica,60,5,221-225
352	Shinichiro Kitajiri	耳鼻咽喉科	Genes related to hearing disorders	Acta Otolaryngologica,Suppl. 551 p10-P13/,
353	Takayuki Nakagawa	耳鼻咽喉科	Insulin-like growth factor 1 induces the transcription of Gap43 and Ntn1 during hair cell protection in the neonatal murine cochlea	Neuroscience Letters,560,7-11
354	Tatsunori Sakamoto	耳鼻咽喉科	Peripheral facial palsy caused by neoplastic meningitis.	The Laryngoscope,124,9,2139-2143
355	Takayuki Nakagawa	耳鼻咽喉科	Therapeutic potential of a gamma-secretase inhibitor for hearing restoration in a guinea pig model with noise-induced hearing loss	BMC Neuroscience,15
356	Takayuki Nakagawa	耳鼻咽喉科	Hydrogen protects auditory hair cells from cisplatin-induced free radicals	Neuroscience Letters,579,125-129
357	Takayuki Nakagawa	耳鼻咽喉科	Growth factor-eluting cochlear implant electrode: Impact on residual auditory function, insertional trauma, and fibrosis	Journal of Translational Medicine,12
358	Norio Yamamoto	耳鼻咽喉科	Expression of the Olig gene family in the developing mouse inner ear.	Gene expression patterns : GEP,17,79-86
359	Shuichi Matsuda	整形外科	Anatomical study for SLAP lesion repair	Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy,22,2,435-441
360	Hiromu Ito	整形外科	Inhibition of miR-92a enhances fracture healing via promoting angiogenesis in a model of stabilized fracture in young mice	Journal of Bone and Mineral Research,29,2,316-326
361	Hiromu Ito	整形外科	3D in vivo femoro-tibial kinematics of tri-condylar total knee arthroplasty during kneeling activities	Knee,21,1,162-167
362	Shuichi Matsuda	整形外科	Bone bonding ability of a chemically and thermally treated low elastic modulus Ti alloy: Gum metal	Journal of Materials Science: Materials in Medicine,25,3,635-643
363	Shunsuke Fujibayashi	整形外科	Spontaneous reduction in ossification of the posterior longitudinal ligament of the thoracic spine after posterior spinal fusion without decompression: A case report	Spine,39,6,E417-E419

364	Shuichi Matsuda	整形外科	Internal Rotation of Femoral Component Affects Functional Activities After TKA—Survey With The 2011 Knee Society Score	Journal of Arthroplasty
365	Shuichi Matsuda	整形外科	Extension gap needs more than 1-mm laxity after implantation to avoid post-operative flexion contracture in total knee arthroplasty	Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy,1-7
366	Kazutaka So	整形外科	Characteristic loosening of the distally straight cylindrical femoral stem.	Journal of orthopaedic science : official journal of the Japanese Orthopaedic Association,19,3,437-442
367	Shuichi Matsuda	整形外科	Low-Intensity Pulsed Ultrasound Therapy Stimulates Callus Formation between Host Femur and Cortical Onlay Strut Allograft	Ultrasound in Medicine and Biology
368	Hiromu Ito	整形外科	Microrna-451 down-regulates neutrophil chemotaxis via p38 mapk	Arthritis and Rheumatology,66,3,549-559
369	Shuichi Matsuda	整形外科	Ultrasound can detect macroscopically undetectable changes in osteoarthritis reflecting the superficial histological and biochemical degeneration: Ex vivo study of rabbit and human cartilage	PLoS ONE,9,2
370	Kazutaka So	整形外科	Compensatory turning strategies while walking in patients with hip osteoarthritis.	Gait & posture,39,4,1133-1137
371	Hiromu Ito	整形外科	Clinical Considerations of Regenerative Medicine in Osteoporosis	Current Osteoporosis Reports,1-5
372	Hiromu Ito	整形外科	In vivo femoro-tibial kinematic analysis of a tri-condylar total knee prosthesis	Clinical Biomechanics
373	Shuichi Matsuda	整形外科	Development of a novel calcium phosphate cement composed mainly of calcium sodium phosphate with high osteoconductivity	Journal of Materials Science: Materials in Medicine
374	Kazutaka So	整形外科	Functional performance of female patients more than 6 months after total hip arthroplasty shows greater improvement with weight-bearing exercise than with non-weight-bearing exercise. Randomized controlled trial.	European journal of physical and rehabilitation medicine,50,6,665-675
375	Bungo Otsuki	整形外科	Diffuse idiopathic skeletal hyperostosis (DISH) is a risk factor for further surgery in short-segment lumbar interbody fusion.	European spine journal : official publication of the European Spine Society, the European Spinal Deformity Society, and the European Section of the Cervical Spine Research Society
376	Kazutaka So	整形外科	Two-staged reconstruction for ankylosed hip with severe limb shortening: a case report.	Hip international : the journal of clinical and experimental research on hip pathology and therapy,24,6,660-663

377	Bungo Otsuki	整形外科	Effect of indirect neural decompression through oblique lateral interbody fusion for degenerative lumbar disease.	Spine,40,3,E175-82
378	Souichi Ohta	整形外科	Reconstruction of active elbow flexion in patients with radial ray deficiency: report of two cases.	Journal of shoulder and elbow surgery / American Shoulder and Elbow Surgeons ... [et al.],23,12,e313-7
379	Bungo Otsuki	整形外科	Osteoinductive potential of highly purified porous beta-TCP in mice.	Journal of materials science. Materials in medicine,26,3,132
380	Kazutaka So	整形外科	A Report on Three Consecutive Cases using Computer Tomography 3D Preoperative Planning for Conversion of Arthrodesed Hips to Total Hip Replacements.	HSS journal : the musculoskeletal journal of Hospital for Special Surgery,11,1,76-83
381	Souichi Ohta	整形外科	Bridging a 30 mm defect in the canine ulnar nerve using vessel-containing conduits with implantation of bone marrow stromal cells.	Microsurgery
382	Bungo Otsuki	整形外科	Additive-manufactured patient-specific titanium templates for thoracic pedicle screw placement: novel design with reduced contact area.	European spine journal : official publication of the European Spine Society, the European Spinal Deformity Society, and the European Section of the Cervical Spine Research Society
383	Hiromu Ito	整形外科	The O-C2 angle established at occipito-cervical fusion dictates the patient's destiny in terms of postoperative dyspnea and/or dysphagia	European Spine Journal,23,2,328-336
384	Toshiya Murai	精神科神経科	Erratum: Corticolimbic balance shift of regional glucose metabolism in depressed patients treated with ECT (Journal of Affective Disorders (2012) 136 (1039-1046))	Journal of Affective Disorders,152-154,1,543-
385	Jun Miyata	精神科神経科	A tract-based spatial statistics study in anorexia nervosa: abnormality in the fornix and the cerebellum.	Progress in neuro-psychopharmacology & biological psychiatry,51,72-77
386	Jun Miyata	精神科神経科	Neural basis of three dimensions of agitated behaviors in patients with Alzheimer disease.	Neuropsychiatric disease and treatment,10,339-348
387	Shun'ichi Noma	精神科神経科	Outcome of Eating Disorders in a Japanese Sample: A 4- to 9-year Follow-up Study	European Eating Disorders Review
388	Hidehiko Takahashi	精神科神経科	Modafinil augments brain activation associated with reward anticipation in the nucleus accumbens	Psychopharmacology,1-12
389	Jun Miyata	精神科神経科	Altered brain response to others' pain in major depressive disorder.	Journal of affective disorders,165,170-175

390	Takashi Suzuki	精神科神経科	In vivo magnetic resonance imaging at 11.7 Tesla visualized the effects of neonatal transection of infraorbital nerve upon primary and secondary trigeminal pathways in rats	Brain Research
391	Jun Miyata	精神科神経科	The contribution of cortical thickness and surface area to gray matter asymmetries in the healthy human brain.	Human brain mapping,35,12,6011-6022
392	Jun Miyata	精神科神経科	Fiber tract associated with autistic traits in healthy adults.	Journal of psychiatric research,59,117-124
393	Jun Miyata	精神科神経科	Brain structural abnormalities in behavior therapy-resistant obsessive-compulsive disorder revealed by voxel-based morphometry.	Neuropsychiatric disease and treatment,10,1987-1996
394	Naoya Ooishi	精神科神経科	The Uncinate Fasciculus as a Predictor of Conversion from aMCI to Alzheimer Disease	J Neuroimaging
395	Jun Miyata	精神科神経科	Anterior cingulate volume predicts response to cognitive behavioral therapy in major depressive disorder.	Journal of affective disorders,174,397-399
396	Naoya Ooishi	精神科神経科	Freezing of gait and white matter changes: a tract-based spatial statistics study	J Clin Mov Disord
397	Naoya Ooishi	精神科神経科	Hypothalamic-Amygdalar-Brainstem Volume Reduction in a Patient with Narcolepsy Secondary to Diffuse Axonal Injury	J Clin Sleep Med
398	Jun Miyata	精神科神経科	Are ambiguity aversion and ambiguity intolerance identical? A neuroeconomics investigation.	Frontiers in psychology,5,1550
399	Toshiya Murai	精神科神経科	Rapidly progressive cognitive disturbances due to nonconvulsive status epilepticus associated with a cerebral microbleed: Clinical application of FDG-PET	Epilepsy and Seizure,7,1,23-29
400	Takashi Suzuki	精神科神経科	Simultaneous Measurement of local Brain Temperature and Cerebral Blood Flow Change in Rat for Quantitative Function Brain Imaging	Proceedings of IEEE International Conference on Complex Medical Engineering,214-219
401	Katsu Takahashi	歯科口腔外科	The effect of nicotine on osteoinduction by recombinant human bone morphogenetic protein 2	International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery
402	Katsu Takahashi	歯科口腔外科	Application of anti-BMP antibodies to immunohistochemical examination of fibrous dysplasia	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology

403	Takashi Mizowaki	放射線治療科	Optimized Surgical Approach to Third Ventricular Choroid Plexus Papillomas of Young Children Based on Anatomical Variations	World Neurosurgery
404	Takashi Mizowaki	放射線治療科	Long-term outcomes of dynamic conformal arc irradiation combined with neoadjuvant hormonal therapy in Japanese patients with T1c-T2N0M0 prostate cancer: Case series study	Japanese Journal of Clinical Oncology,44,2,180-185
405	Takashi Mizowaki	放射線治療科	Radiotherapy for patients with isolated local recurrence of primary resected pancreatic cancer – Prolonged disease-free interval associated with favorable prognosis	Strahlentherapie und Onkologie,1-6
406	Takashi Mizowaki	放射線治療科	Angiosarcoma arising in schwannoma of cerebellopontine angle and later associating with meningioma in a patient with neurofibromatosis type 2	Brain Tumor Pathology,1-6
407	Takashi Mizowaki	放射線治療科	Intrafractional tracking accuracy in infrared marker-based hybrid dynamic tumour-tracking irradiation with a gimballed linac	Radiotherapy and Oncology
408	Yukinori Matsuo	放射線治療科	The impact of abdominal compression on outcome in patients treated with stereotactic body radiotherapy for primary lung cancer.	,55,5,934-939
409	Yukinori Matsuo	放射線治療科	Dosimetric comparison of Acuros XB, AAA, and XVMC in stereotactic body radiotherapy for lung cancer	Medical Physics,41,8,081715
410	Yukinori Matsuo	放射線治療科	Evaluation of dynamic tumour tracking radiotherapy with real-time monitoring for lung tumours using a gimbal mounted linac	Radiotherapy and Oncology,112,3,360-364
411	Yukinori Matsuo	放射線治療科	Prediction of clinical outcome after stereotactic body radiotherapy for non-small cell lung cancer using diffusion-weighted MRI and 18F-FDG PET	European Journal of Radiology,83,11,2087-2092
412	Yukinori Matsuo	放射線治療科	Comparison of long-term survival outcomes between stereotactic body radiotherapy and sublobar resection for stage I non-small-cell lung cancer in patients at high risk for lobectomy: A propensity score matching analysis	European Journal of Cancer,50,17,2932-2938
413	Yukinori Matsuo	放射線治療科	Recurrence patterns after postoperative radiotherapy for squamous cell carcinoma of the pharynx and larynx	Acta Oto-laryngologica,135,1,1-102
414	Yoko Goto	放射線治療科	UCHL1 provides diagnostic and antimetastatic strategies due to its deubiquitinating effect on HIF-1alpha.	Nature Communications
415	Yukinori Matsuo	放射線治療科	Baseline correction of a correlation model for improving the prediction accuracy of infrared marker-based dynamic tumor tracking.	Journal of applied clinical medical physics / American College of Medical Physics,16,2,4896

416	Akira Yamamoto	放射線診断科	Age-related change in renal corticomedullary differentiation: evaluation with noncontrast-enhanced steady-state free precession (SSFP) MRI with spatially selective inversion pulse using variable inversion time.	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI,40,1,79-83
417	Kaori Togashi	放射線診断科	Association between polyclonal and mixed mycobacterial mycobacterium avium complex infection and environmental exposure	Annals of the American Thoracic Society,11,1,45-53
418	Akira Yamamoto	放射線診断科	Factors associated with aggravation of esophageal varices after B-RTO for gastric varices.	Cardiovascular and interventional radiology,37,5,1243-1250
419	Akira Yamamoto	放射線診断科	Risk factors for rebleeding and prognostic factors for postoperative survival in patients with balloon-occluded retrograde transvenous obliteration of acute gastric variceal rupture.	Cardiovascular and interventional radiology,37,5,1235-1242
420	Kaori Togashi	放射線診断科	Detection of time-varying structures by Large Deformation Diffeomorphic Metric Mapping to aid reading of high-resolution CT images of the lung	PLoS ONE,9,1
421	Akira Yamamoto	放射線診断科	Estimation of proliferative potentiality of central neurocytoma: correlational analysis of minimum ADC and maximum SUV with MIB-1 labeling index.	Acta radiologica (Stockholm, Sweden : 1987),56,1,114-120
422	Akira Yamamoto	放射線診断科	Role of per-rectal portal scintigraphy in long-term follow-up of congenital portosystemic shunt.	Pediatric research,75,5,658-662
423	Akira Yamamoto	放射線診断科	Development of PEGylated serum albumin with multiple reduced thiols as a long-circulating scavenger of reactive oxygen species for the treatment of fulminant hepatic failure in mice.	Free radical biology & medicine,69,318-323
424	Kaori Togashi	放射線診断科	Quantitative imaging values of CT, MR, and FDG-PET to differentiate pineal parenchymal tumors and germinomas: Are they useful?	Neuroradiology,56,4,297-303
425	Kaori Togashi	放射線診断科	3 T MRI uterine peristalsis: Comparison of symptomatic fibroid patients versus controls	Clinical Radiology,69,5,468-472
426	Kaori Togashi	放射線診断科	Non-contrast-enhanced MR angiography of uterine arteries with balanced steady-state free precession and time-space labelling inversion pulse: Technical optimization and preliminary results	Clinical Radiology
427	Kaori Togashi	放射線診断科	Apparent diffusion coefficient as a potential surrogate marker for Ki-67 index in mucinous breast carcinoma	Journal of Magnetic Resonance Imaging
428	Akira Yamamoto	放射線診断科	Absorption enhancing effects of chitosan oligomers on the intestinal absorption of low molecular weight heparin in rats.	International journal of pharmaceutics,466,1-2,156-162

429	Akira Yamamoto	放射線診断科	Pharmacokinetics and preventive effects of platinum nanoparticles as reactive oxygen species scavengers on hepatic ischemia/reperfusion injury in mice.	Metallomics : integrated biometal science,6,5,1050-1056
430	Kaori Togashi	放射線診断科	Prognostic value of pretreatment ¹⁸ F-FDG PET/CT parameters including visual evaluation in patients with head and neck squamous cell carcinoma	American Journal of Roentgenology,202,4,851-858
431	Akira Yamamoto	放射線診断科	Neointimal hyperplasia after stent placement across size-discrepant vessels in an animal study.	Japanese journal of radiology,32,6,340-346
432	Akira Yamamoto	放射線診断科	Age-related change of the secretory flow of pancreatic juice in the main pancreatic duct: evaluation with cine-dynamic MRCP using spatially selective inversion recovery pulse.	AJR. American journal of roentgenology,202,5,1022-1026
433	Akira Yamamoto	放射線診断科	Diffusion tensor imaging analysis of optic radiation using readout-segmented echo-planar imaging.	Surgical and radiologic anatomy : SRA,36,10,973-980
434	Akira Yamamoto	放射線診断科	Visualization of lenticulostriate arteries at 3T: Optimization of slice-selective off-resonance sinc pulse-prepared TOF-MRA and its comparison with flow-sensitive black-blood MRA.	Academic radiology,21,6,812-816
435	Akira Yamamoto	放射線診断科	Prognosis of small hepatocellular nodules detected only at the hepatobiliary phase of Gd-EOB-DTPA-enhanced MR imaging as hypointensity in cirrhosis or chronic hepatitis.	European radiology,24,10,2476-2481
436	Akira Yamamoto	放射線診断科	3D dynamic pituitary MR imaging with CAIPIRINHA: initial experience and comparison with 2D dynamic MR imaging.	European journal of radiology,83,10,1900-1906
437	Akira Yamamoto	放射線診断科	Traumatic hypovolemic shock revisited: the spectrum of contrast-enhanced abdominal computed tomography findings and clinical implications for its management.	Japanese journal of radiology,32,10,579-584
438	Akira Yamamoto	放射線診断科	Incidence of abnormal retropharyngeal lymph nodes in sinonasal malignancies among adults.	Neuroradiology,56,12,1097-1102
439	Akira Yamamoto	放射線診断科	Synthesis of Tat tagged and folate modified N-succinyl-chitosan self-assembly nanoparticles as a novel gene vector.	International journal of biological macromolecules,72,751-756
440	Akira Yamamoto	放射線診断科	Effective palliative radiofrequency ablation for tumors causing pain, numbness and motor function disorders: case series.	BMC research notes,7,765
441	Akira Yamamoto	放射線診断科	Usefulness of CT volumetry for gastric varix before balloon-occluded retrograde transvenous obliteration.	Hepato-gastroenterology,61,134,1806-1811

442	Akira Yamamoto	放射線診断科	Combination radiofrequency ablation and local injection of the immunostimulant bacillus Calmette–Guérin induces antitumor immunity in the lung and at a distant VX2 tumor in a rabbit model.	Journal of vascular and interventional radiology : JVIR,26,2,271–278
443	Akira Yamamoto	放射線診断科	Absorption-improving effects of chitosan oligomers based on their mucoadhesive properties: a comparative study on the oral and pulmonary delivery of calcitonin.	Drug delivery,1–9
444	Masahiro Yakami	放射線診断科	OPTIMISED PAEDIATRIC CT DOSE AT A TERTIARY CHILDREN'S HOSPITAL IN JAPAN: A 4-Y SINGLE-CENTRE ANALYSIS	Radiation protection dosimetry,ncv004
445	Kaori Togashi	放射線診断科	Grading meningioma: a comparative study of thallium-SPECT and FDG-PET.	Medicine,94,6,e549
446	Akira Yamamoto	放射線診断科	Improvement of transdermal delivery of sumatriptan succinate using a novel self-dissolving microneedle array fabricated from sodium hyaluronate in rats.	Biological & pharmaceutical bulletin,38,3,365–373
447	Kaori Togashi	放射線診断科	Z-Spectrum analysis provides proton environment data (ZAPPED): a new two-pool technique for human gray and white matter.	PloS one,10,3,e0119915
448	Akira Yamamoto	放射線診断科	Evaluation of antibiotic treatments for urinary tract infections in the elderly, especially regarding the effect on extended spectrum beta-lactamase producing (ESBL-) Escherichia coli: A comparison between meropenem and alternatives.	Nihon Ronen Igakkai zasshi. Japanese journal of geriatrics,52,2,153–161
449	Masahiro Yakami	放射線診断科	Temporal Subtraction Images Derived by Large Deformation Diffeomorphic Metric Mapping Facilitate Identification of Bone Metastases in Follow-up CT	Proceeding of The 100th Annual Meeting of Radiological Society of North America (RSNA2014)
450	Masahiro Yakami	放射線診断科	Temporal subtraction of CT images for detecting bone metastasis based on LDDMM algorithm: preliminary study	International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery,9,Supplement 1,S264
451	Masahiro Yakami	放射線診断科	What are Essential Imaging Findings and Clinical Information for the Diagnosis of Lung Nodules? An Analysis Based on a Large Database of Thin-slice CT Image	Proceeding of The 100th Annual Meeting of Radiological Society of North America (RSNA2014)
452	Toshiyuki Mizota	麻酔科	Preoperative hypercapnia as a predictor of hypotension during anesthetic induction in lung transplant recipients.	Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia
453	Toshiyuki Mizota	麻酔科	The clinical course of anesthetic induction in lung transplant recipients with pulmonary complications after hematopoietic stem cell transplantation.	Journal of Anesthesia
454	Toshiyuki Mizota	麻酔科	Complete resection of a giant mediastinal leiomyosarcoma.	The Annals of Thoracic Surgery,99,3,e69–e71

455	Susumu Miyamoto	脳神経外科	Usefulness of Tumor Blood Flow Imaging by Intraoperative Indocyanine Green Videoangiography in Hemangioblastoma Surgery	World Neurosurgery
456	Susumu Miyamoto	脳神経外科	Surgical Dissection of the Internal Carotid Artery Under Flow Control by Proximal Vessel Clamping Reduces Embolic Infarcts During Carotid Endarterectomy	World Neurosurgery
457	Susumu Miyamoto	脳神経外科	Discrepancy Between Voluntary Movement and Motor-Evoked Potentials in Evaluation of Motor Function During Clipping of Anterior Circulation Aneurysms	World Neurosurgery
458	Susumu Miyamoto	脳神経外科	Differential gene expression in relation to the clinical characteristics of human brain arteriovenous malformations	Neurologia Medico-Chirurgica,54,3,163-175
459	Susumu Miyamoto	脳神経外科	Incidence of late cerebrovascular events after direct bypass among children with moyamoya disease: A descriptive longitudinal study at a single center	Acta Neurochirurgica,156,3,551-559
460	Susumu Miyamoto	脳神経外科	The modulation of rolandic oscillation induced by digital nerve stimulation and self-paced movement of the finger: A MEG study	Journal of the Neurological Sciences,337,1-2,201-211
461	Susumu Miyamoto	脳神経外科	Intraoperative dorsal language network mapping by using single-pulse electrical stimulation	Human Brain Mapping
462	Yohei Mineharu	脳神経外科	Triple balloon protection technique using the mo.ma ultra with the carotid GuardWire for carotid stenting: technical note.	J Stroke Cerebrovasc Dis,23,7,1871-1876
463	Yohei Mineharu	脳神経外科	Intracranial germinomas in a father and his son.	Childs Nerv Syst,30,12,2143-2146
464	Takeshi Funaki	脳神経外科	Cognitive Function of Patients with Adult Moyamoya Disease	Journal of stroke and cerebrovascular diseases,23,7,1789-1794
465	Takayuki Kikuchi	脳神経外科	["True" mixed pial-dural arteriovenous malformation: a case report].	No shinkei geka. Neurological surgery,42,8,745-750
466	Yohei Mineharu	脳神経外科	Mechanisms of glioma formation: iterative perivascular glioma growth and invasion leads to tumor progression, VEGF-independent vascularization, and resistance to antiangiogenic therapy.	Neoplasia,16,7,543-561
467	Yoshiki Arakawa	脳神経外科	Prognostic prediction of glioblastoma by quantitative assessment of the methylation status of the entire MGMT promoter region.	BMC cancer,14,641

468	Takeshi Funaki	脳神経外科	Microsurgical Anatomy of the Lateral Condylar Vein and Its Clinical Significance	Neurosurgery,Supple 2,145-146
469	Yohei Mineharu	脳神経外科	Blockade of mTOR signaling via rapamycin combined with immunotherapy augments antiglioma cytotoxic and memory T-cell functions.	Mol Cancer Ther,13,12,3024-3036
470	Takeshi Funaki	脳神経外科	Posterior cerebral artery involvement and pediatric moyamoya disease RESPONSE	Journal of Neurosurgery Pediatrics,14,4,435-436
471	Takeshi Funaki	脳神経外科	Unstable moyamoya disease: clinical features and impact on perioperative ischemic complications	Journal of Neurosurgery,122,2,1-8
472	Takayuki Kikuchi	脳神経外科	Direct Exploration of the Role of the Ventral Anterior Temporal Lobe in Semantic Memory: Cortical Stimulation and Local Field Potential Evidence From Subdural Grid Electrodes.	Cerebral cortex (New York, N.Y. : 1991)
473	Yohei Mineharu	脳神経外科	Familial schwannomatosis with a germline mutation of SMARCB1 in Japan.	Brain Tumor Pathol
474	Takayuki Kikuchi	脳神経外科	The association between expansive arterial remodeling detected by high-resolution MRI in carotid artery stenosis and clinical presentation.	Journal of neurosurgery,1-7
475	Yoshiki Arakawa	脳神経外科	Long-term efficacy of bevacizumab and irinotecan in recurrent pediatric glioblastoma.	Pediatrics international : official journal of the Japan Pediatric Society,57,1,169-171
476	Takeshi Funaki	脳神経外科	Visualization of Periventricular Collaterals in Moyamoya Disease with Flow-sensitive Black-blood Magnetic Resonance Angiography: Preliminary Experience	Neurologia medico-chirurgica,55,3,204-209
477	Takayuki Kikuchi	脳神経外科	Risk factors for infective complications with long term subdural electrode implantation in patients with medically intractable partial epilepsy.	World neurosurgery
478	Susumu Miyamoto	脳神経外科	Japanese Registry of Neuroendovascular therapy: Extracranial steno-occlusive diseases except for internal carotid artery stenosis	Neurologia Medico-Chirurgica,54,1,40-45
479	Susumu Miyamoto	脳神経外科	Parent artery occlusion for unruptured cerebral aneurysms: The Japanese registry of neuroendovascular therapy (JR-NET) 1 and 2	Neurologia Medico-Chirurgica,54,2,91-97
480	Susumu Miyamoto	脳神経外科	Pregnancy-associated intracranial hemorrhage: Results of a survey of neurosurgical institutes across Japan	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases,23,2,e65-e71

481	Shigehiko Suzuki	形成外科	Evaluation of a novel collagen-gelatin scaffold for achieving the sustained release of basic fibroblast growth factor in a diabetic mouse model	Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine,8,1,29-40
482	Shigehiko Suzuki	形成外科	Immediate evaluation of neovascularization in a grafted bilayered artificial dermis using laser doppler imaging	Annals of Plastic Surgery,72,1,84-88
483	Shigehiko Suzuki	形成外科	Treatment for infection of artificial dura mater using free fascia lata.	J Craniofacial Surgery,25,1252-1255
484	Shigehiko Suzuki	形成外科	Biocompatibility and efficacy of collagen/gelatin sponge scaffold with sustained release of basic fibroblast growth factor on vocal fold fibroblasts in 3-dimensional culture.	Ann Otol Rhinol Laryngol
485	Shigehiko Suzuki	形成外科	Conchal cartilage graft for correction of bilateral cleft lip nasal deformities during childhood.	Plast Reconstr Surg GO
486	Susumu Saitou	形成外科	A Technique of Dorsal Transversely-oriented Transposition Flap for Web Reconstruction in Toe Syndactyly Surgeries	Journal of Foot and Ankle Surgery
487	Susumu Saitou	形成外科	Simultaneous Regional Fasciectomy, Skin Grafting, and Distraction Arthrolysis of the Proximal Interphalangeal Joint for Dupuytren's Contracture of the Little Finger	Hand Surgery
488	Katsuya Kawai	形成外科	Guidelines for the surgical treatment of cleft palate; Pushback methods	Japanese Journal of Plastic Surgery,57,1,13-17
489	Shigehiko Suzuki	形成外科	Ultrasound elastography is useful to evaluate the effectiveness of conservative treatment of keloids	Plast Reconstr Surg GO,2,e106-110
490	Taro Nakatsu	心臓血管外科	Bilateral internal thoracic artery grafting for peripheral arterial disease patients.	General thoracic and cardiovascular surgery,62,8,481-487
491	Tadashi Ikeda	心臓血管外科	Continuous carbon dioxide partial pressure monitoring in lung transplant recipients.	Annals of transplantation : quarterly of the Polish Transplantation Society,19,382-388
492	Tadashi Ikeda	心臓血管外科	Human iPS cell-engineered cardiac tissue sheets with cardiomyocytes and vascular cells for cardiac regeneration.	Scientific reports,4,6716
493	Hideki Motoyama	呼吸器外科	Quantitative Evaluation of Native Lung Hyperinflation After Single Lung Transplantation for Emphysema Using Three-Dimensional Computed Tomography Volumetry.	Transplantation proceedings,46,3,941-943

494	Hideki Motoyama	呼吸器外科	Plasmin administration during ex vivo lung perfusion ameliorates lung ischemia-reperfusion injury.	J Heart Lung Transplant ,33,10,1093-1099
495	Hideki Motoyama	呼吸器外科	Novel thermographic detection of regional malperfusion caused by a thrombosis during ex vivo lung perfusion.	,20,2,242
496	Susumu Satou	リハビリテーション科	Scale dependence of structure-function relationship in the emphysematous mouse lung.	Frontiers in physiology,6,146
497	Shinsuke Shibuya	病理診断科	Cytopathologic characteristics and differential diagnostic considerations of osteolytic myxopapillary ependymoma.	Diagnostic cytopathology,42,9,778-783
498	Shinsuke Shibuya	病理診断科	Pilomyxoid astrocytoma of the pineal region: cytopathological features and differential diagnostic considerations by intraoperative smear preparation.	Diagnostic cytopathology,43,2,121-124
499	Yosuke Yamada	病理診断科	Concise review: dedifferentiation meets cancer development: proof of concept for epigenetic cancer	Stem Cells Transl Med,3,10,1182-1187
500	Satoru Tsuneto	緩和医療科	What bereavement follow-up does family members request in Japanese palliative care units? A qualitative study.	The American journal of hospice & palliative care,31,5,485-494
501	Satoru Tsuneto	緩和医療科	Care strategy for death rattle in terminally ill cancer patients and their family members: recommendations from a cross-sectional nationwide survey of bereaved family members' perceptions.	Journal of pain and symptom management,48,1,2-12
502	Satoru Tsuneto	緩和医療科	Progressive development and enhancement of palliative care services in Japan: nationwide surveys of designated cancer care hospitals for three consecutive years.	Journal of pain and symptom management,48,3,364-373
503	Satoru Tsuneto	緩和医療科	Care evaluation scale-patient version: measuring the quality of the structure and process of palliative care from the patient's perspective.	Journal of pain and symptom management,48,1,110-118
504	Satoru Tsuneto	緩和医療科	Why people accept opioids: role of general attitudes toward drugs, experience as a bereaved family, information from medical professionals, and personal beliefs regarding a good death.	Journal of pain and symptom management,49,1,45-54
505	Satoru Tsuneto	緩和医療科	Palliative care development in the Asia-Pacific region: an international survey from the Asia Pacific Hospice Palliative Care Network (APHN).	BMJ supportive & palliative care
506	Satoru Tsuneto	緩和医療科	Length of home hospice care, family-perceived timing of referrals, perceived quality of care, and quality of death and dying in terminally ill cancer patients who died at home.	Supportive care in cancer : official journal of the Multinational Association of Supportive Care in Cancer,23,2,491-499

507	Satoru Tsuneto	緩和医療科	Efficacy of corticosteroids for cancer-related fatigue: A pilot randomized placebo-controlled trial of advanced cancer patients.	Palliative & supportive care,1-8
508	Satoru Tsuneto	緩和医療科	A Nationwide Survey of Quality of End-of-Life Cancer Care in Designated Cancer Centers, Inpatient Palliative Care Units, and Home Hospices in Japan: The J-HOPE Study.	Journal of pain and symptom management
509	Satoru Tsuneto	緩和医療科	Palliative Care Physicians' Attitudes Toward Patient Autonomy and a Good Death in East Asian Countries.	Journal of pain and symptom management
510	Riki Matsumoto	てんかん・運動異常生理学講座	Dysembryoplastic neuroepithelial tumor with rapid recurrence of pilocytic astrocytoma component	Brain Tumor Pathology,31,2,144-148
511	Akio Ikeda	てんかん・運動異常生理学講座	Automatic reference selection for quantitative EEG interpretation: Identification of diffuse/localised activity and the active earlobe reference, iterative detection of the distribution of EEG rhythms	Medical Engineering and Physics,36,1,88-95
512	Akio Ikeda	てんかん・運動異常生理学講座	Automatic interpretation and writing report of the adult waking electroencephalogram	Clinical Neurophysiology,125,6,1081-1094
513	Akio Ikeda	てんかん・運動異常生理学講座	A novel SCN1A mutation in a cytoplasmic loop in intractable juvenile myoclonic epilepsy without febrile seizures	Epileptic Disorders,16,2,227-231
514	Akio Ikeda	てんかん・運動異常生理学講座	[Treatment of epilepsy in patients of adolescence and adulthood].	Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine,72,5,853-858
515	Akio Ikeda	てんかん・運動異常生理学講座	Proposal: Different types of alteration and loss of consciousness in epilepsy	Epilepsia,55,8,1140-1144
516	Akio Ikeda	てんかん・運動異常生理学講座	Long-term follow-up of cortical hyperexcitability in Japanese Unverricht-Lundborg disease	Seizure,23,9,746-750
517	Akio Ikeda	てんかん・運動異常生理学講座	Intracranially recorded ictal direct current shifts may precede high frequency oscillations in human epilepsy	Clinical Neurophysiology,126,1,47-59
518	Akio Ikeda	てんかん・運動異常生理学講座	Persistent frequent subclinical seizures and memory impairment after clinical remission in smoldering limbic encephalitis	Epileptic Disorders,16,3,312-317
519	Akio Ikeda	てんかん・運動異常生理学講座	Two cases of acute onset of focal cortical reflex myoclonus following acute aseptic meningoencephalitis with positive anti-glutamate receptor autoantibody	Clinical Neurology,54,7,543-549

520	Akio Ikeda	てんかん・運動異常生理学講座	Alpha-band desynchronization in human parietal area during reach planning	Clinical Neurophysiology,126,4,756-762
521	Akio Ikeda	てんかん・運動異常生理学講座	Network hyperexcitability in a patient with partial reading epilepsy: Converging evidence from magnetoencephalography, diffusion tractography, and functional magnetic resonance imaging	Clinical Neurophysiology,126,4,675-681
522	Riki Matsumoto	てんかん・運動異常生理学講座	Effect of CYP2C19 polymorphisms on the clinical outcome of low-dose clobazam therapy in Japanese patients with epilepsy	European Journal of Clinical Pharmacology,71,1,51-58
523	Riki Matsumoto	てんかん・運動異常生理学講座	Neural correlates of mirth and laughter: A direct electrical cortical stimulation study	Cortex
524	Akio Ikeda	てんかん・運動異常生理学講座	Possible induction of multiple seizure foci due to parietal tumour and anti-NMDAR antibody	Epileptic Disorders,17,1,89-94
525	Riki Matsumoto	てんかん・運動異常生理学講座	New approach for exploring cerebral functional connectivity: Review of cortico-cortical evoked potential	Neurologia Medico-Chirurgica,55,5,374-382
526	Riki Matsumoto	てんかん・運動異常生理学講座	A possible variant of negative motor seizure arising from the supplementary negative motor area	Clinical Neurology and Neurosurgery,134,126-129
527	Riki Matsumoto	てんかん・運動異常生理学講座	Reply to Commentary on "Neural correlates of mirth and laughter: A direct electrical cortical stimulation study"	Cortex
528	Motomu Hashimoto	リウマチセンター	T cell self-reactivity forms cytokine milieu for spontaneous development of IL-17+ helper T cells causing autoimmune arthritis.	J Exp Med. In press.
529	Moritoshi Furu	リウマチセンター	Self-assessment tool of disease activity of rheumatoid arthritis by using a smartphone application	Telemedicine and e-Health,20,3,235-240
530	Motomu Hashimoto	リウマチセンター	Increase of hemoglobin levels by anti-IL-6 receptor antibody (tocilizumab) in rheumatoid arthritis.	PloS one,9,5,e98202
531	Motomu Hashimoto	リウマチセンター	Detection of T cell responses to a ubiquitous cellular protein in autoimmune disease.	Science (New York, N.Y.),346,6207,363-368
532	Motomu Hashimoto	リウマチセンター	A main contribution of DRB1*04:05 among shared epitope and involvement of 57th DRB1 amino acid in association with joint destruction in ACPA(+) RA.	Arthritis & rheumatology (Hoboken, N.J.)

533	Motomu Hashimoto	リウマチセンター	Periodontitis and Porphyromonas gingivalis in preclinical stage of arthritis patients.	PloS one,10,4,e0122121
534	Kazuya Okamoto	医療情報企画部	Development of a methodology for the detection of hospital financial outliers using information systems	International Journal of Health Planning and Management,29,3,e207-32
535	Hiroshi Tamura	医療情報企画部	Assessment of vision-related quality of life among patients with cataracts and the outcomes of cataract surgery using a newly developed visual function questionnaire: the VFQ-J11.	Japanese journal of ophthalmology,58,5,415-422
536	Hiroshi Tamura	医療情報企画部	Evaluating the effect of Japan's 2004 postgraduate training programme on the spatial distribution of physicians.	Human resources for health,13,5
537	Tomohiro Kuroda	医療情報企画部	Development of a system for the assessment of a dual-task performance based on a motion-capture device	International Journal on Disability and Human Development,13,333-336
538	Kazuya Okamoto	医療情報企画部	Soft Tissue Ablation Model for Surgical Simulation by Applying a Combination of Multiple Hypotheses	Advanced Biomedical Engineering,2,38-46
539	Hiroshi Tamura	医療情報企画部	The Contribution of Genetic Architecture to the 10-Year Incidence of Age-Related Macular Degeneration in the Fellow Eye	Investigative ophthalmology & visual science,in print
540	Shunji Takakura	検査部	National surveillance of species distribution in blood isolates of Candida species in Japan and their susceptibility to six antifungal agents including voriconazole and micafungin	Journal of Antimicrobial Chemotherapy,53
541	Shunji Takakura	検査部	Isothermal RNA sequence amplification method for rapid antituberculosis drug susceptibility testing of Mycobacterium tuberculosis	Journal of Clinical Microbiology,43
542	Shunji Takakura	検査部	Redo living-donor lobar lung transplantation for bronchiolitis obliterans associated with antibody-mediated rejection	Transplant International,27,2,e8-e12
543	Shunji Takakura	検査部	Detection of extended-spectrum-beta-lactamase-producing escherichia coli ST131 and ST405 clonal groups by matrix-assisted laser desorption ionization-time of flight mass spectrometry	Journal of Clinical Microbiology,52,4,1034-1040
544	Shunji Takakura	検査部	Pneumocystis polymerase chain reaction and blood (1→3)-beta-d-glucan assays to predict survival with suspected Pneumocystis jirovecii pneumonia	Journal of Infection and Chemotherapy
545	Shunji Takakura	検査部	Clinical practice guidelines for therapeutic drug monitoring of arbekacin: A consensus review of the Japanese Society of Chemotherapy and the Japanese Society of Therapeutic Drug Monitoring	Journal of Infection and Chemotherapy

546	Shunji Takakura	検査部	Seasonal trend and clinical presentation of <i>Bacillus cereus</i> bloodstream infection: association with summer and indwelling catheter	European Journal of Clinical Microbiology and Infectious Diseases,1–9
547	Shunji Takakura	検査部	Itraconazole prophylaxis for invasive <i>Aspergillus</i> infection in lung transplantation	Transplant Infectious Disease,16,2,340–343
548	Miki Nagao	検査部	Differentiation of vanA–positive <i>Enterococcus faecium</i> from vanA–negative <i>E. faecium</i> by matrix–assisted laser desorption/ionisation time–of–flight mass spectrometry.	International journal of antimicrobial agents,44,3,256–259
549	Miki Nagao	検査部	Predictors of <i>Candida</i> spp. as causative agents of catheter–related bloodstream infections.	Diagnostic microbiology and infectious disease,80,3,200–203
550	Miki Nagao	検査部	High prevalence of carbapenem resistance among plasmid–mediated AmpC beta–lactamase–producing <i>Klebsiella pneumoniae</i> during outbreaks in liver transplantation units.	International journal of antimicrobial agents,45,1,33–40
551	Takefumi Hitomi	検査部	Impact of Obstructive Sleep Apnea on Liver Fat Accumulation According to Sex and Visceral Obesity.	PloS one,10,6,e0129513
552	Hiroshi Fukagawa	手術部	κ –Opioid receptor mediates the antinociceptive effect of nitrous oxide in mice.	British journal of anaesthesia,113,6,1032–1038
553	Masahiro Takada	手術部	Outcomes of trastuzumab therapy in HER2–positive early breast cancer patients.	International journal of clinical oncology
554	Noriyo Yamashiki	臓器移植医療部	Living donor liver transplantation for non–alcoholic steatohepatitis: A single center experience.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology,44,10,E3–E10
555	Noriyo Yamashiki	臓器移植医療部	Chronologic changes of explanted liver volume and the use of ursodeoxycholic acid in patients with end–stage primary biliary cirrhosis.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology,44,9,993–999
556	Yoshihide Ueda	臓器移植医療部	Significance of pretransplant abstinence on harmful alcohol relapse after liver transplantation for alcoholic cirrhosis in Japan.	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology,44,14,E428–36
557	Toshimi Kaidou	臓器移植医療部	Impact of cytochrome P450 3A5 polymorphism in graft livers on the frequency of acute cellular rejection in living–donor liver transplantation.	Uesugi M, Kikuchi M, Shinke H, Omura T, Yonezawa A, Matsubara K, Fujimoto Y, Okamoto S, Kaido T, Uemoto S, and Masuda S.,24,7,356–366
558	Toshimi Kaidou	臓器移植医療部	Perioperative changes of procalcitonin levels in patients undergoing liver transplantation.	Transpl Infect Dis,16,5,790–796

559	Toshimi Kaidou	臓器移植医療部	Fluctuations in the concentration/dose ratio of calcineurin inhibitors after simeprevir administration in patients with recurrent hepatitis C after liver transplantation	Transpl Int,28,2,251-252
560	Takayuki Anazawa	臓器移植医療部	Surgical risk model for acute diffuse peritonitis based on a Japanese nationwide database: an initial report on the surgical and 30-day mortality.	Surgery today
561	Takayuki Anazawa	臓器移植医療部	Cancer registries in Japan: National Clinical Database and site-specific cancer registries.	International journal of clinical oncology,20,1,5-10
562	Takayuki Anazawa	臓器移植医療部	Erratum to: Surgical risk model for acute diffuse peritonitis based on a Japanese nationwide database: an initial report on the surgical and 30-day mortality.	Surgery today
563	Toshimi Kaidou	臓器移植医療部	Coupled Upregulation of IL-12 Receptor Beta-1 in CD8+ Central Memory and Effector T Cells for Better Clinical Outcomes in Liver Transplant Recipients.	Clin Exp Immunol
564	Toshimi Kaidou	臓器移植医療部	Safe and effective treatment with daclatasvir and asunaprevir in a liver transplant recipient with severe cholestatic hepatitis C	Hep Res
565	Toshimi Kaidou	臓器移植医療部	Liver transplantation for advanced hepatocellular carcinoma in patients with Child-Pugh A and B.	Surg Today
566	Takayuki Anazawa	臓器移植医療部	[A case of two re-resections for peritoneal recurrence of pancreatic cancer].	Gan to kagaku ryoho. Cancer & chemotherapy,41,12,2166-2168
567	Toshimi Kaidou	臓器移植医療部	Portal vein reconstruction in adult living donor liver transplantation for patients with portal vein thrombosis in single center experience.	J HBP Sci
568	Toshimi Kaidou	臓器移植医療部	Preoperative intramuscular adipose tissue content (IMAC) is a novel prognostic predictor after hepatectomy for hepatocellular carcinoma.	J HBP Sci,22,6,475-485
569	Toshimi Kaidou	臓器移植医療部	Impact of preoperative quality as well as quantity of skeletal muscle on survival after resection of pancreatic cancer.	Surgery
570	Yoshihide Ueda	臓器移植医療部	Slow Progression of Poorly Differentiated Gastric Carcinoma Associated with Epstein-Barr Virus Infection: 12-year Follow-up.	Internal medicine (Tokyo, Japan),54,12,1505-1508
571	Toshimi Kaidou	臓器移植医療部	Characteristics of nutritional status and the effect of pretransplant branched-chain amino acid administration in patients undergoing living donor liver transplantation.	Hepatogastroenterology,in press

572	Toshimi Kaidou	臓器移植医療部	Little effect of measurement bias on serum prealbumin levels in living donor liver transplantation, invited response letter re LT-15-195, Agilli et al. Liver Transpl 2015 Apr 24. doi: 10.1002/lt.24152. [Epub ahead	Liver Transpl
573	Masayuki Kobayashi	地域ネットワーク医療部	Limited value of the international staging system for predicting long-term outcome of transplant-ineligible, newly diagnosed, symptomatic multiple myeloma in the era of novel agents	International Journal of Hematology,99,4,1-9
574	Masayuki Kobayashi	地域ネットワーク医療部	Small molecules that inhibit Vif-induced degradation of APOBEC3G.	Virology journal,11,122
575	Masayuki Kobayashi	地域ネットワーク医療部	Impact of early use of lenalidomide and low-dose dexamethasone on clinical outcomes in patients with relapsed/refractory multiple myeloma.	International journal of hematology,101,1,37-45
576	Masayuki Kobayashi	地域ネットワーク医療部	[Clinical value of 18F-FDG-PET and 11C-MET-PET in patients with plasma cell malignancy].	Nihon rinsho. Japanese journal of clinical medicine,73,1,74-79
577	Masako Kataoka	放射線部	Comparison of diffusion weighted MRI and Dynamic contrast enhanced MRI in evaluating the depth of myometrial invasion and overall staging in endometrial cancer	Radiology (in press)
578	Masako Kataoka	放射線部	Detection of axillary lymph node metastasis with diffusion-weighted MR imaging.	Clinical imaging,38,5,633-636
579	Masako Kataoka	放射線部	Magnetic resonance appearance of gastric-type adenocarcinoma of the uterine cervix in comparison with that of usual-type endocervical adenocarcinoma: a pitfall of newly described unusual subtype of endocervical adenocarcinoma.	International journal of gynecological cancer : official journal of the International Gynecological Cancer Society,24,8,1474-1479
580	Masako Kataoka	放射線部	Magnetic resonance imaging manifestations of decidualized endometriotic cysts: comparative study with ovarian cancers associated with endometriotic cysts.	Journal of computer assisted tomography,38,6,879-884
581	Kohei Sano	放射線部	Quantitative analysis of tissue distribution of the B16BL6-derived exosomes using a streptavidin-lactadherin fusion protein and iodine-125-labeled biotin derivative after intravenous injection in mice.	J Pharm Sci,104,2,705-713
582	Masako Kataoka	放射線部	Automated detection and measurement of uterine peristalsis in cine MR images.	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI
583	Kohei Sano	放射線部	Additional information gained by positron emission tomography with 68Ga-DOTATOC for suspected unknown primary or recurrent neuroendocrine tumors.	Ann Nucl Med
584	Satoshi Imai	薬剤部	Possible involvement of beta-endorphin in a loss of the coordinated balance of μ -opioid receptors trafficking processes by fentanyl	Synapse,65,9,962-966

585	Syunsaku Nakagawa	薬剤部	Extracellular nucleotides from dying cells act as molecular signals to promote wound repair in renal tubular injury	Am J Physiol Renal Physiol,307,12,1404-1411
586	Kazuo Matsubara	薬剤部	Monitoring mycophenolate mofetil is necessary for the effective prophylaxis of acute GVHD after cord blood transplantation	Bone Marrow Transplantation,50,2,312-314
587	Kazuo Matsubara	薬剤部	Sensitive and validated LC-MS/MS methods to evaluate mycophenolic acid pharmacokinetics and pharmacodynamics in hematopoietic stem cell transplant patients	Biomedical Chromatography
588	Kazuo Matsubara	薬剤部	Rapid genotyping of 25 autosomal STRs in a Japanese population using fluorescent universal primers containing locked nucleic acids	Journal of Forensic and Legal Medicine,31,36-41
589	Takayuki Nakagawa	薬剤部	Inhibition of histone deacetylases enhances the function of serotonergic neurons in organotypic raphe slice cultures	Neuroscience Letters,593,72-77
590	Takayuki Nakagawa	薬剤部	Involvement of TRPM2 in a wide range of inflammatory and neuropathic pain mouse models	Journal of Pharmacological Sciences,127,237-243
591	Kazuo Matsubara	薬剤部	Association of decreased mRNA expression of multidrug and toxin extrusion protein 1 in peripheral blood cells with the development of flutamide-induced liver injury	Cancer Chemotherapy and Pharmacology,75,6,1191-1197
592	Takayuki Nakagawa	薬剤部	Olanzapine augments the effect of selective serotonin reuptake inhibitors by suppressing GABAergic inhibition via antagonism of 5-HT ₆ receptors in the dorsal raphe nucleus	Neuropharmacology
593	Takayuki Nakagawa	薬剤部	Role of the 5-HT ₄ receptor in chronic fluoxetine treatment-induced neurogenic activity and granule cell dematuration in the dentate gyrus	Molecular Brain
594	Takayuki Nakagawa	薬剤部	Activation of mitochondrial transient receptor potential vanilloid1 channel contributes to microglial migration	Glia
595	Yasuo Miura	輸血細胞治療部	Basics and clinical application of human mesenchymal stromal/stem cells	The Japanese Journal of Clinical Hematology, in press
596	Hideyo Hirai	輸血細胞治療部	Parathyroid hormone enhances hematopoietic expansion via upregulation of cadherin-11 in bone marrow mesenchymal stromal cells.	Stem Cells,32,8,2245-2255
597	Hideyo Hirai	輸血細胞治療部	CCR1-mediated Accumulation of Myeloid Cells in the Liver Microenvironment Promoting Mouse Colon Cancer Metastasis.	Clinical and Experimental Metastasis,31,8,977-989

598	Hideyo Hirai	輸血細胞治療部	CCAAT/enhancer binding protein beta is dispensable for normal and tumor development in lung	Plos ONE,10,3
599	Yasuo Miura	輸血細胞治療部	An association between the 74th amino acid position of HLA-DRB1 and ACPA levels of Japanese ACPA-positive RA.	Arthritis & Rheumatology, in press
600	Hideyo Hirai	輸血細胞治療部	Non-steady-state hematopoiesis regulated by the C/EBPbeta transcription factor.	Cancer Science
601	Hideyo Hirai	輸血細胞治療部	Isopentenyl Pyrophosphate Secreted from Zoledronate-Stimulated Myeloma Cells, Activates the Chemotaxis of T Cells	Biochemical and Biophysical Research Communications
602	Yasuo Miura	輸血細胞治療部	Isolation of mesenchymal stromal/stem cells from small-volume umbilical cord blood units that do not qualify for the banking system	International Journal of Hematology, doi 10.1007/s12185-015-1828-7
603	Hideyo Hirai	輸血細胞治療部	Accelerated apoptosis of peripheral blood monocytes in Cebpb-deficient mice	Biochemical and Biophysical Research Communications
604	Yasuo Miura	輸血細胞治療部	Human mesenchymal stromal/stem cell-mediated bone marrow organization	Japanese Journal of Transfusion and Cell Therapy, in press
605	Yasuo Miura	輸血細胞治療部	The role of growth differentiation factor 15 in the pathogenesis of primary myelofibrosis.	Cancer Medicine, in press
606	Kenjiro Hirai	臨床研究総合センター	Enhanced intestinal anastomotic healing with gelatin hydrogel incorporating basic fibroblast growth factor.	Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine 京都大学
607	Yosuke Yamamoto	臨床研究総合センター	CD8+tumor-infiltrating lymphocytes at primary sites as a possible prognostic factor of cutaneous angiosarcoma	International Journal of Cancer,134,2393-2402
608	Harue Tada	臨床研究総合センター	An exploratory clinical trial for idiopathic osteonecrosis of femoral head by cultured autologous multipotent mesenchymal stromal cells augmented with vascularized bone grafts	Tissue Engineering – Part B: Reviews,20,233-242
609	Tatsuya Ito	臨床研究総合センター	Clinical effects of ghrelin on gastrointestinal involvement in patients with systemic sclerosis	Endocrine Journal,61,7,735-742
610	Yosuke Yamamoto	臨床研究総合センター	Prescription of potentially inappropriate medications to elderly hemodialysis patients: Prevalence and predictors	Nephrology Dialysis Transplantation,30,498-505

611	Toshifumi Sugitani	臨床研究総合センター	Renin-angiotensin-aldosterone system polymorphisms and five-year mortality in survivors of acute myocardial infarction: a report from the Osaka Acute Coronary Insufficiency Study	International Heart Journal,55,190-196
612	Toshifumi Sugitani	臨床研究総合センター	Comparison of 5-year survival after acute myocardial infarction using angiotensin converting enzyme inhibitor versus angiotensin II receptor blocker	American Journal of Cardiology,114,1-8
613	Akira Shimizu	臨床研究総合センター	Prospective signs of cleidocranial dysplasia in Cebpb deficiency.	Journal of biomedical science,21,44
614	Toshifumi Sugitani	臨床研究総合センター	Difference in left ventricular mass index between hypertensive patients with and without renal artery stenosis by propensity score analysis	The Journal of Clinical Hypertension,16,606-611
615	Hanako Ikeda	臨床研究総合センター	Novel VCP modulators mitigate major pathologies of rd10, a mouse model of retinitis pigmentosa.	Scientific reports,4,5970
616	Masayuki Hata	臨床研究総合センター	Influence of anterior segment biometric parameters on the anterior chamber angle width in eyes with angle closure.	Journal of glaucoma,24,2,144-148
617	Hanako Ikeda	臨床研究総合センター	Asymmetry analysis of macular inner retinal layers for glaucoma diagnosis.	American journal of ophthalmology,158,6,1318-1329.e3
618	Toshifumi Sugitani	臨床研究総合センター	A simple and flexible graphical approach for adaptive group-sequential clinical trials	Journal of Biopharmaceutical Statistics,(published online)
619	Harue Tada	臨床研究総合センター	A randomized controlled clinical trial of topical insulin-like growth factor-1 therapy for sudden deafness refractory to systemic corticosteroid treatment	BMC Medicine,12
620	Masayuki Hata	臨床研究総合センター	A case of neuromyelitis optica masquerading as miller fisher syndrome.	Case reports in neurology,6,3,226-231
621	Yosuke Yamamoto	臨床研究総合センター	Clinical epidemiology of eosinophilic pustular folliculitis: results from a nationwide survey in Japan.	Dermatology (Basel, Switzerland),230,1,87-92
622	Yosuke Yamamoto	臨床研究総合センター	Comparison of the efficacy of olopatadine and fexofenadine in chronic idiopathic urticaria patients: A crossover study	Pharmacology,95,32-35
623	Yosuke Yamamoto	臨床研究総合センター	Association between hand-grip strength and depressive symptoms: Locomotive Syndrome and Health Outcomes in Aizu Cohort Study (LOHAS).	Age and ageing

624	Toshifumi Sugitani	臨床研究総合センター	An extension of Holm procedure based on partitioning principle for adaptive treatment selection designs including serial gatekeeping hypotheses	Japanese Journal of Biometrics,34,67-80
-----	--------------------	------------	---	---

小計 1
計 624

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Tsutomu Tomita	糖尿病・内分泌・栄養内科	肥満・肥満症の調節,発症に関わる因子 脂肪酸受容体	日本臨床,72,150-154
2	Tsutomu Tomita	糖尿病・内分泌・栄養内科	肥満がもたらす病態生理の発症メカニズム 肥満毒性(adipotoxicity)の概念	日本臨床,72,299-301
3	Hiroshi Nakase	内視鏡部	急性GVHD モデルマウスにおけるFK506 含有マイクロスフェアを用いた予防実験	京都大学医学研究科
4	Shigeo Muro	呼吸器内科	【COPDの最新情報】(Topics 5)併存症・合併症のインパクトとその対策	日本呼吸器学会誌,3,3,344-351
5	Shigeo Muro	呼吸器内科	【COPDを改めて問う】COPDにおける併存症 気流閉塞、肺気腫いずれに関与しているのか	THE LUNG-perspectives,22,2,171-174
6	Shigeo Muro	呼吸器内科	【COPD治療の新時代 21世紀の「社会的」生活習慣病】COPDの早期診断,治療の枠組み,急性増悪の対応 新薬乱立の前に知っておくべきこと	内科,113,2,217-225
7	Shigeo Muro	呼吸器内科	【COPD病態理解の変遷と治療の新展開】COPD治療の新展開 LAMAの作用メカニズムと臨床効果	Progress in Medicine,35,2,235-240
8	Shigeo Muro	呼吸器内科	【高齢者の呼吸器疾患-若年・高齢者発症との違い-】COPD 若年発症COPDと高齢者COPDについて	日本胸部臨床,73,8,876-885
9	Shigeo Muro	呼吸器内科	【疾患と運動時低酸素血症】COPDと運動時低酸素血症	呼吸と循環,62,6,545-551
10	Shigeo Muro	呼吸器内科	【新薬展望2014】(第III部)治療における最近の新薬の位置付け<薬効別> 新薬の広場 気管支喘息治療薬・COPD治療薬	医薬ジャーナル,50,増刊,476-479
11	Shigeo Muro	呼吸器内科	【全身成人病としてのCOPD】COPDの呼吸機能	成人病と生活習慣病,44,9,10130-1018
12	Shigeo Muro	呼吸器内科	【喘息・COPD患者への吸入指導】COPDの診断と治療 ガイドラインをふまえて	薬事,56,3,327-332
13	Shigeo Muro	呼吸器内科	呼吸器疾患診療を支える臨床検査 COPD診療における呼吸機能とCT画像の役割	臨床病理,62,12,1212-1217
14	Shigeo Muro	呼吸器内科	慢性閉塞性肺疾患患者における運動前の随意的な換気量の増加が運動中の呼吸困難および運動耐容能に及ぼす影響	理学療法学,41,2,102-103
15	Hisako Matsumoto	呼吸器内科	呼吸器疾患とペリオスチン	呼吸,33,9,875-881
16	Hisako Matsumoto	呼吸器内科	喘息予防・管理の最新の話 難治性喘息に対する治療・管理	日本胸部臨床,73,7,779-790
17	Suguru Hasegawa	消化管外科	主病巣から9cm離れた肛門管への壁内転移で再発した直腸癌の1例 臨床外科学会雑誌	臨床外科学会雑誌
18	Shingo Io	産科婦人科	レミフェンタニルを使用した和痛分娩と硬膜外和痛分娩の比較検討	産婦人科の実践,63,9,1279-1287
19	Shingo Io	産科婦人科	レミフェンタニルを使用した和痛分娩の検討	現代産婦人科,63,1,37-42
20	Miho Egawa	産科婦人科	月経困難症の診断:問診、婦人科的診察、画像診断	Pharma Medica,32,6,17-21

小計 20

21	Shingo Io	産科婦人科	子宮頸癌局所再発に対しLaterally extended endopelvic resectionを施行した1例	日本婦人科腫瘍学会雑誌,32,3,648-652
22	Shingo Io	産科婦人科	双胎経膈分娩の成功因子についての検討	日本周産期・新生児医学会雑誌,50,1,233-237
23	Shingo Io	産科婦人科	当院におけるMTX抵抗性侵入奇胎の4例の検討	現代産婦人科,62,2,159-163
24	Shingo Io	産科婦人科	羊水中IL-6値による組織学的CAM及び臨床的予後についての検討	現代産婦人科,62,2,239-243
25	Takahiro Yasumi	小児科	見逃しやすい免疫不全 血球貪食性リンパ組織球症と免疫不全症	小児内科,46,10,1513-1517
26	Takahiro Yasumi	小児科	自己炎症性疾患の新展開	臨床リウマチ,26,2,79-87
27	Yuichiro Endo	皮膚科	血管肉腫に対する分子標的薬剤治療の展望:自験例の検討から	Skin Cancer,30
28	Yuichiro Endo	皮膚科	褥瘡治療の予後因子の縦断的検討 -急性期病院における褥瘡回診データの活用例	臨床皮膚科,69,1,12
29	Takayuki Nakagawa	耳鼻咽喉科	randomized studyによる突発性難聴に対するIGF1,デキサメサゾン鼓室内投与療法の比較	Audiol Jpn,57,5,487-488
30	Takayuki Nakagawa	耳鼻咽喉科	よくわかる鼻副鼻腔手術 手術に当たって 海綿静脈洞の処理	JOHNS,31,2,202-204
31	Takayuki Nakagawa	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科医が見落としてはいけない中枢疾患 1.中枢疾患が引き起こす耳鼻科領域の症状 3.鼻腔機能異常と中枢疾患	ENTONI,166,14-20
32	Takayuki Nakagawa	耳鼻咽喉科	鼻副鼻腔内視鏡手術Update 慢性副鼻腔炎手術プランニングの実際	耳鼻咽喉科・頭頸部外科,86,7,494-501
33	Hisaya Kawagishi	精神科神経科	海外派遣学生に対して医師介入した神経症高リスク群の事例研究	Campus Health,51,2,217-221
34	Junya Sonobe	歯科口腔外科	経口ビスフォスフォネート製剤に関連した病的骨折を伴う顎骨壊死に対して高圧酸素療法と外科的療法が有効であった1例	日口誌25: 121-127, 2012
35	Masahiro Yakami	放射線診断科	CAD:臨床の現場への適用に向けて	日本医用画像工学会大会予稿集(CD-ROM),33,ROMBUNNO.SS4
36	Toshiyuki Mizota	麻酔科	血管肉腫により重度の拘束性換気障害ならびに心不全を来した症例に対する心膜切除術・胸膜剥離術の麻酔経験	麻酔,64,2,180-184
37	Toshiyuki Mizota	麻酔科	耳鼻咽喉科手術の術後痛に関する検討—術中フェンタニル使用の有無との関連—	麻酔,63,11,1249-1253
38	Toshiyuki Mizota	麻酔科	腹腔鏡補助下手術における術後鎮痛法の検討	麻酔
39	Takeshi Funaki	脳神経外科	真のmixed pial-dural arteriovenous malformationの1例	脳神経外科,42,8,745-750
40	Susumu Saitou	形成外科	手指腱損傷の治療—必須事項と私の工夫—屈筋腱損傷に対する腱縫合と後療法—Zone II以外—	形成外科,57,7,745-752
41	Kazuya Okamoto	医療情報企画部	B型肝炎ウイルス再活性化のリスク低減への取り組み:ガイドラインに基づく検査の実施率向上の工夫	第9回医療の質・安全学会学術集会
42	Kazuya Okamoto	医療情報企画部	Push通知型医療情報システムの状況検知部の開発	第18回日本医療情報学会春季学術大会抄録集,119-120
43	Kazuya Okamoto	医療情報企画部	インフォームド・コンセント記載を対象とした診療録監査システムの検討	第18回日本医療情報学会春季学術大会抄録集,83-84
44	Kazuya Okamoto	医療情報企画部	インフォームド・コンセント記載を対象とした診療録監査評価基準の作成	第34回医療情報学連合大会(第15回日本医療情報学会学術大会)論文集,医療情報学34(Suppl.),2015,584-586
45	Kazuya Okamoto	医療情報企画部	ユーザー・エクスペリエンスを踏まえた電子カルテ画面デザイン評価基準の検討	第34回医療情報学連合大会(第15回日本医療情報学会学術大会)論文集,医療情報学34(Suppl.),2017,362-365
46	Kazuya Okamoto	医療情報企画部	遠隔聴診の進行への聴診器操作教示システムの影響	VR医学,12,1,15-26
47	Kazuya Okamoto	医療情報企画部	機械学習による医療行為決定支援システム実現のための状態定義の要件について	第34回医療情報学連合大会(第15回日本医療情報学会学術大会)論文集,医療情報学34(Suppl.),2018,326-327

48	Kazuya Okamoto	医療情報企画部	情報連携を可能にしたテンプレート機能の導入と評価	第34回医療情報学連合大会(第15回日本医療情報学会学術大会)論文集, 医療情報学 34(Suppl.),2014,142-143
49	Yuki Uranishi	医療情報企画部	食道の蠕動運動による食塊の輸送シミュレーション	VR医学,12,1,9-14
50	Kazuya Okamoto	医療情報企画部	電子カルテシステムにおけるインフォームド・コンセント記載自動監査システムの構築	第34回医療情報学連合大会(第15回日本医療情報学会学術大会)論文集, 医療情報学 34(Suppl.),2016,592-593
51	Genta Kato	診療報酬センター	レセプト情報・特定健診等情報データベースの利活用について	統計,65,10,8-13
52	Chisako Naito	総合臨床教育・研修センター	大卒新人看護師のリアリティ・ショック: スムーズな移行を促す新たな教育方法の示唆	日本看護研究学会雑誌 Journal of Japan Society of Nursing Research,37,5,71-79
53	Chisako Naito	総合臨床教育・研修センター	大卒新人看護師のリアリティ・ショックスムーズな移行を促す新たな教育方法の示唆ー	日本看護研究学会雑誌(CD-ROM),37,2,71-79
54	Hironobu Fujiwara	総合臨床教育・研修センター	統合失調症の社会的認知障害:脳画像研究の観点から.	発達科学ハンドブック,第24章
55	Mayumi Inoue	総合臨床教育・研修センター	肥満における脂肪細胞周囲の細胞外基質リモデリングと脂肪組織の線維化について	日本臨床 最新肥満症学ー基礎臨床研究の最前線ー
56	Chisako Naito	総合臨床教育・研修センター	模擬遠隔聴診における相互行為パターンのマルチモーダル・マルチチャネル連鎖分析	人工知能学会言語・音声理解と対話処理研究会資料,73rd,29-34
57	Chisako Naito	総合臨床教育・研修センター	模擬遠隔聴診における相互行為パターンのマルチモーダル・マルチチャネル連鎖分析(「コミュニケーションとデータ科学」および一般)	言語・音声理解と対話処理研究会,73,29-34
58	Shinsuke Shibuya	病理部	CPC解説(第65回) 造影剤によるアナフィラキシーショックの一部例	病理と臨床,32,12,1375-1379
59	Shinsuke Shibuya	病理部	子宮頸部すりガラス細胞癌の一例	香川臨床細胞雑誌,26,1,12-15
60	Shinsuke Shibuya	病理部	肺原発印環細胞癌の1症例	香川臨床細胞雑誌,26,1,16-19
61	Takayuki Nakagawa	薬剤部	グリア細胞の機能とその異常	脳神経外科診療プラクティス,6
62	Takayuki Nakagawa	薬剤部	タベンタドールの使い方ー基礎の側面から	月刊薬事(じほう),57,553-557
63	Satoshi Imai	薬剤部	神経障害性疼痛に関する基礎研究14) 鎮痛薬としてのケタミンの有用性: 基礎の立場から	ペインクリニック,30,S7123-S7129
64	Takayuki Nakagawa	薬剤部	鎮痛補助薬の作用機序を再考する	臨床麻酔,39,19-26
65	Takayuki Nakagawa	薬剤部	縫線脳切片培養系の特徴と向精神薬によるセロトニン神経機能変化の作用解析	日本神経精神薬理学雑誌,35,39-44
66	Hideyo Hirai	輸血細胞治療部	大腸癌におけるSMAD4欠損によりケモカインCCL15が分泌され、CCR1陽性骨髄細胞が集積し、肝転移を促進する	INTESTINE,18,6
67	Toshiko Ihara	臨床研究総合センター	エビデンスに基づく急速進行性腎炎症候群(RPGN)診療ガイドライン2014	日本腎臓学会誌 ,57,1,139-232
68	Hiroyuki Fujimoto	臨床研究総合センター	がん組織ターゲティングに向けた水溶性高分子ナノ微粒子の設計	京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻・先端医工学研究ユニット
69	Tatsuya Ito	臨床研究総合センター	橋渡し研究支援組織における希少難病医薬品メトレブチンの臨床開発	臨床評価,42,1,107-17
70	Harue Tada	臨床研究総合センター	橋渡し研究支援組織における希少難病医薬品メトレブチンの臨床開発	臨床評価,42,1,107-117
71	Hiroyuki Fujimoto	臨床研究総合センター	水溶性含フッ素高分子ナノ微粒子の合成と19F-MRI 造影剤への応用	京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻 高分子物院講座(高分子機能学分野)

小計 24
計 71

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・ ☐ 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・ ☐ 無
・ 手順書の主な内容 01) 会議録の作成 02) 手順書、委員名簿、及び会議録概要等の公表 03) 人を対象とする医学系研究に関する教育研修 04) 医の倫理委員会委員への教育研修 05) 人を対象とする医学系研究の自己点検及び評価 06) 人を対象とする医学系研究の年次報告及び中止・終了報告 07) 人を対象とする医学系研究に関する研究者、研究責任者及び研究機関の長の責務 08) 人を対象とする医学系研究に関する試料等の保存及び他の機関等の試料等の利用 09) 変更・追加申請に関する審査手続きと迅速審査に関する手順 10) 多施設共同研究についての事務手続きおよび審査の方針 11) 人を対象とする医学系研究における重篤な有害事象・安全性情報の報告	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 1 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2)利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 利益相反マネジメントの原則、利益相反に係る審議体制、手続き等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 0 回

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容 (2回の開催の他、DVD録画による補講を5回開催) 1.京都大学における審査体制と方針 2.臨床試験データの品質確保・保証 3.研究倫理と臨床研究に関する倫理指針 4.「『ヒトゲノム指針』(三省指針)と既存試料・情報の利用について、『再生医療等の安全性の確保等に関する法律』の概要について」 5.疫学研究の"ethics"と"integrity" 6.自己理解度チェック	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

京大病院では、単に自立して診療ができるだけでなく、将来的にその領域でリーダーシップがとれるような実力のある専門医の養成をめざしている。
 こうした専門医になるためには、固定化した医療環境で、漫然と日常診療をこなすだけでは不十分であり、系統的なプログラムにもとづき、優れた指導医のもとで、さまざまな医療環境を経験することが必要となる。

京大病院は、レベルの高い魅力的な第一線の医療機関が関連病院としてリンクしていることで有名であり、活発に人事交流することが実力のある臨床医を育成する原動力になっている。プログラムは、こうしたアクティビティの高い病院での修練が包括されたものとなっている。その中で大学においては若い医師たちが真摯で刺激的なディスカッションを重ねながら、挑戦的で先進的な課題に取り組む環境が形成されており、京大病院の実績と力に結びついている。

2 研修の実績

研修医の人数	109.96人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
北野 俊之	血液・腫瘍内科	助教	22年	
尾野 亘	循環器内科	准教授	24年	
松浦 稔	消化器内科	助教(病棟医長)	19年	
平井 豊博	呼吸器内科	准教授	14年	
大村 浩一郎	免疫・膠原病内科	准教授	26年	
松原 雄	腎臓内科	講師	18年	
八十田 明宏	糖尿病・内分泌・栄養内科	講師	23年	
松本 理器	神経内科	特定准教授	20年	
肥田 侯矢	消化管外科	助教	18年	
鈴木 栄治	乳腺外科	助教	11年	
上本 伸二	肝胆膵・移植外科	教授	34年	
上本 伸二	小児外科	教授	34年	
大槻 文悟	整形外科	特定助教	18年	
宮本 享	脳神経外科	教授	33年	
池田 義	心臓血管外科	准教授	31年	
吉川 勝宇	形成外科	助教	16年	
伊達 洋至	呼吸器外科	教授	30年	
宇治 彰人	眼科	特定助教	13年	
近藤 英治	産科婦人科	講師	17年	
平家 俊男	小児科	教授	36年	
藤澤 章弘	皮膚科	講師	14年	
神波 大己	泌尿器科	准教授	24年	
平野 滋	耳鼻咽喉科	准教授	25年	
諏訪 太朗	精神科神経科	助教	13年	
溝田 敏幸	麻酔科	助教	13年	
吉村 通央	放射線治療科	助教	17年	

山本 憲	放射線診断科	助教	21年	
松村 康史	検査部・感染制御部	助教	12年	
羽賀 博典	病理診断科	教授	23年	
鈴木 崇生	初期診療・救急科	講師	19年	
松本 繁巳	がん薬物治療科	准教授	25年	
別所 和久	歯科口腔外科	教授	31年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

1.

・研修の主な内容： 薬剤師を対象に、がん薬物療法についての高度な知識・技術を修得するために「がん薬物療法認定薬剤師研修」として実務研修及び講義研修を実施した。

・研修の期間・実施回数： 3 か月、2 回（2014 年 9 月 8 日～11 月 21 日、2015 年 1 月 7 日～3 月 24 日）

・研修の参加人数： 2 人

2.

・研修の主な内容： 看護師を対象に、「看護部 静脈注射・輸液管理認定プログラム」として、「静脈注射に必要な薬剤の知識」についての講義を実施した。

・研修の期間・実施回数： 90 分、1 回（録画して適宜利用）

・研修の参加人数： 20 人

3.

・研修の主な内容： 看護職員を対象に、新人看護師・卒後 2 年看護師・卒後 3 年看護師研修、実習指導者研修、看護補助者研修、領域別研修などを行った。

・研修の期間・実施回数： 465 時間・334 回

・研修の参加人数： 4996 人

4.

・研修の主な内容： 検査部、救急外来、研修センターにおける従事者を対象に、多職種シミュレーション研修を実施した。

・研修の期間・実施回数： 2 時間、1 回

・研修の参加人数： 48 人

5.

・研修の主な内容： 検査部職員を対象に、新人研修を実施した。

・研修の期間・実施回数： 約 2 週間、1 回

・研修の参加人数： 7 人

6.

・研修の主な内容： 放射線部職員を対象に、①スタッフが知っておくべき患者接遇と苦情対応について研修を実施した。また、②放射線部医療安全連絡会議の活動報告を行った。

・研修の期間・実施回数： ①2014/4/17、②2015/3/19、計 2 回

・研修の参加人数： ①31 人、②21 人

7.

・研修の主な内容： 医療器材部職員を対象に、人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置・閉鎖式保育器の安全な使用方法実施した。

・研修の期間・実施回数： 30分～1時間、計51回

・研修の参加人数： 619人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

1.

・研修の主な内容： 医師・看護師・薬剤師を対象に、がん化学療法におけるチーム医療の体制整備、がん患者指導管理の実際、薬物療法に関する最新の知識・技術について「がんチーム医療研修」として講義、研修を実施した。

・研修の期間・実施回数： 2日間、5回（2014年10月～2015年2月）

・研修の参加人数： 45人（15チーム）

2.

・研修の主な内容： 看護職員を対象に、管理者研修を実施した。

・研修の期間・実施回数： 18.3時間、4回

・研修の参加人数： 163人

3.

・研修の主な内容： 検査部職員を対象に、ISO集合教育として「医療廃棄物の適切な廃棄方法について」「ISO品質管理マネジメント」「夜間当直時における震度5強の地震発生時の対応について、当院における災害時対策マニュアルの概要と今後の対応について」の研修を実施した。

・研修の期間・実施回数： LIVE1 回、DVD 研修 5 回（各研修毎）

・研修の参加人数： 130 人

4.

・研修の主な内容： 放射線部職員を対象に、①被ばく低減から画質の最適化へー線量は？ノイズは？逐次は？ー，②画像読影補助の現在、過去、未来～今、我々に求められていること，③R I 検査の現状と被ばくについて，④放射線領域における統計学，⑤ ESUR ガイドラインについて～変更点と日本のガイドラインとの違い，⑥胸部 DR 画像の最適化へのアプローチ，⑦デジタル画像の基本特性と X 線イメージングにおける被ばく低減、のそれぞれについて研修を実施した。

・研修の期間・実施回数： 7 回

・研修の参加人数： ①29 人，②34 人，③35 人，④30 人，⑤23 人，⑥37 人，⑦33 人

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的

な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
管理責任者氏名	病院長 稲垣 暢也	
管理担当者氏名	薬剤部長 松原 和夫 医務課長 中村 正次 医療サービス課長 恒吉 祐治 感染制御部長 一山 智	総務課長 國友 陵一 医療安全管理室長 松村 由美 医療情報企画部長 黒田 知宏 医療器材部長 坂井 義治

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録 各科診療日誌、手術記録、看護記録、 検査所見記録、紹介状、退院した患 者に係る入院期間中の診療経過の要約 及び入院診療計画書		診療科 及び 医務課	・カルテは電子カルテと紙カルテの2種類を管理及び保管している。 ・2005年に電子カルテを導入しており、それ以前の紙カルテについては20年の保存期間を設けて病歴管理室にて保管している。また、紙媒体で生成される各種検査資料及び同意書等については、原則、電子印章付きのスキヤナで取り込み、電子データを原本として電子カルテに保存している。 ・画像フィルムは、2013年4月に全てのモダリティのフィルムレス化を実施しており、それ以降、原則、現物保管はしていない。なお、フィルムレス化以前のフィルムについては、5年の保存期間を設けて病歴管理室にて保管している。 ・カルテを病院外に持ち出すことは個人情報保護のため認めていない。
エックス線写真		医務課	
処方せん		薬剤部	
病院日誌		総務課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医務課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医務課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課・薬剤部	
	第規一則号第に一掲条の		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	

	十 一 制 第 一 確 項 保 各 の 号 状 及 況 び 第 九 条 の 二 十 第 一 項	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	
		専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	

		保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規 則 第 一 条 の 十 一 第 一 項 各 号 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一 項 第 一 号 に 掲	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用	医療器材部

	げ る 体 制 の 確 保 の 状 況	のための責任者の配置 状況		
		従業者に対する医療 機器の安全使用のため の研修の実施状況	医療器材部	
		医療機器の保守点検 に関する計画の策定及 び保守点検の実施状況	医療器材部	
		医療機器の安全使用 のために必要となる情 報の収集その他の医療 機器の安全使用を目的 とした改善のための方 策の実施状況	医療器材部	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状	
閲 覧 責 任 者 氏 名	事務部長 山木宏明		
閲 覧 担 当 者 氏 名	総務課長 國友陵一		
閲 覧 の 求 め に 応 じ る 場 所	総務課内		
閲覧の手続の概要			
1. 閲覧申込	総務課		
2. 承認者	事務部長		
3. 閲覧方法	指定した日時総務課内		
4. 返却方法	当日総務課へ返却		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無																																								
- 指針の主な内容： 1. 病院の基本理念 2. 院内の責任体制及び管理体制の明確化 3. 安全管理のための各種委員会の設置及びリスクマネージャーの配置並びに医療安全管理室の設置 4. 報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 5. 医療事故発生時における対応について																																									
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回																																								
- 活動の主な内容： 1. 医療事故の防止及び医療の安全性確保に関すること 2. 医療安全に関する手順書等の策定、改善、普及等に関すること 3. インシデント又はヒヤリハット事例等の情報収集及び分析並びに防止のための改善策の検討・実施に関すること 4. 医療安全管理のための研修、講習、教育等の実施に関すること 5. 重要事例の対応決定に関すること 6. その他医療安全管理に関すること																																									
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 31 回																																								
研修の主な内容： <table border="1"><thead><tr><th>開催日</th><th>研修内容</th><th>講師</th><th>参加数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成26年4月17日</td><td>医薬品の適正使用に関する研修会 薬に関するワンポイント</td><td>薬務部長 松原 和夫</td><td>344名</td></tr><tr><td>平成26年4月21日</td><td>みんなで取り組む医療安全・院内感染対策</td><td>副病院長 一山 智</td><td>685名</td></tr><tr><td>平成26年4月28日</td><td>輸液ポンプの不具合でしょうか？ 意外なトラブルを知って機器を正しく使おう！</td><td>医療安全管理室 副看護部長 福村 宏美</td><td>282名</td></tr><tr><td>平成26年5月14日</td><td>リスク管理の考え方：守りの管理と攻めの管理</td><td>医療安全管理室室長 松村 由美</td><td>258名</td></tr><tr><td>平成26年5月22日</td><td>過剰輸血防止の基本は患者さままでの確認と作りの所行である</td><td>輸血細胞治療部 教授 前川 平</td><td>182名</td></tr><tr><td>平成26年6月3日</td><td>信頼性の高い医療を提供するための挑戦</td><td>マイアミ大学 Dr. Paul Barach</td><td>93名</td></tr><tr><td>平成26年6月10日</td><td>DVD上映 輸液ポンプの不具合でしょうか？ 意外なトラブルを知って機器を正しく使おう！</td><td>医療安全管理室 副看護部長 福村 宏美</td><td>42名</td></tr><tr><td>平成26年6月10日</td><td>B型肝炎ウイルス再活性化予防対策指針～京大病院の戦略～</td><td>消化器内科・薬務部 安全管理部・感染制御部</td><td>346名</td></tr><tr><td>平成26年6月11日</td><td>SBARを使ってほう・れん・そう上手になろう</td><td>南病棟2階 看護部長 辻田 麻衣子</td><td>66名</td></tr></tbody></table>		開催日	研修内容	講師	参加数	平成26年4月17日	医薬品の適正使用に関する研修会 薬に関するワンポイント	薬務部長 松原 和夫	344名	平成26年4月21日	みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	685名	平成26年4月28日	輸液ポンプの不具合でしょうか？ 意外なトラブルを知って機器を正しく使おう！	医療安全管理室 副看護部長 福村 宏美	282名	平成26年5月14日	リスク管理の考え方：守りの管理と攻めの管理	医療安全管理室室長 松村 由美	258名	平成26年5月22日	過剰輸血防止の基本は患者さままでの確認と作りの所行である	輸血細胞治療部 教授 前川 平	182名	平成26年6月3日	信頼性の高い医療を提供するための挑戦	マイアミ大学 Dr. Paul Barach	93名	平成26年6月10日	DVD上映 輸液ポンプの不具合でしょうか？ 意外なトラブルを知って機器を正しく使おう！	医療安全管理室 副看護部長 福村 宏美	42名	平成26年6月10日	B型肝炎ウイルス再活性化予防対策指針～京大病院の戦略～	消化器内科・薬務部 安全管理部・感染制御部	346名	平成26年6月11日	SBARを使ってほう・れん・そう上手になろう	南病棟2階 看護部長 辻田 麻衣子	66名
開催日	研修内容	講師	参加数																																						
平成26年4月17日	医薬品の適正使用に関する研修会 薬に関するワンポイント	薬務部長 松原 和夫	344名																																						
平成26年4月21日	みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	685名																																						
平成26年4月28日	輸液ポンプの不具合でしょうか？ 意外なトラブルを知って機器を正しく使おう！	医療安全管理室 副看護部長 福村 宏美	282名																																						
平成26年5月14日	リスク管理の考え方：守りの管理と攻めの管理	医療安全管理室室長 松村 由美	258名																																						
平成26年5月22日	過剰輸血防止の基本は患者さままでの確認と作りの所行である	輸血細胞治療部 教授 前川 平	182名																																						
平成26年6月3日	信頼性の高い医療を提供するための挑戦	マイアミ大学 Dr. Paul Barach	93名																																						
平成26年6月10日	DVD上映 輸液ポンプの不具合でしょうか？ 意外なトラブルを知って機器を正しく使おう！	医療安全管理室 副看護部長 福村 宏美	42名																																						
平成26年6月10日	B型肝炎ウイルス再活性化予防対策指針～京大病院の戦略～	消化器内科・薬務部 安全管理部・感染制御部	346名																																						
平成26年6月11日	SBARを使ってほう・れん・そう上手になろう	南病棟2階 看護部長 辻田 麻衣子	66名																																						

平成26年6月12日	不眠症の基本的な考え方と非薬物療法	大阪厚生医療センター 医療センター部長 谷口 充孝	126名
平成26年6月13日	インスリンマニュアルについて	糖尿病・内分泌・栄養内科 助教 小倉 雅二	120名
平成26年6月16日	人工呼吸器管理 ～医療安全の観点から～	ICU 看護部長 平松 八重子	31名
平成26年6月16日	みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副院長 一山 智	99名
平成26年6月19日	DVD上映 みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副院長 一山 智	69名
平成26年6月20日	医療安全の観点から	医療安全管理室 看護部長 飯田 恵	64名
平成26年6月23日	問題行動患者への対応	医療サービス課	230名
平成26年6月24日	コミュニケーションに関する院内アンケートから学ぶこと	医療安全管理室 室長 松村 由美	88名
平成26年6月26日	麻薬取り扱いを安全に行うために	薬剤部 主任 祝千佳子	81名
平成26年7月14日	医療の安全と質 ～医療メディエーションとの関係～	市立敦賀病院 医療支援部長 杉浦 良啓	123名
平成26年7月22日	私たちの身近なリスクマネジメント ～企業による教訓事例を身近に活かす～	日本血液透析機構 研究開発推進室 柚木 幹弘	101名
平成26年8月5日	電子カルテの落とし穴、インターネットの落とし穴	医療情報企画部 教授 黒田 知宏	154名
平成26年10月24日	ヒューマンファクターズに基づく安全管理	西日本旅客鉄道株式会社 安全研究所 藤野秀則	290名
平成26年11月19日	急性血液浄化療法～適応・開始時期・リスク～	腎臓内科 准教授 塚本達雄 医療機器部 安馬 雅範	103名
平成26年11月20日	転倒・転落について考えよう ～病院で転ぶということ～	安全管理室 副部長 北川 綾子	89名
平成26年12月10日	患者安全を進めるチームSTEPPS	関西医科大学 医療安全管理センター 副センター長 宮崎浩彰	74名
平成26年12月16日	過去に発生した院内の熱傷事例から学ぶこと	形成外科 教授 鈴木 茂彦 医療安全管理室 室長 松村 由美	253名
平成27年1月9日	病院内での自殺を防ぐために ～耳を澄ませば聞こえてくるかも知れない、まだ遠い自殺の足音～	脳神経生理学 講座 助教 杉田 尚子	100名

平成27年1月24日	豚肺を用いた人工呼吸器セミナー	東京工科大学 非常勤講師 野口 裕幸 東京女子医科大学東医療センター 臨床工学技士 佐藤 敏郎	37名
平成27年2月12日	知っておくと役立つ法律の知識 患者と医療者の関係： カルテ記載編	医療安全管理室 室長 松村 由美	90名
平成27年2月18日	知っておくと役立つ法律の知識 患者と医療者の関係：IC編	医療安全管理室 室長 松村 由美	60名
平成27年3月19日	急性腎障害を早めに察知しよう	腎臓内科 講師 松原 雄	70名

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (☒ 有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 1. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業
 2. 安全に関する部門連携・委員会活動
 - ・ 医療安全管理委員会の定期開催
 - ・ リスクマネージャー会議の定期開催
 - ・ 多職種間（部門横断的）インシデント検討会の定期開催
 - ・ 各種WGの臨時開催
 - ・ 院内転倒転落事故防止委員会の定期開催
 3. 職員への安全教育
 - ・ 講演会・講習会・DVD上映会・院内事例報告会
 - ・ 医療安全ニュースの配信

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 ☒ 有 (4 名) ・ 無

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 ☒ 有 (5 名) ・ 無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 ☒ 有 ・ 無

- ・ 所属職員： 専任 (4) 名 兼任 (11) 名
- ・ 活動の主な内容：
 1. 医療事故発生時の初動対応と事例調査
 2. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業
 3. 各部署からインシデント・アクシデントレポートを収集、サーベイランス、分析、対策立案
 4. 医療安全に関する部門連携、委員会活動
 5. 職員、学生等への医療安全教育
 6. 医療安全における大学間、病院間、地域間連携

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況 ☒ 有 ・ 無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無		
- 指針の主な内容： - 感染対策に関する基本方針 - 感染対策組織の概要 - 関連委員会及び会議の開催 - 感染制御部（ICT）の業務内容 教育、サーベイランス等 - 感染アウトブレイク（集団発生）時の対応 - 患者等に対する指針の閲覧に関する方針			
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 39 回		
- 活動の主な内容： - 感染症予防対策委員会 1回/月 - 感染制御部（ICT）会議 2回/月 - 感染対策業務会議 3回/年			
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 23 回		
研修の主な内容：			
開催日	研修内容	講師	参加数
平成26年4月21日	みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	685名
平成26年5月29日	腸内細菌感受性検査法の変更とESBL疑い菌について	感染制御部 助教 松村 康史	252名
平成26年6月10日	皮疹を見たら要注意 ～院内感染で問題となる様々なウイルス感染症～	感染制御部 講師 長尾 美紀	89名
平成26年6月10日	B型肝炎ウイルス再活性化予防対策指針 ～京大両院の戦略～	消化器内科・薬務部 安全管理部・ 感染制御部	346名
平成26年6月11日	怖いのはノロウイルスだけじゃない ～下痢・嘔吐への対応～	感染制御部 講師 長尾 美紀	76名
平成26年6月11日	皮疹を見たら要注意 ～院内感染で問題となる様々なウイルス感染症～	感染制御部 助教 山本 正樹	156名
平成26年6月16日	感染症診療に役立つ、血液培養・便培養の採取法	感染制御部 助教 松村 康史	39名
平成26年6月16日	みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	99名
平成26年6月17日	感染症を制御するための抗菌薬の使い方	感染制御部 副部長 高倉 俊二	143名
平成26年6月19日	DVD上映 みんなで取り組む医療安全・院内感染対策	副病院長 一山 智	69名
平成26年6月20日	医療従事者としての基本中の基本 手指衛生をマスターしよう	感染制御部 副看護部長 橋本 明子	73名

平成26年6月20日	感染管理の視点から環境を整えよう ～2013年度のラウンド結果から～	感染制御部 副看護部長 橋本 明子	148名
平成26年6月24日	薬剤耐性菌 ～何が必要？どう対応する？～	感染制御部 助教 山本 正樹	64名
平成26年6月24日	感染症診療に役立つ、血液培養・便培養の採取法	感染制御部 助教 松村 康史	119名
平成26年7月29日	カテーテル関連血流感染の原因と対策 ～感染を起こさないためのポイント～	感染制御部 助教 山本 正樹	151名
平成26年8月1日	人工呼吸器関連肺炎について	ICU 看護部長 平松 八重子	114名
平成26年9月29日	ワクチンが変わった。ワクチンが変える。	大阪労災病院 小児科部長 川村 尚久	171名
平成26年11月13日	「誤嚥性肺炎の病態と治療」 「誤嚥性肺炎の予防～摂食・嚥下障害看護の視点から～」	呼吸器内科 助教 伊藤 功朗 南7 副看護部長 浅田 摩紀	125名
平成26年11月18日	当院におけるウイルス性出血熱（エボラ感染症を含む）疑い、 例への対応方針・対策	感染制御部 副部長 高倉 俊二	302名
平成26年12月9日	エイズ感染症の基礎と臨床	地域ネットワーク医療部 助教 小林 正行	245名
平成27年1月7日	インフルエンザの感染対策	感染制御部 講師 長尾 美紀	90名
平成27年2月10日	手指衛生について各部署からの報告	感染制御部 副部長 高倉 俊二	130名
平成27年3月13日	結核に対する院内感染対策	呼吸器内科・感染制御部 助教 伊藤 功朗	53名

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 1. 感染対策サーベイランスの実施
 - ・ 薬剤耐性菌サーベイランス
 - ・ カテーテル関連血流感染サーベイランス
 - ・ 手術部位感染サーベイランス
 - ・ 感染性胃腸炎サーベイランス
 - ・ 上気道症状サーベイランス
 2. 職業感染防止と曝露後の対応
 - ・ 針刺しの原因分析と防止対策
 - ・ 抗体価の確認とワクチン接種
 - ・ 曝露後の対応（血液体液曝露、結核、麻疹、水痘等）

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	☒ 有・無																										
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 14 回																										
・ 研修の主な内容： 医薬品での事故防止に係る本院職員の意識改革と安全管理、及び薬剤師としての資質向上のため次の通り研修会等を開催した。 全職種を対象 ◆（医薬品安全使用のための研修会） 日時：平成 26 年 4 月 17 日（木）17:30～18:00 参加人数：344 名 演題：『薬に関するワンポイント』 講師：薬剤部長 松原和夫 日時：平成 26 年 6 月 26 日（木）17:30～18:00 参加人数：81 名 演題：『麻薬の取り扱いを安全に行うために』 講師：薬剤主任 祝 千佳子 薬剤師を対象 ◆（医薬品安全使用のための説明会） 新規採用医薬品の説明会を毎月開催し、新規採用医薬品の説明と位置づけ及び添付文書改訂情報、安全性情報、医薬品の取扱い等についての説明と情報の共有化を図っている。 <table><thead><tr><th>開催年月日</th><th>参加人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成 26 年 4 月 2 日（水）</td><td>29 名</td></tr><tr><td>平成 26 年 5 月 8 日（木）</td><td>44 名</td></tr><tr><td>平成 26 年 6 月 4 日（水）</td><td>43 名</td></tr><tr><td>平成 26 年 7 月 3 日（木）</td><td>38 名</td></tr><tr><td>平成 26 年 8 月 6 日（水）</td><td>45 名</td></tr><tr><td>平成 26 年 9 月 3 日（水）</td><td>30 名</td></tr><tr><td>平成 26 年 10 月 8 日（水）</td><td>43 名</td></tr><tr><td>平成 26 年 11 月 11 日（火）</td><td>40 名</td></tr><tr><td>平成 26 年 12 月 1 日（月）</td><td>52 名</td></tr><tr><td>平成 27 年 1 月 15 日（木）</td><td>28 名</td></tr><tr><td>平成 27 年 2 月 10 日（火）</td><td>34 名</td></tr><tr><td>平成 27 年 3 月 12 日（木）</td><td>36 名</td></tr></tbody></table>		開催年月日	参加人数	平成 26 年 4 月 2 日（水）	29 名	平成 26 年 5 月 8 日（木）	44 名	平成 26 年 6 月 4 日（水）	43 名	平成 26 年 7 月 3 日（木）	38 名	平成 26 年 8 月 6 日（水）	45 名	平成 26 年 9 月 3 日（水）	30 名	平成 26 年 10 月 8 日（水）	43 名	平成 26 年 11 月 11 日（火）	40 名	平成 26 年 12 月 1 日（月）	52 名	平成 27 年 1 月 15 日（木）	28 名	平成 27 年 2 月 10 日（火）	34 名	平成 27 年 3 月 12 日（木）	36 名
開催年月日	参加人数																										
平成 26 年 4 月 2 日（水）	29 名																										
平成 26 年 5 月 8 日（木）	44 名																										
平成 26 年 6 月 4 日（水）	43 名																										
平成 26 年 7 月 3 日（木）	38 名																										
平成 26 年 8 月 6 日（水）	45 名																										
平成 26 年 9 月 3 日（水）	30 名																										
平成 26 年 10 月 8 日（水）	43 名																										
平成 26 年 11 月 11 日（火）	40 名																										
平成 26 年 12 月 1 日（月）	52 名																										
平成 27 年 1 月 15 日（木）	28 名																										
平成 27 年 2 月 10 日（火）	34 名																										
平成 27 年 3 月 12 日（木）	36 名																										
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況																											
・ 手順書の作成 ☒ 有・無 ・ 業務の主な内容： 1. 医薬品の採用に関すること 2. 医薬品の購入に関すること 3. 薬剤部における医薬品の管理に関すること																											

4. 病棟・各部門への医薬品の供給に関すること
5. 外来患者への医薬品使用に関すること
6. 病棟における医薬品の管理に関すること
7. 入院患者への医薬品使用に関すること
8. 医薬品の適正使用に関すること
9. 医薬品の安全使用に係る情報に関すること
10. 他施設（医療機関・薬局等）との連携に関すること

以上の業務内容について、平成 26 年 12 月～平成 27 年 1 月に手順書に基づく業務の実施状況を調査した。各病棟における調査者は病棟担当薬剤師と安全管理担当副部長、R I 棟は安全管理担当副部長、薬剤部内の調査者は各部署リーダーとした。

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☒ 有 ・ ☐ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

- 1) 医師からの採用依頼があった新規医薬品に関して、採用開始 6 ヶ月及び 1 年後に、採用を申し出た医師に対して「新規採用医薬品副作用予備調査票」を送付・回収することにより、院内で発生した副作用情報を収集している。
- 2) 医療安全管理担当として副薬剤部長 1 名が兼任し、毎週開催される安全管理ミーティングにて院内の情報を収集、業務改善を協議すると共に、医薬品関連のインシデントレポートをもとに薬剤部内で警鐘事例を共有している。薬剤業務改善の方策を立てることで医薬品安全使用の質的改善を推進している。
- 3) 処方・注射オーダーリングシステムに対し、インシデントレポートで提議された報告を基に薬剤誤投与防止機能を運用を含めて修正し、医師の業務負担を軽減し、医療事故を未然に防止すると共に、必要なデータベースを構築し、維持・管理している。
- 4) 全職員を対象に、アラートメールを通じた医薬品等安全性情報、緊急安全性情報等の配布、緊急通告や医薬品の採用・削除などの医薬品情報を発信している。
- 5) 医師との連携により、院外処方せん交付患者に対して初回投与時の抗がん剤の服薬指導を行い、副作用等の説明及びその対処を指導して、医薬品安全使用を推進している。
- 6) 入院患者の持参薬の内容確認を薬剤師が行い、患者と面談して服薬状況等を情報収集するとともに、個々の患者に合わせたより適正な使用となるよう、医師に服薬計画を提案している。
- 7) 地域保険薬局との連携の一環として、患者の検査値の一部を院外処方せんに記載している。保険薬局で処方監査時に検査値を参照することで、適正で安全な薬物療法推進につながる。
- 8) 保険薬局にて患者から聴き取った情報のうち、即時性は低いものの「処方医師への提供が望ましい」と判断された内容を服薬情報提供書(トレーシングレポート)で受け付けている。薬剤部にて集約したのち、医師へ情報提供を行い、情報の共有化を図っている。

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☒ 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 59 回
・ 研修の主な内容： ・ 平成26年4月に新人看護師及び研修医を対象とした輸液・シリンジポンプの使用方法について研修を実施した。 ・ 平成26年度中に計51回医師・看護師・臨床工学技士を対象として人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置等・閉鎖式保育器の安全な使用方法についての研修を実施した。 ・ 平成26年中に計7回、従業者を対象とした放射線機器に関する以下の研修を実施した。 定期開催 1) MR 検査を安全に実施するために(2014/8, 52名) 2) Dynamic MLCの精度管理 (高エネルギー X 発生装置, 2014/11, 19名) 3) RALS装置の安全管理 (小線源装置, 2015/1, 19名) 新規導入装置 4) 診療用磁気共鳴画像診断装置 導入時研修；ハイブリッド MR 装置(2014/6, 107名) 5) 手術室移動型CT装置 (MORITA 3D Accuitomo M) 導入時研修(2015/3, 49名) 6) PET/CT装置 (Discovery IQ) 導入時研修(2015/3, 12名) 7) 新規 MR装置導入時研修(2015/3, 47名)	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (☒ 有・無) ・ 保守点検の主な内容： ・ 各医療機器の点検周期に沿って臨床工学技士による点検とメーカーによる点検を実施している。 →臨床工学技士の点検においては、実施可能なバッテリー交換・各種センサー・フィルター等の定期交換を実施している。 →高度な技術を要する修理、オーバーホールはメーカーに依頼している。 ・ 放射線機器については年度点検実施計画を作成し、各部門担当者を決めて以下の内容について定期的な点検を実施している。 →動作状況、設定状況、制御状況、画質の確認・検査・清掃・試験・調整・記録その他	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☒ 有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ・ 医療機器に関する安全情報は医療安全管理室と協力して医療従事者に周知する体制をとっている。	

- ・医療機器の安全使用を目的として、中央管理機種の一掃を推し進めている。
- ・臨床工学技士が随時医療機器の安全な使用状況確認のための巡回を行っている。
- ・一般撮影部門、血管造影部門、C T・透視部門、MR 部門、R I 検査部門、放射線治療部門における他職種（医師、看護師、技師）での品質管理（Q A）委員会を、月例開催または2ヶ月に1回開催している。
- ・一般撮影＋血管造影グループ、C T・透視＋MR グループ、R I ＋放射線治療グループにおける診療放射線技師の定例会議（月例）を開催している。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本適合性認定協会 ISO15189 2012 （ 2014年3月26日 ～ 2018年3月31日 ） （検査部・病理部・輸血細胞治療部・薬剤部）	

(注)医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院のホームページ(http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/)及び広報誌「京大病院広報」(http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/outline/pr.html)により、最新ニュース、最先端医療や各診療科の紹介、院内活動の報告等を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 「集学的がん診療ユニット」として、そのがんを専門とする内科医・外科医・放射線治療医、あるいは病理診断医・放射線診断医・各種医療スタッフが、同一の外来で診療科横断的に診療を行い、客観的で迅速な診療方針の決定を可能としている。また、定期的にケースカンファレンスを実施し、互いの知識を共有することで治療の質を高め、専門医・専門スタッフの教育の場としても大きな効果を上げている。	

(様式第 8)

京大病サ企第 91 号
平成 27 年 10 月 8 日

厚生労働大臣 殿

京都大学医学部附属病院
病院長 稲垣 暢也 (印)

京都大学医学部附属病院の昨年度の業務報告において提出した年次計画の経過について

標記について、医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 20 第 6 号ロ及び第 7 号ロの規定に基づき、次のとおり提出します。

記

1 提出した年次計画の項目

1 紹介率・逆紹介率 (2) 標榜する診療科 3 専門の医師の配置 4 論文発表

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○を付けること。

2 昨年度および今年度の実績

昨年度提出した年次計画書での報告事項 (実績及び予定措置) 本院は「初期診療・救急科」及び「救急部」として、各診療科の専門医が常駐している大学附属病院の長所を生かしてコーディネート型救急診療体制を整備し、ICUの拡張計画を踏まえ、重症患者に対する3次救急の拡充をめざしている。さらに重症外傷、新興感染症、臓器移植医療、熱傷、敗血症、産科救急、高齢者救急など、さまざまな状況における救急医療体制の充足を目的としたプロジェクトを関係部署と共同して推進中である。標榜診療科として、平成26年度中に、「救急科」を標榜予定としている。	今年度の実績及び承認要件を満たしていない場合の理由 平成27年2月5日付で「救急科」を標榜するための申請を行い、同年3月5日に承認を得た。
--	---

(注) 1 左欄には、昨年度の業務報告において様式第8として報告した事項を記載すること。

2 右欄には、今年度の実績及び、承認要件を満たしていない場合はその理由を記載すること。

3 今後の具体的措置

[illegible]

(注) 本年度も承認要件を満たしていない場合、2で記載した事項以外の更なる措置を記載すること。